



27123
PATENT TRADEMARK OFFICE

Docket No. 1232-4730

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant(s): Kazumi SUGA

Group Art Unit: 2165

Serial No.: 09/894,481

Examiner:

Filed: June 27, 2001

For: ELECTRONIC COMMERCE SYSTEM, ELECTRONIC COMMERCE METHOD
AND STORAGE MEDIUM

CLAIM TO CONVENTION PRIORITY

RECEIVED

Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

JAN 14 2002

Sir:

Technology Center 2100

In the matter of the above-identified application and under the provisions of 35 U.S.C. §119 and 37 C.F.R. §1.55, applicant(s) claim(s) the benefit of the following prior application(s):

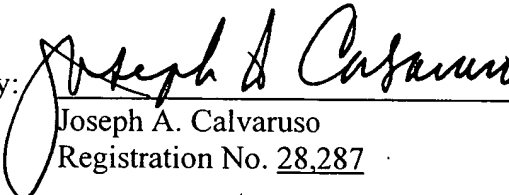
Application(s) filed in: Japan
In the name of: Canon Kabushiki Kaisha
Serial No(s): 2000-193332
Filing Date(s): June 27, 2000

- ☒ Pursuant to the Claim to Priority, applicant(s) submit(s) a duly certified copy of said foreign application.
- ☐ A duly certified copy of said foreign application is in the file of application Serial No. _____, filed _____.

Respectfully submitted,
MORGAN & FINNEGAN, L.L.P.

Dated: October 18, 2001

By:


Joseph A. Calvaruso
Registration No. 28,287

Correspondence Address:

MORGAN & FINNEGAN, L.L.P.
345 Park Avenue
New York, NY 10154-0053
(212) 758-4800 Telephone
(212) 751-6849 Facsimile

CF0 15489 US/mas

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 6月27日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-193332

出 願 人

Applicant(s):

キヤノン株式会社

RECEIVED

JAN 14 2002

Technology Center 2100

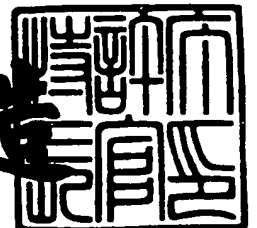


CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 7月19日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



【書類名】 特許願

【整理番号】 4185008

【提出日】 平成12年 6月27日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 5/00

【発明の名称】 情報処理装置、電子商取引システム、電子商取引方法、
及び記憶媒体

【請求項の数】 59

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会
社内

【氏名】 須賀 和巳

【特許出願人】

【識別番号】 000001007

【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

【代理人】

【識別番号】 100090273

【弁理士】

【氏名又は名称】 國分 孝悦

【電話番号】 03-3590-8901

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 035493

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705348

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報処理装置、電子商取引システム、電子商取引方法、及び記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークを介した電子コンテンツの売買取引が可能な売り手側の情報処理装置であって、

任意の電子コンテンツの購入を希望する買い手側の当該購入希望の電子コンテンツに関する情報を上記ネットワークを介して取得する取得手段と、

上記買い手側に対して、上記取得手段により得られた情報に対応する販売希望の電子コンテンツを上記ネットワークを介して提供する第1の提供手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】 上記第1の提供手段は、上記販売希望の電子コンテンツを暗号化して提供することを特徴とする請求項1記載の情報処理装置。

【請求項3】 上記第1の提供手段は、上記販売希望の電子コンテンツの査定結果に基づいて、上記販売希望の電子コンテンツを提供することを特徴とする請求項1記載の情報処理装置。

【請求項4】 上記販売希望の電子コンテンツの査定処理を、上記買い手側から上記ネットワークを介して提供されたソフトウェアによって実行する査定処理手段を備え、

上記第1の提供手段は、上記査定手段での査定結果に基づいて、上記販売希望の電子コンテンツを提供することを特徴とする請求項3記載の情報処理装置。

【請求項5】 上記販売希望の電子コンテンツを査定用の電子コンテンツへ変換する変換手段と、

上記買い手側に対して、上記変換手段により得られた査定用の電子コンテンツを上記ネットワークを介して提供する第2の提供手段とを備え、

上記第1の提供手段は、上記買い手側にて行われた上記査定用の電子コンテンツに対する査定の結果に基づいて、上記販売希望の電子コンテンツを提供することを特徴とする請求項3記載の情報処理装置。

【請求項6】 上記販売希望の電子コンテンツの査定処理を、上記買い手側

から上記ネットワークを介して提供されたソフトウェアによって実行する査定処理手段と、

上記査定手段にて査定処理が正常終了したか否かに基づいて、上記販売希望の電子コンテンツを査定用の電子コンテンツへ変換する変換手段と、

上記買い手側に対して、上記変換手段により得られた査定用の電子コンテンツを上記ネットワークを介して提供する第2の提供手段とを備え、

上記第1の提供手段は、上記査定手段での査定結果、又は上記買い手側にて行われた上記査定用の電子コンテンツに対する査定の結果に基づいて、上記販売希望の電子コンテンツを提供することを特徴とする請求項3記載の情報処理装置。

【請求項7】 ネットワークを介した電子コンテンツの売買取引が可能な買い手側の情報処理装置であって、

上記ネットワーク上の任意のユーザに対して、購入希望する電子コンテンツに関する情報を上記ネットワークを介して提供する第1の提供手段と、

上記第1の提供手段による提供情報に対して上記任意のユーザから上記ネットワークを介して提供されてきた販売希望の電子コンテンツを取得する第1の取得手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項8】 上記任意のユーザに対して、上記販売希望の電子コンテンツを暗号化するための鍵情報を上記ネットワークを介して提供する第2の提供手段と、

上記鍵情報により暗号化された電子コンテンツを復号する復号手段とを備え、

上記第1の取得手段は、上記鍵情報を用いて上記任意のユーザ側で暗号化された上記販売希望の電子コンテンツを取得し、

上記復号手段は、上記第1の取得手段で得られた暗号化電子コンテンツを復号することを特徴とする請求項7記載の情報処理装置。

【請求項9】 上記任意のユーザに対して、当該ユーザが販売希望する電子コンテンツの査定を行うためのソフトウェアを上記ネットワークを介して提供する第3の提供手段を備え、

上記第1の取得手段は、上記任意のユーザ側での上記ソフトウェアによる上記販売希望の電子コンテンツの査定結果に基づき上記任意のユーザから提供されて

きた上記販売希望の電子コンテンツを取得することを特徴とする請求項7記載の情報処理装置。

【請求項10】 上記任意のユーザ側にて査定用の電子コンテンツに変換された上記販売希望の電子コンテンツを取得する第2の取得手段と、

上記任意のユーザに対して、上記査定用の電子コンテンツの査定結果を上記ネットワークを介して提供する第4の提供手段を備え、

上記第1の取得手段は、上記第4の提供手段での上記査定結果に基づき上記任意のユーザから提供されてきた上記販売希望の電子コンテンツを取得することを特徴とする請求項7記載の情報処理装置。

【請求項11】 ネットワークを介した商品の売買取引が可能な情報処理装置であって、

少なくとも、売り手側が販売希望する商品に関する情報である販売情報、及び買い手側が購入希望する商品に関する情報である購入情報の何れかの情報を上記ネットワークを介して取得する取得手段と、

上記ネットワークを介して、上記取得手段により得られた販売情報又は購入情報に対して購入又は販売を応答する応答手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項12】 上記取得手段は、上記ネットワーク上の商品売買の仲介側にて管理されている情報を取得し、

上記応答手段は、上記仲介側に対して応答することを特徴とする請求項11記載の情報処理装置。

【請求項13】 上記取得手段は、上記仲介側にて発生した商品売買の仲介に関する情報を上記ネットワークを介して取得することを特徴とする請求項12記載の情報処理装置。

【請求項14】 少なくとも売り手側と端末装置及び買い手側の端末装置を含む複数の機器がネットワークを介して互いに通信可能に接続されてなる電子商取引システムであって、

上記複数の機器のうち少なくとも1つの機器は、請求項1～13の何れかに記載の情報処理装置の機能を有することを特徴とする電子商取引システム。

【請求項15】 売り手側と買い手側の間で電子コンテンツの売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引システムであって、

情報取得閲覧ソフトウェアが起動可能な売り手側の端末装置と、

買い手側の端末装置と、

少なくとも上記買い手側が購入希望する電子コンテンツに関する情報、及び上記売り手側の個人情報の何れかの情報を管理し、上記売り手側の情報取得閲覧ソフトウェアからの要求に従ったデータファイルの送受信を行い、上記売り手側から送信されてくる電子コンテンツの受信用として上記買い手側に対して開放されたデータ格納領域を有し、上記買い手側が管理運営するサーバ装置と、

上記買い手側からの依頼により上記売り手側へ振込処理を行う金融機関側の端末装置と、

上記売り手側の端末装置、上記買い手側の端末装置、上記サーバ装置、及び上記金融機関側の端末装置を通信可能に接続するための通信ネットワークとを含むことを特徴とする電子商取引システム。

【請求項16】 上記サーバ装置は、少なくともHTTP (Hyper Text Transfer Protocol) サーバ、及びFTP (File Transfer Protocol) サーバの何れかのサーバ機能を有し、上記情報取得閲覧ソフトウェアからの要求に従ったサービスを実行して、その結果を所定のデータファイルとして返送すると共に、上記売り手側から送信されてくる電子コンテンツを受信することを特徴とする請求項15記載の電子商取引システム。

【請求項17】 売り手側と買い手側の間で任意の商品の売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引システムであって、

情報取得閲覧ソフトウェアが起動可能な売り手側の端末装置と、

情報取得閲覧ソフトウェアが起動可能な買い手側の端末装置と、

商品売買の仲介者側の端末装置と、

上記仲介者側が管理運営するサーバ装置と、

少なくとも上記仲介者側からの依頼に従った商品の配送、及び当該商品の代金の受渡の何れかの処理を行う配送業者側と、

少なくとも、上記売り手側の端末装置、上記買い手側の端末装置、上記仲介者側の端末装置、上記サーバ装置、及び上記配送業者側の端末装置の何れかを通信可能に接続するための通信ネットワークとを含むことを特徴とする電子商取引システム。

【請求項18】 上記サーバ装置は、少なくともHTTP (Hyper Text Transfer Protocol) サーバ、及びFTP (File Transfer Protocol) サーバの何れかのサーバ機能を有し、上記情報取得閲覧ソフトウェアからの要求に従ったサービスを実行して、その結果を所定のデータファイルとして返送すると共に、電子メールサービスを提供し、商品売買仲介情報及び上記配送業者側の配送スケジュール情報を含む情報の格納及び更新を随時行うことを特徴とする請求項17記載の電子商取引システム。

【請求項19】 売り手側と買い手側の間で任意の商品の売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引システムであって、

情報取得閲覧ソフトウェアが起動可能な売り手側の端末装置と、

情報取得閲覧ソフトウェアが起動可能な買い手側の端末装置と、

商品売買の仲介者側の端末装置と、

上記仲介者側が管理運営するサーバ装置と、

少なくとも、上記売り手側の端末装置、上記買い手側の端末装置、上記仲介者側の端末装置、及び上記サーバ装置の何れかを通信可能に接続するための通信ネットワークとを含むことを特徴とする電子商取引システム。

【請求項20】 上記サーバ装置は、少なくともHTTP (Hyper Text Transfer Protocol) サーバ、及びFTP (File Transfer Protocol) サーバの何れかのサーバ機能を有し、上記情報取得閲覧ソフトウェアからの要求に従ったサービスを実行して、その結果を所定のデータファイルとして返送すると共に、電子メールサービスを提供し、商品売買仲介情報を含む情報の格納及び更新を随時行うことを特徴とする請求項19記載の電子商取引システム。

【請求項21】 上記情報取得閲覧ソフトウェアは、WWWブラウザを含むことを特徴とする請求項15、17、及び19の何れかに記載の電子商取引シス

テム。

【請求項22】 上記通信ネットワークは、インターネットを含むことを特徴とする請求項15、17、及び19の何れかに記載の電子商取引システム。

【請求項23】 売り手側と買い手側の間で電子コンテンツの売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引方法であって、

上記売り手側が、情報取得閲覧ソフトウェアを用いて、上記買い手側が管理運営するサーバ装置にアクセスして会員登録をするステップと、

上記売り手側が、上記買い手側が購入希望している電子コンテンツに関する情報を含むデータファイルを上記買い手側のサーバ装置から取得し、当該データファイルを上記情報取得閲覧ソフトウェアを用いて表示するステップと、

上記売り手側が、本商取引に必要なソフトウェアを、上記買い手側のサーバ装置から取得するステップと、

上記売り手側が、上記買い手側へ提供する電子コンテンツに対して、上記本商取引に必要なソフトウェアに含まれるコンテンツ査定ソフトウェアを用いて査定処理するステップと、

上記売り手側が、上記買い手側へ提供する電子コンテンツを識別するためのコンテンツ番号、上記会員登録時の会員認証情報、及び上記査定処理の結果の少なくとも何れかの情報を上記買い手側へ送信するステップと、

上記買い手側が、上記査定処理の結果に基づいて、上記コンテンツ番号により示される対象電子コンテンツに対する査定価格、受付番号、暗号化の際に使用する鍵情報、及び対象電子コンテンツの送付先情報の少なくとも何れかの情報を上記売り手側へ送信するステップと、

上記売り手側が、上記査定価格に納得した場合、上記買い手側へ対象電子コンテンツを上記暗号化鍵を用いて暗号化して送信するステップと、

上記買い手側が、上記売り手側から送信されてきた対象電子コンテンツを確認後、金融機関へ上記ネットワーク経由で振込依頼することで、上記査定価格の金額を上記売り手側へ支払うステップとを含むことを特徴とする電子商取引方法。

【請求項24】 上記本商取引に必要なソフトウェアは、上記コンテンツ査定ソフトウェア、及び暗号化ソフトウェアの少なくとも何れかを含むことを特徴

後、金融機関へ上記ネットワーク経由で振込依頼することで、上記査定の結果により示される査定価格の金額を上記売り手側へ支払うステップとを含むことを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 28】 上記本商取引に必要なソフトウェアは、上記コンテンツ変換ソフトウェア、及び暗号化ソフトウェアの少なくとも何れかを含むことを特徴とする請求項 27 記載の電子商取引方法。

【請求項 29】 上記売り手側がコンテンツ変換ソフトウェアを用いて電子コンテンツの品位を低下する処理方法は、原理的に元の電子コンテンツを復元できないようになされた方法を含むことを特徴とする請求項 27 記載の電子商取引方法。

【請求項 30】 売り手側と買い手側の間で電子コンテンツの売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引方法であって、

上記売り手側が、情報取得閲覧ソフトウェアを用いて、上記買い手側が管理運営するサーバ装置にアクセスして会員登録をするステップと、

上記売り手側が、上記買い手側が購入希望している電子コンテンツに関する情報を含むデータファイルを上記買い手側のサーバ装置から取得し、当該データファイルを上記情報取得閲覧ソフトウェアを用いて表示するステップと、

上記売り手側が、本商取引に必要なソフトウェアを、上記買い手側のサーバ装置から取得するステップと、

上記売り手側が、上記買い手側へ提供する電子コンテンツに対して、上記本商取引に必要なソフトウェアに含まれるコンテンツ査定ソフトウェアを用いて自動査定処理するステップと、

上記自動査定処理が正常終了した場合の第 1 の処理ステップと、

上記自動査定処理が異常終了した場合の第 2 の処理ステップとを含み、

上記第 1 の処理ステップは、

上記売り手側が、上記買い手側へ提供する電子コンテンツを識別するためのコンテンツ番号、上記会員登録時の会員認証情報、及び上記自動査定処理の結果の少なくとも何れかの情報を上記買い手側へ送信するステップと、

上記買い手側が、上記自動査定処理の結果に基づいて、上記コンテンツ番号に

とする請求項23記載の電子商取引方法。

【請求項25】 上記売り手側がコンテンツ査定ソフトウェアを用いて査定処理した結果の出力値が、上記売り手側が当該出力値から査定価格を推測することができないようにするための処理を実行するステップを含むことを特徴とする請求項23記載の電子商取引方法。

【請求項26】 上記出力値を暗号化するステップを含むことを特徴とする請求項25記載の電子商取引方法。

【請求項27】 売り手側と買い手側の間で電子コンテンツの売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引方法であって、

上記売り手側が、情報取得閲覧ソフトウェアを用いて、上記買い手側が管理運営するサーバ装置にアクセスして会員登録をするステップと、

上記売り手側が、上記買い手側が購入希望している電子コンテンツに関する情報を含むデータファイルを上記買い手側のサーバ装置から取得し、当該データファイルを上記情報取得閲覧ソフトウェアを用いて表示するステップと、

上記売り手側が、本商取引に必要なソフトウェアを、上記買い手側のサーバ装置から取得するステップと、

上記売り手側が、上記本商取引に必要なソフトウェアに含まれるコンテンツ変換ソフトウェアを用いて、上記買い手側へ提供する電子コンテンツの品位を低下させ、当該品位を低下させた電子コンテンツを査定用の電子コンテンツとして上記買い手側へ送信するステップと、

上記買い手側のサーバ装置が、上記売り手側から送信されてきた電子コンテンツに対する受付番号を上記売り手側へ送信するステップと、

上記買い手側が、上記売り手側から送信されてきた査定用の電子コンテンツを査定するステップと、

上記買い手側が、上記査定の結果を上記受付番号と共に上記売り手側へ送信するステップと、

上記売り手側が、上記査定の結果に納得した場合、上記受付番号により示される対象電子コンテンツを暗号化して上記買い手側へ送信するステップと、

上記買い手側が、上記売り手側から送信されてきた対象電子コンテンツを確認

より示される対象電子コンテンツに対する査定価格、受付番号、暗号化の際に使用する鍵情報、及び対象電子コンテンツの送付先情報の少なくとも何れかの情報を上記売り手側へ送信するステップと、

上記売り手側が、上記査定価格に納得した場合、上記買い手側へ対象電子コンテンツを上記暗号化鍵を用いて暗号化して送信するステップと、

上記買い手側が、上記売り手側から送信されてきた対象電子コンテンツを確認後、金融機関へ上記ネットワーク経由で振込依頼することで、上記査定価格の金額を上記売り手側へ支払うステップとを含み、

上記第2の処理ステップは、

上記売り手側が、上記本商取引に必要なソフトウェアに含まれるコンテンツ変換ソフトウェアを用いて、上記買い手側へ提供する電子コンテンツの品位を低下させ、当該品位を低下させた電子コンテンツを査定用の電子コンテンツとして上記買い手側へ送信するステップと、

上記買い手側のサーバ装置が、上記売り手側から送信されてきた電子コンテンツに対する受付番号を上記売り手側へ送信するステップと、

上記買い手側が、上記売り手側から送信されてきた査定用の電子コンテンツを手動査定するステップと、

上記買い手側が、上記手動査定の結果を上記受付番号と共に上記売り手側へ送信するステップと、

上記売り手側が、上記手動査定の結果に納得した場合、上記受付番号により示される対象電子コンテンツを暗号化して上記買い手側へ送信するステップと、

上記買い手側が、上記売り手側から送信されてきた対象電子コンテンツを確認後、金融機関へ上記ネットワーク経由で振込依頼することで、上記手動査定の結果により示される査定価格の金額を上記売り手側へ支払うステップとを含むことを特徴とする電子商取引方法。

【請求項31】 上記本商取引に必要なソフトウェアは、上記コンテンツ査定ソフトウェア、上記コンテンツ変換ソフトウェア、及び暗号化ソフトウェアの少なくとも何れかを含むことを特徴とする請求項30記載の電子商取引方法。

【請求項32】 上記売り手側がコンテンツ査定ソフトウェアを用いて自動

査定処理した結果の出力値が、上記売り手側が当該出力値から査定価格を推測することができないようにするための処理を実行するステップを含むことを特徴とする請求項 3 0 記載の電子商取引方法。

【請求項 3 3】 上記出力値を暗号化するステップを含むことを特徴とする請求項 3 2 記載の電子商取引方法。

【請求項 3 4】 上記売り手側がコンテンツ変換ソフトウェアを用いて電子コンテンツの品位を低下する処理方法は、原理的に元の電子コンテンツを復元できないようになされた方法を含むことを特徴とする請求項 3 0 記載の電子商取引方法。

【請求項 3 5】 上記暗号化の方式は、公開鍵暗号（R S A）方式を含むことを特徴とする請求項 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかに記載の電子商取引方法。

【請求項 3 6】 上記本商取引に必要なソフトウェアは、上記売り手側からダウンロードされ保存された後に実行されるようになされたソフトウェアを含むことを特徴とする請求項 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかに記載の電子商取引方法。

【請求項 3 7】 上記本商取引に必要なソフトウェアは、上記売り手側の情報取得閲覧ソフトウェア上で実行され、保存が行われなくなされたソフトウェアを含むことを特徴とする請求項 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかに記載の電子商取引方法。

【請求項 3 8】 上記会員登録の際に、上記売り手側が、自身の個人情報及び振込先情報の少なくとも何れかの情報を開示し、上記買い手側が、会員 I D 及びパスワード情報の少なくとも何れかを上記売り手側へ発行するステップを含むことを特徴とする請求項 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかに記載の電子商取引方法。

【請求項 3 9】 上記買い手側が、対象電子コンテンツを限定するステップを含むことを特徴とする請求項 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかに記載の電子商取引方法。

【請求項 4 0】 上記買い手側が購入希望している電子コンテンツに関する情報へ、上記買い手側が当該電子コンテンツを買い取る際の価格の上限及び下限

の値を含ませるステップを含むことを特徴とする請求項 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかに記載の電子商取引方法。

【請求項 4 1】 上記売り手側が、上記買い手側が提示した査定価格に納得できない場合、本商取引を終了するステップを含むことを特徴とする請求項 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかに記載の電子商取引方法。

【請求項 4 2】 上記売り手側から上記買い手側への電子コンテンツの提供方法は、上記ネットワークを介した当該電子コンテンツの送信による方法、及び郵送による方法の少なくとも何れかの方法を含むことを特徴とする請求項 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかに記載の電子商取引方法。

【請求項 4 3】 売り手側と買い手側の間で任意の商品の売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引方法であって、

上記売り手側又は上記買い手側が、情報取得閲覧ソフトウェアを用いて、仲介者が管理運営するサーバ装置から売買情報一覧及び上記売り手側又は上記買い手側の個人情報を入力するフォームを有するデータファイルを取得して表示するステップと、

上記売り手側が販売希望する対象商品があり、当該商品に対して購入希望する上記買い手側がある場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、

(a) 上記売り手側に対して、少なくとも個人情報及び販売希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかを上記フォームに対して入力させて送信させるステップと、

(b) 上記売り手側とのデータファイルの送受信により、対象商品の引取日時を決定するステップと、

(c) 上記買い手側に対して、上記引取日時と同日の引渡日時を通知するステップと、

(d) 商品の配送者側に対して、対象商品の配送を依頼するステップと、

(e) 上記売買情報を更新するステップとを含み、

上記売り手側が販売希望する対象商品があり、当該商品に対して購入希望する上記買い手側がない場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップ

として、

(f) 上記売り手側に対して、少なくとも個人情報及び対象商品の詳細情報の何れかの情報上記フォームに入力させて送信させるステップと、

(g) 上記売り手側に対して、売り登録するか否かを確認するステップと、

(h) 上記売り手に対して、対象商品の引取可能日時を送信させるステップと、

(i) 上記売買情報の更新を行うステップとを含み、

上記買い手側が購入希望する対象商品があり、当該商品を販売希望する売り手側がある場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、

(j) 上記買い手側に対して、少なくとも個人情報及び購入希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかの情報を上記フォームに入力させて送信させるステップと、

(k) 上記買い手側とのデータファイルの送受信により、対象商品の引渡日時を決定するステップと、

(l) 上記売り手側に対して、上記引渡日時と同日の引取日時を通知するステップと、

(m) 商品の配送者側に対して、対象商品の配送を依頼するステップと、

(n) 上記売買情報を更新するステップとを含み

上記買い手側が購入希望する対象商品があり、当該商品を販売希望する上記売り手側がない場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、

(o) 上記買い手側に対して、少なくとも個人情報及び購入希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかの情報を上記フォームに入力させて送信させるステップと、

(p) 上記買い手側に対して、買い登録するか否かを確認するステップと、

(q) 上記買い手側に対して、対象商品の引渡可能日時を送信させるステップと

(r) 上記売買情報の更新を行うステップとを含むことを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 44】 上記売買情報一覧上に対して、少なくとも、上記買い手側

に対して対象商品が実際に販売されるときの対象商品の価格CP、上記仲介者側が上記売り手側から対象商品を引き取るときの対象商品の価格MPS、上記売り手側の対象商品の販売希望価格SP、及び上記仲介者側が上記買い手側へ対象商品を販売するときの対象商品の価格MPCの何れかを含ませるステップを含むことを特徴とする請求項45記載の電子商取引方法。

【請求項45】 「 $CP > MPS$ 」且つ「 $SP < MPC$ 」なる関係とするステップを含むことを特徴とする請求項44記載の電子商取引方法。

【請求項46】 売り手側と買い手側の間で任意の商品の売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引方法であって、

上記売り手側又は上記買い手側が、情報取得閲覧ソフトウェアを用いて、仲介者が管理運営するサーバ装置から売買情報一覧及び上記売り手側又は上記買い手側の個人情報を入力するフォームを有するデータファイルを取得して表示するステップと、

上記仲介者側により限定された商品の中に、上記売り手側が販売希望する対象商品がある場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、

(a) 上記売り手側に対して、少なくとも個人情報及び販売希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかを上記フォームに対して入力させて送信させるステップと、

(b) 上記売り手側とのデータファイルの送受信により、対象商品の引取日時を決定するステップと、

(c) 上記買い手側に対して、上記引取日時と同日の引渡日時を通知するステップと、

(d) 商品の配送者側に対して、対象商品の配送を依頼するステップと、

(e) 上記売買情報を更新するステップとを含み、

上記仲介者側により限定された商品の中に、上記買い手側が購入希望する商品がある場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、

(f) 上記買い手側に対して、少なくとも個人情報及び購入希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかの情報を上記フォームに入力させて送信させるステップと、

(g) 上記買い手側とのデータファイルの送受信により、対象商品の引渡日時を決定するステップと、

(h) 商品の配送者側に対して、対象商品の配送を依頼するステップと、

(i) 上記売買情報を更新するステップとを含み、

上記仲介者側により限定された商品の中に、上記買い手側が購入希望する商品がない場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、

(j) 上記買い手側に対して、少なくとも個人情報及び購入希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかの情報を上記フォームに入力させて送信させるステップと、

(k) 上記買い手側に対して、買い登録するか否かを確認するステップと、

(l) 上記買い手側に対して、対象商品の引渡可能日時を送信させるステップと

(m) 上記売買情報の更新を行うステップとを含むことを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 4 7】 上記売買情報一覧上に対して、少なくとも、上記買い手側に対して対象商品が実際に販売されるときの対象商品の価格 C P、及び上記仲介者側が上記売り手側から対象商品を引き取るときの対象商品の価格 M P S の何れかを含ませるステップを含むことを特徴とする請求項 4 6 記載の電子商取引方法。

【請求項 4 8】 「C P > M P S」なる関係とするステップを含むことを特徴とする請求項 4 7 記載の電子商取引方法。

【請求項 4 9】 上記配送者側が、上記売り手側から対象商品を引き取る際に所定の代金を上記売り手側へ支払うステップと、

上記仲介者側が、対象商品を購入希望する上記買い手側からクレジットカード決済により代金の徴収を行うステップとを含むことを特徴とする請求項 4 3 又は 4 6 記載の電子商取引方法。

【請求項 5 0】 上記仲介者側が、対象商品を販売希望する上記売り手側へ当該商品の代金の支払いを金融機関振込によって行うステップと、

上記仲介者側が、対象商品を購入希望する上記買い手側からクレジットカード

決済により代金の徴収を行うステップとを含むことを特徴とする請求項 4 5 又は 4 8 記載の電子商取引方法。

【請求項 5 1】 上記配送者側が、上記売り手側から対象商品を引き取る際に第 1 の代金を上記売り手側へ支払うステップと、

上記配送者側が、上記買い手側へ対象商品を引き渡す際に第 2 の代金を徴収するステップと、

上記配送者側が、上記第 1 の代金と上記第 2 の代金の差額の利益を上記仲介者側へ渡すステップとを含むことを特徴とする請求項 4 3 又は 4 6 記載の電子商取引方法。

【請求項 5 2】 上記仲介者側が、対象商品が上記売り手側から上記買い手側へ配送された後に、当該商品の代金を上記買い手から金融機関振込によって徴収し、当該商品の代金を上記売り手側へ金融機関振込によって支払うステップを含むことを特徴とする請求項 4 3 又は 4 6 記載の電子商取引方法。

【請求項 5 3】 売り手側と買い手側の間で任意の商品の売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引方法であって、

上記売り手側又は上記買い手側が、情報取得閲覧ソフトウェアを用いて、仲介者が管理運営するサーバ装置から売買情報一覧及び上記売り手側又は上記買い手側の個人情報を入力するフォームを有するデータファイルを取得して表示するステップと、

上記仲介者側により限定された商品の中に、上記売り手側が販売希望する対象商品があり、当該商品に対して購入希望する上記買い手側がある場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、

(a) 上記売り手側に対して、少なくとも個人情報及び販売希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかを上記フォームに対して入力させて送信させるステップと、

(b) 上記売り手に対して、対象商品を上記仲介者側へ送付させるステップと、

(c) 上記買い手に対して、入荷報告をするステップと、

(d) 上記買い手に対して、支払い要求をするステップと、

(e) 上記売買情報を更新するステップとを含み、

上記仲介者側が実行する処理ステップとして、

(f) 上記売り手側から送付された対象商品が所望の商品であることを確認するステップと、

(g) 上記売り手側へ対象商品の代金を支払うステップと、

(h) 上記買い手側からの入金を確認し、或いはクレジット決済の手続きをし、上記買い手側へ対象商品を送付するステップとを含み、

上記仲介者側により限定された商品の中に、上記売り手側が販売希望する対象商品があり、当該商品に対して購入希望する上記買い手側がない場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、

(i) 上記売り手側に対して、少なくとも個人情報及び販売希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかを上記フォームに対して入力させて送信させるステップと、

(j) 上記売り手に対して、対象商品を上記仲介者側へ送付させるステップと、

(k) 上記売買情報を更新するステップとを含み、

上記仲介者側が実行する処理ステップとして、

(l) 上記売り手側から送付された対象商品が所望の商品であることを確認するステップと、

(m) 上記売り手側へ対象商品の代金を支払うステップと、

上記仲介者側により限定された商品の中に、上記買い手側が購入希望する対象商品があり、当該商品が上記仲介者側に在庫としてある場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、

(n) 上記買い手側に対して、少なくとも個人情報及び購入希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかを上記フォームに対して入力させて送信させるステップと、

(o) 上記買い手に対して、支払い要求をするステップと、

(p) 上記売買情報を更新するステップとを含み、

上記仲介者側が実行する処理ステップとして、

(q) 上記買い手側からの入金を確認し、或いはクレジット決済の手続きをし、上記買い手側へ対象商品を送付するステップを含み、

上記仲介者側により限定された商品の中に、上記買い手側が購入希望する対象商品があり、当該商品が上記仲介者側に在庫としてない場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、

(r) 上記買い手側に対して、少なくとも個人情報及び購入希望する対象商品に関する情報の何れかを上記フォームに対して入力させて送信させるステップと、

(s) 上記買い手側に対して、買い登録するかを確認するステップと、

(t) 上記買い手側に対して、対象商品の引取可能日時を送信させるステップと

(u) 上記売買情報の更新を行うステップとを含むことを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 5 4】 上記仲介者側が、対象商品を販売希望する上記売り手側へ当該商品の代金の支払いを金融機関振込によって行うステップと、

上記仲介者側が、対象商品を購入希望する上記買い手側からクレジットカード決済により代金の徴収を行うステップとを含むことを特徴とする請求項 5 3 記載の電子商取引方法。

【請求項 5 5】 上記仲介者側が、対象商品を販売希望する上記売り手側へ当該商品の代金の支払、及び対象商品を購入希望する上記買い手側からの当該商品の代金の徴収を、金融機関振込によって行うステップを含むことを特徴とする請求項 5 3 記載の電子商取引方法。

【請求項 5 6】 上記売買情報一覧上に対して、少なくとも、上記買い手側に対して対象商品が実際に販売されるときの対象商品の価格 C P、及び上記仲介者側が上記売り手側から対象商品を引き取るときの対象商品の価格 M P S の何れかを含ませるステップを含むことを特徴とする請求項 5 3 記載の電子商取引方法。

【請求項 5 7】 「C P > M P S」なる関係とするステップを含むことを特徴とする請求項 5 6 記載の電子商取引方法。

【請求項 5 8】 請求項 1 ～ 1 3 の何れかに記載の情報処理装置の機能、又は請求項 1 4 ～ 2 2 の何れかに記載の電子商取引システムの機能を実施するための処理プログラムを、コンピュータが読出可能に格納したことを特徴とする記憶

媒体。

【請求項 5 9】 請求項 2 3 ～ 5 7 の何れかに記載の電子商取引方法の処理ステップを、コンピュータが読出可能に格納したことを特徴とする記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えば、インターネット等のネットワークを介して商品の売買（電子商取引）を行うための装置やシステムに用いられる、情報処理装置、電子商取引システム、電子商取引方法、及びそれを実施するための処理ステップをコンピュータが読出可能に格納した記憶媒体に関するものである。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来より、買い手側（商品購入者側）と売り手側（商品販売者側）の間の商取引形態としては、例えば、次のような形態がある。

・ 売り手側は、販売対象の商品を仕入れ在庫として抱え、或は在庫を持たずに必要に応じて商品を仕入れる。買い手側は、売り手側の店舗に出向き、所望する商品を購入する。

・ 買い手側は、電話等で売り手側へ所望する商品を注文する。売り手側は、買い手側より注文を受けた商品を買手側の自宅まで配達する。

【 0 0 0 3 】

また、買い手側と売り手側の間に仲介者が介在する商取引形態としては、例えば、次のような形態がある。

・ 売り手側は、商品の販売価格を決定し、商品の販売を仲介者へ委託する。仲介者は、買い手側を見つけて商品を販売し、決められた仲介手数料を売り手側から徴収する。

・ 売り手側は、商品の最低販売価格を決定し、商品の販売を仲介者へ委託する。仲介者は、売り手側にて決定された最低販売価格以上の所望する価格で商品を買手へ販売し、その差額を利益とする。

【 0 0 0 4 】

しかしながら、近年では、通信インフラの整備や、コンピュータの普及に伴い、電子商取引（EC：Electronic Commerce）が盛んに行われるようになってきている。

【0005】

電子商取引システムでは、インターネット等のネットワークへ買い手側及び売り手側のコンピュータ（以下、「端末装置」とも言う）を接続し、買い手側と売り手側の相互間でネットワークを介した通信を行うことで、様々な商品の売買取引が行えるようになされている。

【0006】

また、電子商取引システムでは、売り手側が、当該売り手側が管理運営しているWWW（World Wide Web）サーバへ販売対象の商品の情報を掲載し、買い手側が、売り手側のWWWサーバへアクセスして所望の商品を購入する、というサービスも行われている。

ここでの商品としては、

①日用品や自動車等の所謂物品

②映像ソース、音声（音楽）ソース、静止画像、ゲームソフト等のデジタルコンテンツ

などがある。

【0007】

上記①の商品（物品）を買い手側が購入する際の、売り手側と買い手側の間の電子商取引では、先ず、買い手側のユーザは、インターネットを介して売り手側へ接続された自端末装置において、WWW（World Wide Web）ブラウザ（インターネットコンテンツ取得閲覧ソフトウェア）を起動することで、売り手側で管理運営されているWWWサーバから商品情報等が含まれたHTML（ハイパーテキストマークアップ言語）ファイルを取得して画面表示し、当該表示画面により、売り手側で販売されている商品の閲覧を行う。

これは、買い手側が、WWWブラウザにより、ネットサーフィン（インターネット上の様々なホームページを徘徊すること）を行って売り手側が提供しているホームページへ到達し、当該ホームページを観ていることに相当する。

【 0 0 0 8 】

次に、買い手側のユーザは、売り手側のホームページ上から所望する商品を選択した後、当該商品の情報と共に、ホームページ上の入力フォームに入力された買い手側のユーザ本人の認証情報を、購入リクエストとして、再度WWWブラウザにより売り手側のWWWサーバへ送信する。

【 0 0 0 9 】

そして、売り手側は、買い手側からの購入リクエストを受け、買い手側のユーザの認証を行った後、買い手側から要求された商品の発送及び当該商品の代金の徴収を行う。このときの代金の徴収方法としては、クレジットカード決済等がある。

【 0 0 1 0 】

一方、上記②の商品（デジタルコンテンツ）を買い手側が購入する際の、売り手側と買い手側の間の電子商取引では、当該デジタルコンテンツをインターネットで配信する方式がとられる。

【 0 0 1 1 】

具体的には、映像ソース及び音声（音楽）ソース（以下、「映像データ」及び「音声データ」とも言う）等のデジタルコンテンツの、インターネットを介した配信方式（インターネット配信方式）としては、ダウンロード方式及びストリーミング方式がある。

【 0 0 1 2 】

ダウンロード方式は、買い手側が、売り手側のWWWサーバから所望する映像データや音声データ等のデジタルコンテンツを自端末装置へダウンロードし、当該デジタルコンテンツを記録媒体へ保存したり、専用再生ソフトウェアによって再生する方式である。

【 0 0 1 3 】

ストリーミング方式は、買い手側が、自端末装置によって、売り手側のWWWサーバが送出するデジタルコンテンツを受信しながら同時に再生する方式である。この方式では、ダウンロード方式のように、ダウンロードに要する待ち時間が必要ないのが利点である。

【0014】

上述のようなダウンロード方式及びストリーミング方式のうち電子商取引で多く使用されている方式はダウンロード方式であるが、今後ストリーミング方式が多く使用されることが予想される。

【0015】

例えば、ダウンロード方式によるデジタルコンテンツの電子商取引では、先ず、買い手側のユーザは、インターネットを介して売り手側と接続された自端末装置において、WWWブラウザを起動することで、売り手側で管理運営されているWWWサーバからデジタルコンテンツ情報等が含まれたHTMLファイルを取得して画面表示し、当該表示画面により、売り手側で販売されているデジタルコンテンツの閲覧を行う。

このとき、買い手側のユーザは、予め、WWWブラウザにより、売り手の運営するデジタルコンテンツ配信サービスサイトで、個人情報やクレジットカード情報を売り手側へを開示することで会員登録し、売り手側からユーザIDやパスワードを取得しておく。

【0016】

次に、買い手側のユーザは、売り手側のホームページにおいて、所望するデジタルコンテンツを選択した後、ダウンロードボタンを操作する。この操作により、買い手側の端末装置には、ユーザの認証画面が表示される。

買い手側のユーザは、上記認証画面において、予め売り手側から取得したユーザID及びパスワードを入力する。

【0017】

そして、売り手側は、買い手側にて入力されたユーザID及びパスワードによりユーザ認証を行った後、当該ユーザのダウンロードを許可する。

これにより、買い手側では、そのユーザが所望するデジタルコンテンツのダウンロードが開始される。

その後、売り手側は、買い手側のユーザが予め登録したクレジットカード情報に基づく決済を行う。

【0018】

また、上述したような電子商取引において、買い手側と売り手側の間に仲介者が介在する形態がとられる場合がある。以下、このような電子商取引を「電子商品売買仲介取引」とも言う。

この電子商品売買仲介取引では、例えば、仲介者側は、売り手側にて決定された販売価格で、商品の情報をホームページ等に掲載する。買い手側は、これを閲覧した後、仲介者側へ電話等で連絡を取る。買い手側と仲介者側は、買い手側が希望する商品の売り買いについて実際に交渉する。仲介者側は、当該売買取引成立後、仲介手数料を売り手側から徴収する。

【0019】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述したような従来のデジタルコンテンツの電子商取引では、次のような問題があった。

【0020】

デジタルコンテンツの電子商取引は、今後ますます拡大していくと思われるが、その結果として、販売対象となるデジタルコンテンツ不足が深刻な問題となってくることが予想される。

【0021】

また、例えば、一部のプロアーティストが、自分が作成したデジタルコンテンツを、契約先の売り手側へ提供することが行われているが（この場合電子化されているのは募集情報のみ）、売り手側へデジタルコンテンツを提供できるのは、プロアーティストという限られた人のみであるため、電子商取引が拡大していくと、やはり販売対象となるデジタルコンテンツ不足の問題が出てきてしまう。

【0022】

一方、電子商取引における、買い手側と売り手側の間に仲介者が介在する形態（電子商品売買仲介取引）では、販売対象の商品の情報のみが、ホームページ等へ掲載されるだけで、実際のここでの商取引については、仲介者側と買い手側が電話等によって交渉して行う古来からのものであり、電子化され便利になったとは非常に言い難い。

【 0 0 2 3 】

したがって、従来の電子商取引では、デジタルコンテンツ（電子コンテンツ）を一般のユーザ（一般消費者）が売り手側へ提供する形態、及び電子商品売買仲介取引における仲介者側と買い手側での交渉等を電子化した形態は存在しなかった。

このため、販売対象となるデジタルコンテンツ不足の問題の解決、及び効率的な電子商取引を実現することができなかった。

【 0 0 2 4 】

そこで、本発明は、上記の欠点を除去するために成されたもので、一般消費者がネットワークを介して売り手側へ販売対象となるデジタルコンテンツを提供可能な構成等により、今後問題となってくるデジタルコンテンツ不足を解消することができる、情報処理装置、電子商取引システム、電子商取引方法、及びそれを実施するための処理ステップをコンピュータが読出可能に格納した記憶媒体を提供することを目的とする。

【 0 0 2 5 】

また、本発明は、売り手側から仲介者側への商品売買委託ならびに仲介者側から買い手側への商品の販売を、物流、商品の確認、及び一部の代金決済等を除いて全て電子化し、さらに仲介手数料を明確にネットワーク上へ掲載する構成等により、商品の取引の健全性を高め、売り待ち（買い手側が購入を所望する商品の売り手側が見つかること）、及び買い待ち（売り手側が販売を所望する商品の買い手側が見つかること）を許容でき、商品の種類によらず売買が可能であり、商品売買の流れを早くすることが可能であり、そして、商品売買を迅速に且つ確実に行うことが可能な、情報処理装置、電子商取引システム、電子商取引方法、及びそれを実施するための処理ステップをコンピュータが読出可能に格納した記憶媒体を提供することを目的とする。

【 0 0 2 6 】

【課題を解決するための手段】

斯かる目的下において、第 1 の発明は、ネットワークを介した電子コンテンツの売買取引が可能な売り手側の情報処理装置であって、 任意の電子コンテンツ

の購入を希望する買い手側の当該購入希望の電子コンテンツに関する情報を上記ネットワークを介して取得する取得手段と、上記買い手側に対して、上記取得手段により得られた情報に対応する販売希望の電子コンテンツを上記ネットワークを介して提供する第 1 の提供手段とを備えることを特徴とする。

【 0 0 2 7 】

第 2 の発明は、上記第 1 の発明において、上記第 1 の提供手段は、上記販売希望の電子コンテンツを暗号化して提供することを特徴とする。

【 0 0 2 8 】

第 3 の発明は、上記第 1 の発明において、上記第 1 の提供手段は、上記販売希望の電子コンテンツの査定結果に基づいて、上記販売希望の電子コンテンツを提供することを特徴とする。

【 0 0 2 9 】

第 4 の発明は、上記第 3 の発明において、上記販売希望の電子コンテンツの査定処理を、上記買い手側から上記ネットワークを介して提供されたソフトウェアによって実行する査定処理手段を備え、上記第 1 の提供手段は、上記査定手段での査定結果に基づいて、上記販売希望の電子コンテンツを提供することを特徴とする。

【 0 0 3 0 】

第 5 の発明は、上記第 3 の発明において、上記販売希望の電子コンテンツを査定用の電子コンテンツへ変換する変換手段と、上記買い手側に対して、上記変換手段により得られた査定用の電子コンテンツを上記ネットワークを介して提供する第 2 の提供手段とを備え、上記第 1 の提供手段は、上記買い手側にて行われた上記査定用の電子コンテンツに対する査定の結果に基づいて、上記販売希望の電子コンテンツを提供することを特徴とする。

【 0 0 3 1 】

第 6 の発明は、上記第 3 の発明において、上記販売希望の電子コンテンツの査定処理を、上記買い手側から上記ネットワークを介して提供されたソフトウェアによって実行する査定処理手段と、上記査定手段にて査定処理が正常終了したか否かに基づいて、上記販売希望の電子コンテンツを査定用の電子コンテンツへ変

換する変換手段と、上記買い手側に対して、上記変換手段により得られた査定用の電子コンテンツを上記ネットワークを介して提供する第2の提供手段とを備え、上記第1の提供手段は、上記査定手段での査定結果、又は上記買い手側にて行われた上記査定用の電子コンテンツに対する査定の結果に基づいて、上記販売希望の電子コンテンツを提供することを特徴とする。

【 0 0 3 2 】

第7の発明は、ネットワークを介した電子コンテンツの売買取引が可能な買い手側の情報処理装置であって、上記ネットワーク上の任意のユーザに対して、購入希望する電子コンテンツに関する情報を上記ネットワークを介して提供する第1の提供手段と、上記第1の提供手段による提供情報に対して上記任意のユーザから上記ネットワークを介して提供されてきた販売希望の電子コンテンツを取得する第1の取得手段とを備えることを特徴とする。

【 0 0 3 3 】

第8の発明は、上記第7の発明において、上記任意のユーザに対して、上記販売希望の電子コンテンツを暗号化するための鍵情報を上記ネットワークを介して提供する第2の提供手段と、上記鍵情報により暗号化された電子コンテンツを復号する復号手段とを備え、上記第1の取得手段は、上記鍵情報を用いて上記任意のユーザ側で暗号化された上記販売希望の電子コンテンツを取得し、上記復号手段は、上記第1の取得手段で得られた暗号化電子コンテンツを復号することを特徴とする。

【 0 0 3 4 】

第9の発明は、上記第7の発明において、上記任意のユーザに対して、当該ユーザが販売希望する電子コンテンツの査定を行うためのソフトウェアを上記ネットワークを介して提供する第3の提供手段を備え、上記第1の取得手段は、上記任意のユーザ側での上記ソフトウェアによる上記販売希望の電子コンテンツの査定結果に基づき上記任意のユーザから提供されてきた上記販売希望の電子コンテンツを取得することを特徴とする。

【 0 0 3 5 】

第10の発明は、上記第7の発明において、上記任意のユーザ側にて査定用の

電子コンテンツに変換された上記販売希望の電子コンテンツを取得する第 2 の取得手段と、上記任意のユーザに対して、上記査定用の電子コンテンツの査定結果を上記ネットワークを介して提供する第 4 の提供手段を備え、上記第 1 の取得手段は、上記第 4 の提供手段での上記査定結果に基づき上記任意のユーザから提供されてきた上記販売希望の電子コンテンツを取得することを特徴とする。

【 0 0 3 6 】

第 1 1 の発明は、ネットワークを介した商品の売買取引が可能な情報処理装置であって、少なくとも、売り手側が販売希望する商品に関する情報である販売情報、及び買い手側が購入希望する商品に関する情報である購入情報の何れかの情報を上記ネットワークを介して取得する取得手段と、上記ネットワークを介して、上記取得手段により得られた販売情報又は購入情報に対して購入又は販売を応答する応答手段とを備えることを特徴とする。

【 0 0 3 7 】

第 1 2 の発明は、上記第 1 1 の発明において、上記取得手段は、上記ネットワーク上の商品売買の仲介側にて管理されている情報を取得し、上記応答手段は、上記仲介側に対して応答することを特徴とする。

【 0 0 3 8 】

第 1 3 の発明は、上記第 1 2 の発明において、上記取得手段は、上記仲介側にて発生した商品売買の仲介に関する情報を上記ネットワークを介して取得することを特徴とする。

【 0 0 3 9 】

第 1 4 の発明は、少なくとも売り手側と端末装置及び買い手側の端末装置を含む複数の機器がネットワークを介して互いに通信可能に接続されてなる電子商取引システムであって、上記複数の機器のうち少なくとも 1 つの機器は、請求項 1 ～ 1 3 の何れかに記載の情報処理装置の機能を有することを特徴とする。

【 0 0 4 0 】

第 1 5 の発明は、売り手側と買い手側の間で電子コンテンツの売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引システムであって、 情報取得閲覧ソフトウェアが起動可能な売り手側の端末装置と、買い手側の端末装置と、少なくと

も上記買い手側が購入希望する電子コンテンツに関する情報、及び上記売り手側の個人情報の何れかの情報を管理し、上記売り手側の情報取得閲覧ソフトウェアからの要求に従ったデータファイルの送受信を行い、上記売り手側から送信されてくる電子コンテンツの受信用として上記買い手側に対して開放されたデータ格納領域を有し、上記買い手側が管理運営するサーバ装置と、上記買い手側からの依頼により上記売り手側へ振込処理を行う金融機関側の端末装置と、上記売り手側の端末装置、上記買い手側の端末装置、上記サーバ装置、及び上記金融機関側の端末装置を通信可能に接続するための通信ネットワークとを含むことを特徴とする。

【 0 0 4 1 】

第 1 6 の発明は、上記第 1 5 の発明において、上記サーバ装置は、少なくとも HTTP (Hyper Text Transfer Protocol) サーバ、及び FTP (File Transfer Protocol) サーバの何れかのサーバ機能を有し、上記情報取得閲覧ソフトウェアからの要求に従ったサービスを実行して、その結果を所定のデータファイルとして返送すると共に、上記売り手側から送信されてくる電子コンテンツを受信することを特徴とする。

【 0 0 4 2 】

第 1 7 の発明は、売り手側と買い手側の間で任意の商品の売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引システムであって、 情報取得閲覧ソフトウェアが起動可能な売り手側の端末装置と、情報取得閲覧ソフトウェアが起動可能な買い手側の端末装置と、商品売買の仲介者側の端末装置と、上記仲介者側が管理運営するサーバ装置と、少なくとも上記仲介者側からの依頼に従った商品の配送、及び当該商品の代金の受渡の何れかの処理を行う配送業者側と、 少なくとも、上記売り手側の端末装置、上記買い手側の端末装置、上記仲介者側の端末装置、上記サーバ装置、及び上記配送業者側の端末装置の何れかを通信可能に接続するための通信ネットワークとを含むことを特徴とする。

【 0 0 4 3 】

第 1 8 の発明は、上記第 1 7 の発明において、上記サーバ装置は、少なくとも HTTP (Hyper Text Transfer Protocol) サーバ

、及びFTP (File Transfer Protocol) サーバの何れかのサーバ機能を有し、上記情報取得閲覧ソフトウェアからの要求に従ったサービスを実行して、その結果を所定のデータファイルとして返送すると共に、電子メールサービスを提供し、商品売買仲介情報及び上記配送業者側の配送スケジュール情報を含む情報の格納及び更新を随時行うことを特徴とする。

【 0 0 4 4 】

第 1 9 の発明は、売り手側と買い手側の間で任意の商品の売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引システムであって、情報取得閲覧ソフトウェアが起動可能な売り手側の端末装置と、情報取得閲覧ソフトウェアが起動可能な買い手側の端末装置と、商品売買の仲介者側の端末装置と、上記仲介者側が管理運営するサーバ装置と、少なくとも、上記売り手側の端末装置、上記買い手側の端末装置、上記仲介者側の端末装置、及び上記サーバ装置の何れかを通信可能に接続するための通信ネットワークとを含むことを特徴とする。

【 0 0 4 5 】

第 2 0 の発明は、上記第 1 9 の発明において、上記サーバ装置は、少なくとも HTTP (Hyper Text Transfer Protocol) サーバ、及びFTP (File Transfer Protocol) サーバの何れかのサーバ機能を有し、上記情報取得閲覧ソフトウェアからの要求に従ったサービスを実行して、その結果を所定のデータファイルとして返送すると共に、電子メールサービスを提供し、商品売買仲介情報を含む情報の格納及び更新を随時行うことを特徴とする。

【 0 0 4 6 】

第 2 1 の発明は、上記第 1 5、1 7、及び 1 9 の何れかの発明において、上記情報取得閲覧ソフトウェアは、WWWブラウザを含むことを特徴とする。

【 0 0 4 7 】

第 2 2 の発明は、上記第 1 5、1 7、及び 1 9 の何れかの発明において、上記通信ネットワークは、インターネットを含むことを特徴とする。

【 0 0 4 8 】

第 2 3 の発明は、売り手側と買い手側の間で電子コンテンツの売買取引をネッ

トワークを介して行うための電子商取引方法であって、上記売り手側が、情報取得閲覧ソフトウェアを用いて、上記買い手側が管理運営するサーバ装置にアクセスして会員登録をするステップと、上記売り手側が、上記買い手側が購入希望している電子コンテンツに関する情報を含むデータファイルを上記買い手側のサーバ装置から取得し、当該データファイルを上記情報取得閲覧ソフトウェアを用いて表示するステップと、上記売り手側が、本商取引に必要なソフトウェアを、上記買い手側のサーバ装置から取得するステップと、上記売り手側が、上記買い手側へ提供する電子コンテンツに対して、上記本商取引に必要なソフトウェアに含まれるコンテンツ査定ソフトウェアを用いて査定処理するステップと、上記売り手側が、上記買い手側へ提供する電子コンテンツを識別するためのコンテンツ番号、上記会員登録時の会員認証情報、及び上記査定処理の結果の少なくとも何れかの情報を上記買い手側へ送信するステップと、上記買い手側が、上記査定処理の結果に基づいて、上記コンテンツ番号により示される対象電子コンテンツに対する査定価格、受付番号、暗号化の際に使用する鍵情報、及び対象電子コンテンツの送付先情報の少なくとも何れかの情報を上記売り手側へ送信するステップと、上記売り手側が、上記査定価格に納得した場合、上記買い手側へ対象電子コンテンツを上記暗号化鍵を用いて暗号化して送信するステップと、上記買い手側が、上記売り手側から送信されてきた対象電子コンテンツを確認後、金融機関へ上記ネットワーク経由で振込依頼することで、上記査定価格の金額を上記売り手側へ支払うステップとを含むことを特徴とする。

【 0 0 4 9 】

第 2 4 の発明は、上記第 2 3 の発明において、上記本商取引に必要なソフトウェアは、上記コンテンツ査定ソフトウェア、及び暗号化ソフトウェアの少なくとも何れかを含むことを特徴とする。

【 0 0 5 0 】

第 2 5 の発明は、上記第 2 3 の発明において、上記売り手側がコンテンツ査定ソフトウェアを用いて査定処理した結果の出力値が、上記売り手側が当該出力値から査定価格を推測することができないようにするための処理を実行するステップを含むことを特徴とする。

【 0 0 5 1 】

第 2 6 の発明は、上記第 2 5 の発明において、上記出力値を暗号化するステップを含むことを特徴とする。

【 0 0 5 2 】

第 2 7 の発明は、売り手側と買い手側の間で電子コンテンツの売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引方法であって、上記売り手側が、情報取得閲覧ソフトウェアを用いて、上記買い手側が管理運営するサーバ装置にアクセスして会員登録をするステップと、上記売り手側が、上記買い手側が購入希望している電子コンテンツに関する情報を含むデータファイルを上記買い手側のサーバ装置から取得し、当該データファイルを上記情報取得閲覧ソフトウェアを用いて表示するステップと、上記売り手側が、本商取引に必要なソフトウェアを、上記買い手側のサーバ装置から取得するステップと、上記売り手側が、上記本商取引に必要なソフトウェアに含まれるコンテンツ変換ソフトウェアを用いて、上記買い手側へ提供する電子コンテンツの品位を低下させ、当該品位を低下させた電子コンテンツを査定用の電子コンテンツとして上記買い手側へ送信するステップと、上記買い手側のサーバ装置が、上記売り手側から送信されてきた電子コンテンツに対する受付番号を上記売り手側へ送信するステップと、上記買い手側が、上記売り手側から送信されてきた査定用の電子コンテンツを査定するステップと、上記買い手側が、上記査定の結果を上記受付番号と共に上記売り手側へ送信するステップと、上記売り手側が、上記査定の結果に納得した場合、上記受付番号により示される対象電子コンテンツを暗号化して上記買い手側へ送信するステップと、上記買い手側が、上記売り手側から送信されてきた対象電子コンテンツを確認後、金融機関へ上記ネットワーク経由で振込依頼することで、上記査定の結果により示される査定価格の金額を上記売り手側へ支払うステップとを含むことを特徴とする。

【 0 0 5 3 】

第 2 8 の発明は、上記第 2 7 の発明において、上記本商取引に必要なソフトウェアは、上記コンテンツ変換ソフトウェア、及び暗号化ソフトウェアの少なくとも何れかを含むことを特徴とする。

【 0 0 5 4 】

第 2 9 の発明は、上記第 2 7 の発明において、上記売り手側がコンテンツ変換ソフトウェアを用いて電子コンテンツの品位を低下する処理方法は、原理的に元の電子コンテンツを復元できないようになされた方法を含むことを特徴とする。

【 0 0 5 5 】

第 3 0 の発明は、売り手側と買い手側の間で電子コンテンツの売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引方法であって、上記売り手側が、情報取得閲覧ソフトウェアを用いて、上記買い手側が管理運営するサーバ装置にアクセスして会員登録をするステップと、上記売り手側が、上記買い手側が購入希望している電子コンテンツに関する情報を含むデータファイルを上記買い手側のサーバ装置から取得し、当該データファイルを上記情報取得閲覧ソフトウェアを用いて表示するステップと、上記売り手側が、本商取引に必要なソフトウェアを、上記買い手側のサーバ装置から取得するステップと、上記売り手側が、上記買い手側へ提供する電子コンテンツに対して、上記本商取引に必要なソフトウェアに含まれるコンテンツ査定ソフトウェアを用いて自動査定処理するステップと、上記自動査定処理が正常終了した場合の第 1 の処理ステップと、上記自動査定処理が異常終了した場合の第 2 の処理ステップとを含み、上記第 1 の処理ステップは、上記売り手側が、上記買い手側へ提供する電子コンテンツを識別するためのコンテンツ番号、上記会員登録時の会員認証情報、及び上記自動査定処理の結果の少なくとも何れかの情報を上記買い手側へ送信するステップと、上記買い手側が、上記自動査定処理の結果に基づいて、上記コンテンツ番号により示される対象電子コンテンツに対する査定価格、受付番号、暗号化の際に使用する鍵情報、及び対象電子コンテンツの送付先情報の少なくとも何れかの情報を上記売り手側へ送信するステップと、上記売り手側が、上記査定価格に納得した場合、上記買い手側へ対象電子コンテンツを上記暗号化鍵を用いて暗号化して送信するステップと、上記買い手側が、上記売り手側から送信されてきた対象電子コンテンツを確認後、金融機関へ上記ネットワーク経由で振込依頼することで、上記査定価格の金額を上記売り手側へ支払うステップとを含み、上記第 2 の処理ステップは、上記売り手側が、上記本商取引に必要なソフトウェアに含まれるコンテンツ

変換ソフトウェアを用いて、上記買い手側へ提供する電子コンテンツの品位を低下させ、当該品位を低下させた電子コンテンツを査定用の電子コンテンツとして上記買い手側へ送信するステップと、上記買い手側のサーバ装置が、上記売り手側から送信されてきた電子コンテンツに対する受付番号を上記売り手側へ送信するステップと、上記買い手側が、上記売り手側から送信されてきた査定用の電子コンテンツを手動査定するステップと、上記買い手側が、上記手動査定の結果を上記受付番号と共に上記売り手側へ送信するステップと、上記売り手側が、上記手動査定の結果に納得した場合、上記受付番号により示される対象電子コンテンツを暗号化して上記買い手側へ送信するステップと、上記買い手側が、上記売り手側から送信されてきた対象電子コンテンツを確認後、金融機関へ上記ネットワーク経由で振込依頼することで、上記手動査定の結果により示される査定価格の金額を上記売り手側へ支払うステップとを含むことを特徴とする。

【 0 0 5 6 】

第 3 1 の発明は、上記第 3 0 の発明において、上記本商取引に必要なソフトウェアは、上記コンテンツ査定ソフトウェア、上記コンテンツ変換ソフトウェア、及び暗号化ソフトウェアの少なくとも何れかを含むことを特徴とする。

【 0 0 5 7 】

第 3 2 の発明は、上記第 3 0 の発明において、上記売り手側がコンテンツ査定ソフトウェアを用いて自動査定処理した結果の出力値が、上記売り手側が当該出力値から査定価格を推測することができないようにするための処理を実行するステップを含むことを特徴とする。

【 0 0 5 8 】

第 3 3 の発明は、上記第 3 2 の発明において、上記出力値を暗号化するステップを含むことを特徴とする。

【 0 0 5 9 】

第 3 4 の発明は、上記第 3 0 の発明において、上記売り手側がコンテンツ変換ソフトウェアを用いて電子コンテンツの品位を低下する処理方法は、原理的に元の電子コンテンツを復元できないようになされた方法を含むことを特徴とする。

【 0 0 6 0 】

第 3 5 の発明は、上記第 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかの発明において、上記暗号化の方式は、公開鍵暗号（R S A）方式を含むことを特徴とする。

【 0 0 6 1 】

第 3 6 の発明は、上記第 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかの発明において、上記本商取引に必要なソフトウェアは、上記売り手側からダウンロードされ保存された後に実行されるようになされたソフトウェアを含むことを特徴とする。

【 0 0 6 2 】

第 3 7 の発明は、上記第 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかの発明において、上記本商取引に必要なソフトウェアは、上記売り手側の情報取得閲覧ソフトウェア上で実行され、保存が行われなくなされたソフトウェアを含むことを特徴とする。

【 0 0 6 3 】

第 3 8 の発明は、上記第 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかの発明において、上記会員登録の際に、上記売り手側が、自身の個人情報及び振込先情報の少なくとも何れかの情報を開示し、上記買い手側が、会員 I D 及びパスワード情報の少なくとも何れかを上記売り手側へ発行するステップを含むことを特徴とする。

【 0 0 6 4 】

第 3 9 の発明は、上記第 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかの発明において、上記買い手側が、対象電子コンテンツを限定するステップを含むことを特徴とする。

【 0 0 6 5 】

第 4 0 の発明は、上記第 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかの発明において、上記買い手側が購入希望している電子コンテンツに関する情報へ、上記買い手側が当該電子コンテンツを買い取る際の価格の上限及び下限の値を含ませるステップを含むことを特徴とする。

【 0 0 6 6 】

第 4 1 の発明は、上記第 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかの発明において、上記売り手側が、上記買い手側が提示した査定価格に納得できない場合、本商取引を終了するステップを含むことを特徴とする。

【 0 0 6 7 】

第 4 2 の発明は、上記第 2 3、2 7、及び 3 0 の何れかの発明において、上記売り手側から上記買い手側への電子コンテンツの提供方法は、上記ネットワークを介した当該電子コンテンツの送信による方法、及び郵送による方法の少なくとも何れかの方法を含むことを特徴とする。

【 0 0 6 8 】

第 4 3 の発明は、売り手側と買い手側の間で任意の商品の売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引方法であって、上記売り手側又は上記買い手側が、情報取得閲覧ソフトウェアを用いて、仲介者が管理運営するサーバ装置から売買情報一覧及び上記売り手側又は上記買い手側の個人情報を入力するフォームを有するデータファイルを取得して表示するステップと、上記売り手側が販売希望する対象商品があり、当該商品に対して購入希望する上記買い手側がある場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、(a) 上記売り手側に対して、少なくとも個人情報及び販売希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかを上記フォームに対して入力させて送信させるステップと、(b) 上記売り手側とのデータファイルの送受信により、対象商品の引取日時を決定するステップと、(c) 上記買い手側に対して、上記引取日時と同日の引渡日時を通知するステップと、(d) 商品の配送者側に対して、対象商品の配送を依頼するステップと、(e) 上記売買情報を更新するステップとを含み、上記売り手側が販売希望する対象商品があり、当該商品に対して購入希望する上記買い手側がない場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、(f) 上記売り手側に対して、少なくとも個人情報及び対象商品の詳細情報の何れかの情報上記フォームに入力させて送信させるステップと、(g) 上記売り手側に対して、売り登録するか否かを確認するステップと、(h) 上記売り手に対して、対象商品の引取可能日時を送信させるステップと、(i) 上記売買情報の更新を行うステップとを含み、上記買い手側が購入希望する対象商品があり、当該商品を販売希望する売り手側がある場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、(j) 上記買い手側に対して、少なくとも個人情報及び購入希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかの情報を上記フォームに入力させて送信させるステップと、(k) 上記買い手側とのデータファ

イルの送受信により、対象商品の引渡日時を決定するステップと、(l) 上記売り手側に対して、上記引渡日時と同日の引取日時を通知するステップと、(m) 商品の配送者側に対して、対象商品の配送を依頼するステップと、(n) 上記売買情報を更新するステップとを含み、上記買い手側が購入希望する対象商品があり、当該商品を販売希望する上記売り手側がない場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、(o) 上記買い手側に対して、少なくとも個人情報及び購入希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかの情報を上記フォームに入力させて送信させるステップと、(p) 上記買い手側に対して、買い登録するか否かを確認するステップと、(q) 上記買い手側に対して、対象商品の引渡可能日時を送信させるステップと、(r) 上記売買情報の更新を行うステップとを含むことを特徴とする。

【0069】

第44の発明は、上記第43の発明において、上記売買情報一覧上に対して、少なくとも、上記買い手側に対して対象商品が実際に販売されるときの対象商品の価格CP、上記仲介者側が上記売り手側から対象商品を引き取るときの対象商品の価格MPS、上記売り手側の対象商品の販売希望価格SP、及び上記仲介者側が上記買い手側へ対象商品を販売するときの対象商品の価格MPCの何れかを含ませるステップを含むことを特徴とする。

【0070】

第45の発明は、上記第44の発明において、「 $CP > MPS$ 」且つ「 $SP < MPC$ 」なる関係とするステップを含むことを特徴とする。

【0071】

第46の発明は、売り手側と買い手側の間で任意の商品の売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引方法であって、上記売り手側又は上記買い手側が、情報取得閲覧ソフトウェアを用いて、仲介者が管理運営するサーバ装置から売買情報一覧及び上記売り手側又は上記買い手側の個人情報を入力するフォームを有するデータファイルを取得して表示するステップと、上記仲介者側により限定された商品の中に、上記売り手側が販売希望する対象商品がある場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、(a) 上記売り手

側に対して、少なくとも個人情報及び販売希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかを上記フォームに対して入力させて送信させるステップと、(b) 上記売り手側とのデータファイルの送受信により、対象商品の引取日時を決定するステップと、(c) 上記買い手側に対して、上記引取日時と同日の引渡日時を通知するステップと、(d) 商品の配送者側に対して、対象商品の配送を依頼するステップと、(e) 上記売買情報を更新するステップとを含み、上記仲介者側により限定された商品の中に、上記買い手側が購入希望する商品がある場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、(f) 上記買い手側に対して、少なくとも個人情報及び購入希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかの情報を上記フォームに入力させて送信させるステップと、(g) 上記買い手側とのデータファイルの送受信により、対象商品の引渡日時を決定するステップと、(h) 商品の配送者側に対して、対象商品の配送を依頼するステップと、(i) 上記売買情報を更新するステップとを含み、上記仲介者側により限定された商品の中に、上記買い手側が購入希望する商品がない場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、(j) 上記買い手側に対して、少なくとも個人情報及び購入希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかの情報を上記フォームに入力させて送信させるステップと、(k) 上記買い手側に対して、買い登録するか否かを確認するステップと、(l) 上記買い手側に対して、対象商品の引渡可能日時を送信させるステップと、(m) 上記売買情報の更新を行うステップとを含むことを特徴とする。

【 0 0 7 2 】

第 4 7 の発明は、上記第 4 6 の発明において、上記売買情報一覧上に対して、少なくとも、上記買い手側に対して対象商品が実際に販売されるときの対象商品の価格 CP、及び上記仲介者側が上記売り手側から対象商品を引き取るときの対象商品の価格 MP S の何れかを含ませるステップを含むことを特徴とする。

【 0 0 7 3 】

第 4 8 の発明は、上記第 4 7 の発明において、「 $CP > MP S$ 」なる関係とするステップを含むことを特徴とする。

【 0 0 7 4 】

第 4 9 の発明は、上記第 4 3 又は 4 6 の発明において、上記配送者側が、上記売り手側から対象商品を引き取る際に所定の代金を上記売り手側へ支払うステップと、上記仲介者側が、対象商品を購入希望する上記買い手側からクレジットカード決済により代金の徴収を行うステップとを含むことを特徴とする。

【 0 0 7 5 】

第 5 0 の発明は、上記第 4 3 又は 4 6 の発明において、上記仲介者側が、対象商品を販売希望する上記売り手側へ当該商品の代金の支払いを金融機関振込によって行うステップと、上記仲介者側が、対象商品を購入希望する上記買い手側からクレジットカード決済により代金の徴収を行うステップとを含むことを特徴とする。

【 0 0 7 6 】

第 5 1 の発明は、上記第 4 3 又は 4 6 の発明において、上記配送者側が、上記売り手側から対象商品を引き取る際に第 1 の代金を上記売り手側へ支払うステップと、上記配送者側が、上記買い手側へ対象商品を引き渡す際に第 2 の代金を徴収するステップと、上記配送者側が、上記第 1 の代金と上記第 2 の代金の差額の利益を上記仲介者側へ渡すステップとを含むことを特徴とする。

【 0 0 7 7 】

第 5 2 の発明は、上記第 4 3 又は 4 6 の発明において、上記仲介者側が、対象商品が上記売り手側から上記買い手側へ配送された後に、当該商品の代金を上記買い手から金融機関振込によって徴収し、当該商品の代金を上記売り手側へ金融機関振込によって支払うステップを含むことを特徴とする。

【 0 0 7 8 】

第 5 3 の発明は、売り手側と買い手側の間で任意の商品の売買取引をネットワークを介して行うための電子商取引方法であって、上記売り手側又は上記買い手側が、情報取得閲覧ソフトウェアを用いて、仲介者が管理運営するサーバ装置から売買情報一覧及び上記売り手側又は上記買い手側の個人情報を入力するフォームを有するデータファイルを取得して表示するステップと、上記仲介者側により限定された商品の中に、上記売り手側が販売希望する対象商品があり、当該商品に対して購入希望する上記買い手側がある場合の、上記仲介者側のサーバ装

置が実行する処理ステップとして、（a）上記売り手側に対して、少なくとも個人情報及び販売希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかを上記フォームに対して入力させて送信させるステップと、（b）上記売り手に対して、対象商品を上記仲介者側へ送付させるステップと、（c）上記買い手に対して、入荷報告をするステップと、（d）上記買い手に対して、支払い要求をするステップと、（e）上記売買情報を更新するステップとを含み、上記仲介者側が実行する処理ステップとして、（f）上記売り手側から送付された対象商品が所望の商品であるかを確認するステップと、（g）上記売り手側へ対象商品の代金を支払うステップと、（h）上記買い手側からの入金を確認し、或いはクレジット決済の手続きをし、上記買い手側へ対象商品を送付するステップとを含み、上記仲介者側により限定された商品の中に、上記売り手側が販売希望する対象商品があり、当該商品に対して購入希望する上記買い手側がない場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、（i）上記売り手側に対して、少なくとも個人情報及び販売希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかを上記フォームに対して入力させて送信させるステップと、（j）上記売り手に対して、対象商品を上記仲介者側へ送付させるステップと、（k）上記売買情報を更新するステップとを含み、上記仲介者側が実行する処理ステップとして、（l）上記売り手側から送付された対象商品が所望の商品であるかを確認するステップと、（m）上記売り手側へ対象商品の代金を支払うステップと、上記仲介者側により限定された商品の中に、上記買い手側が購入希望する対象商品があり、当該商品が上記仲介者側に在庫としてある場合の、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、（n）上記買い手側に対して、少なくとも個人情報及び購入希望する対象商品を識別するための商品番号の何れかを上記フォームに対して入力させて送信させるステップと、（o）上記買い手に対して、支払い要求をするステップと、（p）上記売買情報を更新するステップとを含み、上記仲介者側が実行する処理ステップとして、（q）上記買い手側からの入金を確認し、或いはクレジット決済の手続きをし、上記買い手側へ対象商品を送付するステップを含み、上記仲介者側により限定された商品の中に、上記買い手側が購入希望する対象商品があり、当該商品が上記仲介者側に在庫としてない場合の

、上記仲介者側のサーバ装置が実行する処理ステップとして、(r) 上記買い手側に対して、少なくとも個人情報及び購入希望する対象商品に関する情報の何れかを上記フォームに対して入力させて送信させるステップと、(s) 上記買い手側に対して、買い登録するかを確認するステップと、(t) 上記買い手側に対して、対象商品の引取可能日時を送信させるステップと、(u) 上記売買情報の更新を行うステップとを含むことを特徴とする。

【0079】

第54の発明は、上記第53の発明において、上記仲介者側が、対象商品を販売希望する上記売り手側へ当該商品の代金の支払いを金融機関振込によって行うステップと、上記仲介者側が、対象商品を購入希望する上記買い手側からクレジットカード決済により代金の徴収を行うステップとを含むことを特徴とする。

【0080】

第55の発明は、上記第53の発明において、上記仲介者側が、対象商品を販売希望する上記売り手側へ当該商品の代金の支払、及び対象商品を購入希望する上記買い手側からの当該商品の代金の徴収を、金融機関振込によって行うステップを含むことを特徴とする。

【0081】

第56の発明は、上記第53の発明において、上記売買情報一覧上に対して、少なくとも、上記買い手側に対して対象商品が実際に販売されるときの対象商品の価格CP、及び上記仲介者側が上記売り手側から対象商品を引き取るときの対象商品の価格MPSの何れかを含ませるステップを含むことを特徴とする。

【0082】

第57の発明は、上記第56の発明において、「 $CP > MPS$ 」なる関係とするステップを含むことを特徴とする。

【0083】

第58の発明は、請求項1～13の何れかに記載の情報処理装置の機能、又は請求項14～22の何れかに記載の電子商取引システムの機能を実施するための処理プログラムを、コンピュータが読出可能に格納した記憶媒体であることを特徴とする。

【 0 0 8 4 】

第 5 9 の発明は、請求項 2 3 ～ 5 7 の何れかに記載の電子商取引方法の処理ステップを、コンピュータが読出可能に格納した記憶媒体であることを特徴とする。

【 0 0 8 5 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について図面を用いて説明する。

【 0 0 8 6 】

<第 1 ～ 第 3 の実施の形態の趣旨>

まず、第 1 ～ 第 3 の実施の形態の趣旨について説明する。

【 0 0 8 7 】

第 1 の実施の形態では、

- (a) 会員登録
- (b) コンテンツの募集
- (c) コンテンツの査定
- (d) 査定結果の通知
- (e) コンテンツの送信
- (f) 代金の支払い

などの処理を全て電子化し、商品（コンテンツ）取引の効率化を図る。

【 0 0 8 8 】

第 1 の実施の形態の最も特徴とする構成は、次のような（１）～（９）にある。

（１）買い手側は、売り手側へ買い取り価格の目安を提示する。これにより、買い手側と売り手側の間での商品の取引に無駄が無くなる。

（２）買い手側は、買い取り希望するコンテンツ（以下、「募集コンテンツ」と言う）を限定する。これにより、買い手側は所望するコンテンツを得ることができる。

（３）買い手側は、売り手側のコンテンツの査定処理を当該売り手側へ自動的に実行させる。これにより、買い手側の無駄な手間を省くことができる。

(4) 売り手側は、当該売り手側のコンテンツの査定処理を当該売り手側自身で実行する。これにより、買い手側へ不当にコンテンツが渡るのを防ぐことができる。

(5) 売り手側でのコンテンツの査定処理の結果を暗号化して出力する。これにより、売り手側は当該査定結果を不当に改竄することを防ぐことができる。

(6) 売り手側は、コンテンツの査定処理の結果に対して不満があれば、当該コンテンツの販売を拒否することができる。

(7) 売り手側は、コンテンツを暗号化して買い手側へ送信する。これにより、当該コンテンツを受信する権利のある正当な買い手側以外は、暗号化コンテンツを復号して元のコンテンツを取得できない。

(8) 売り手側から買い手側へのコンテンツの送信をネットワーク経由で行う。これにより、処理時間の短縮化を図れ、無駄な手間を省くことができる。

(9) 買い手側は、コンテンツの確認後、代金の支払処理を行う。これにより、買い手側は安全な支払処理を行うことができる。

【 0 0 8 9 】

第2の実施の形態では、第1の実施の形態における(a)～(f)で示した処理のうち、(c)コンテンツの査定の処理のみ買い手側で主観評価により行うが、このとき、売り手側が、コンテンツの品位を任意のソフトウェアに低下させて当該コンテンツを買い手側へ提供する。

【 0 0 9 0 】

第2の実施の形態の最も特徴とする構成は、第1の実施の形態における(1)、(2)、及び(6)～(9)と、次のような(10)及び(11)にある。

(10) 売り手側は、コンテンツの品質を低下させたものを査定用のコンテンツとして買い手側へ送信する。これにより、買い手側へ不当にコンテンツが渡るのを防ぐことができる。

(11) 買い手側は、売り手側からのコンテンツの査定を人的に主観評価により行う。これにより、より高度なコンテンツの査定が可能となる。

【 0 0 9 1 】

第3の実施の形態では、コンテンツ査定用のソフトウェアによるコンテンツ査

定が不可能であった場合、コンテンツ査定を、第 2 の実施の形態と同様に、人的に主観評価により再度行う。

【 0 0 9 2 】

第 3 の実施の形態の最も特徴とする構成は、第 1 の実施の形態における (1) 、 (2) 、及び (6) ～ (9) と、第 2 の実施の形態における (1 0) 及び (1 1) と、次のような (1 2) にある。

(1 2) コンテンツ査定を自動化できなかったコンテンツに対してのみ、再度人的にコンテンツ査定する。これにより、コンテンツ査定をより効率化できる。

【 0 0 9 3 】

< 第 1 の実施の形態 >

本発明は、例えば、図 1 に示すような電子商取引システム 1 0 0 に適用される。

【 0 0 9 4 】

(電子商取引システム 1 0 0 の構成)

電子商取引システム 1 0 0 は、上記図 1 に示すように、売り手側の端末装置 1 1 0 (以下、単に「売り手側 1 1 0 」と言う) 、売り手側 1 1 0 から運用管理される WWW ブラウザ 1 2 0 、買い手側の端末装置 1 5 0 (以下、単に「買い手側 1 5 0 」と言う) 、買い手側 1 5 0 から運用管理される買い手側サーバ 1 4 0 、及び金融機関側の端末装置 1 6 0 (以下、単に「金融機関側 1 6 0 」と言う) が、インターネット等のネットワーク 1 3 0 (ここでは、インターネットとする) を介して互いに通信可能に接続された構成としている。

【 0 0 9 5 】

売り手側 1 1 0 、買い手側 1 5 0 、買い手側サーバ 1 4 0 、及び金融機関側 1 6 0 はそれぞれ、例えば、図 2 に示すような構成をしたコンピュータ 2 0 0 の機能を有し、コンピュータ 2 0 0 内の CPU 2 0 1 により、本実施の形態での電子商取引システム 1 0 0 の動作が実施される。

【 0 0 9 6 】

具体的には、コンピュータ 2 0 0 は、上記図 2 に示すように、CPU 2 0 1 と、ROM 2 0 2 と、RAM 2 0 3 と、キーボード (KB) 2 0 9 のキーボードコ

ントローラ (KBC) 205 と、表示部としての CRT ディスプレイ (CRT) 210 の CRT コントローラ (CRTC) 206 と、ハードディスク (HD) 211 及びフロッピーディスク (FD) 212 のディスクコントローラ (DKC) 207 と、ネットワークインターフェースカード (NIC) 208 とが、システムバス 204 を介して互いに通信可能に接続された構成としている。

そして、システムバス 204 が、上記図 1 に示したインターネット 130 と接続される。

【0097】

CPU 201 は、ROM 202 或いは HD 211 に記憶されたソフトウェア、或いは FD 212 より供給されるソフトウェアを実行することで、システムバス 204 に接続された各構成部を総括的に制御する。

すなわち、CPU 201 は、後述する本実施の形態における処理シーケンスに従った処理プログラムを、ROM 202、或いは HD 211、或いは FD 212 から読み出して実行することで、本実施の形態での電子商取引システム 100 の動作を実現するための制御を行う。

【0098】

RAM 203 は、CPU 201 の主メモリ或いはワークエリア等として機能する。

KBC 205 は、KB 209 や図示していないポインティングデバイス等からの指示入力を制御する。

CRTC 206 は、CRT 210 の表示を制御する。

DKC 207 は、ブートプログラム、種々のアプリケーション、編集ファイル、ユーザファイル、ネットワーク管理プログラム、及び上記処理プログラム等を記憶する HD 211 及び FD 212 とのアクセスを制御する。

NIC 208 は、インターネット 130 を介した種々のデータを双方向でやりとりする。

【0099】

尚、上記図 1 では、説明の簡単のため、売り手側 110、買い手側 150、及び金融機関側 160 をそれぞれ 1 つずつインターネット 130 上へ接続する構成

としているが、この接続数に限られることはない。

【0100】

売り手側110は、デジタルコンテンツを販売する側であり、上記図2に示したコンピュータ200の機能を有する端末装置を含み、当該端末装置上でWWWブラウザ120のソフトウェアを起動することで、インターネット130上の買い手側150との通信によるデジタルコンテンツの販売を行う。

【0101】

買い手側150は、売り手側110にて販売されているデジタルコンテンツを購入する側であり、買い手側サーバ140を介して売り手側110へデジタルコンテンツの売買情報を提供し、デジタルコンテンツを売り手側110から購入（入手）した後に、その代金支払いを金融機関160へ依頼する。

【0102】

WWWブラウザ120は、売り手側110の端末装置上で動作するクライアントソフトウェアを含み、例えば、HTML形式等のデータファイルを適した形式で端末装置へ画面表示すると共に、買い手側サーバ140との当該データファイルの送受信を行うようになされている。

また、WWWブラウザ120は、GUI（Graphic User Interface）を有する最適化されたものである。これにより、例えば、買い手側150のユーザが、電子商取引サービスや、買い手側サーバ140の詳しい働きを知らない場合であっても、電子商取引サービスを利用できる。

WWWブラウザ120としては、Netscape社のnetscapeNavigator（商標）や、Microsoft社のInternet Explorer（商標）等が適用可能である。

【0103】

買い手側サーバ140は、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）サーバ、及びFTP（File Transfer Protocol）サーバの機能を有する。

また、買い手側サーバ140は、サーバープログラムを含み、当該サーバープログラムの起動により、WWWブラウザ120からの要求に従ったサービスを実

行してその結果を通知したり、当該要求に従ったデータファイル（HTML形式のファイル等）の返送等の処理を実行する。

さらに、買い手側サーバ140は、売り手側110に対して開放されたデータ記憶領域を有し、例えば、売り手側110からFTP送信されたデジタルコンテンツを受信して当該データ記憶領域へ格納する。

また、買い手側サーバ140は、デジタルコンテンツの売買情報等のデータ更新や、金融機関側160への振込依頼等を行う。

【0104】

金融機関側160は、買い手側150と提携した金融機関を含み、買い手側サーバ140からの要求に従って、売り手側110への代金振り込みを代行する。

【0105】

インターネット130は、通信ネットワークの一種であり、例えば、TCP/IPプロトコル等のネットワークプロトコルを使用したものである。

ここでのネットワークプロトコルは、端末装置同士が通信するための標準的な処理シーケンスを提供し、インターネット130を介したデータの送受信の際に当該データをどのようにフォーマットすべきか等を示す。これにより、通信相手の端末装置が異機種のものであっても、シームレスに通信することができる。

【0106】

尚、上記標準的なネットワークプロトコルとしては、HTTP、FTP、SMTP等がある。HTTPに関しては、T. Berners Lee、R. Fielding、及びH. Frystykの論文「Hyper text Transfer Protocol-HTTP/1.0:1995年9月4日」等に詳しく記載されている。また、FTPに関しては、J. B Postel及びJ. K. Reynoldsの論文「File Transfer Protocol (FTP): RFC959、Information Sciences Institute、USC、1985年10月」等に詳しく記載されている。また、SMTPに関しては、J. B. Postelの論文「Simple Mail Transfer Protocol: RFC821、Information Science Institute、USC、1982年8月」等に詳しく記載されてい

る。

【 0 1 0 7 】

(電子商取引システム 1 0 0 の動作)

図 3 は、電子商取引システム 1 0 0 の動作を示したものであり、図 4 ～図 1 2 は、当該動作における画面の一例や暗号化方式の概念を示したものである。

尚、以下の説明において、「ページ」とは、売り手側 1 1 0 の操作者が、WWWブラウザ 1 2 0 を用いて買い手側サーバ 1 4 0 から取得した HTML 形式等のデータファイルを、売り手側 1 1 0 の端末装置上で画面表示される当該表示画面を示す。

【 0 1 0 8 】

ステップ S 3 0 1 : (図 3 参照)

売り手側 1 1 0 のユーザは、インターネット 1 3 0 に接続された自側の端末装置 (テレビジョン受像機や電子手帳等の端末装置を含む) にて動作する WWW ブラウザ 1 2 0 による当該端末装置での表示画面上を操作することで、所定の URL (インターネット 1 3 0 上のアドレス) で指定される買い手側 1 5 0 のページへアクセスして会員登録する。

尚、ここでの会員登録処理については後述する。

【 0 1 0 9 】

ステップ S 3 0 2 :

売り手側 1 1 0 のユーザは、買い手側 1 5 0 のページへアクセスすることで、買い手側 1 5 0 が募集中のコンテンツの一覧情報を取得する。

図 6 は、上記募集中コンテンツ一覧情報による画面 3 4 0 の一例を示したものである。この画面 3 4 0 では、コンテンツの買い取りの際の最低及び最高価格が示されている。これにより、売り手側 1 1 0 のユーザは、コンテンツの売却の際の目安を容易に認識することができ、不毛なやり取りをする手間を省くことができる。

【 0 1 1 0 】

ステップ S 3 0 3 :

売り手側 1 1 0 のユーザは、上記図 6 の画面 3 4 0 を参照することで、買い手

側 1 5 0 が要求しているコンテンツを所有しており、且つ当該コンテンツに対して納得できる価格（買い取り価格）が提示されているか否か（買い手側 1 5 0 とのニーズが一致するか否か）を判別する。

この判別の結果、買い手側 1 5 0 とのニーズが一致しなかった場合、売り手側 1 1 0 のユーザは、本処理終了とする。

【 0 1 1 1 】

ステップ S 3 0 4 :

ステップ S 3 0 3 の判別の結果、買い手側 1 5 0 とのニーズが一致した場合、売り手側 1 1 0 のユーザは、上記図 6 の画面上にて、該当するコンテンツの情報に対して設けられている「売りたい」ボタンを押下する等して、当該コンテンツの売却を買い手側 1 5 0 へ要求する。

そして、売り手側 1 1 0 のユーザは、自身の所有する売却対象のコンテンツの査定処理を行うためのコンテンツ査定用のソフトウェアと、後述するコンテンツ暗号化用のソフトウェアを入手済みであるか否かを判別する。

この判別の結果、入手済みでない場合のみ、次のステップ S 3 0 5 を介してステップ S 3 0 6 へと進む、入手済みの場合は、そのまま後述するステップ S 3 0 6 へと進む。

【 0 1 1 2 】

ステップ S 3 0 5 :

ステップ S 3 0 4 の判別の結果、コンテンツ査定用のソフトウェア及びコンテンツ暗号化用のソフトウェアを入手済みでない場合、例えば、売り手側 1 1 0 のユーザが初めて本システム 1 0 0 を利用する等の理由により当該ソフトウェアを入手していない場合、売り手側 1 1 0 のユーザは、買い手側サーバ 1 4 0 から自端末装置内へ当該ソフトウェアをダウンロードする。

具体的には例えば、売り手側 1 1 0 が買い手側サーバ 1 4 0 へアクセスすることにより、売り手側 1 1 0 の端末装置上には、図 7 に示すような画面（ダウンロードページ） 3 5 0 が表示される。売り手側 1 1 0 のユーザは、画面 3 5 0 での操作により、未入手のコンテンツ査定用のソフトウェア及びコンテンツ暗号化用のソフトウェアを自端末装置へダウンロードする。

【 0 1 1 3 】

尚、コンテンツ査定用のソフトウェアの実行によるコンテンツ査定処理については後述するが、当該処理による対象コンテンツの査定結果は、売り手側 1 1 0 にて不当に操作されないように、暗号化された記号（数字、アルファベット、算術記号等）として出力される。ここでの暗号化方式としては、例えば、RSA（公開鍵暗号）方式やDES（共通鍵暗号）方式等の様々な暗号化方式を適用可能であり、売り手側 1 1 0 へ当該暗号化方式での暗号ルールが解らないものであればどのような方式でも限られることはない。

また、コンテンツ査定処理を売り手側 1 1 0 へ委ねる理由としては、売り手側 1 1 0 が所有するコンテンツが買い手側 1 5 0 へ不当に渡ることを防止するためである。

また、コンテンツ査定処理を、ソフトウェア（アプリケーション）ではなく、例えば、JAVAアプレットにより行うようにしてもよい。このJAVAアプレットとは、ページ上で実行可能な形式のJAVA中間言語ファイルであり、米国Sun Microsystemsにより開発されたプラットフォーム非依存のプログラミング言語である。この場合、コンテンツ査定用のソフトウェアのダウンロード及び保存処理を売り手側 1 1 0 へ強制せずに済む。これは、売り手側 1 1 0 の端末装置に十分な記憶容量がない場合や、売り手側 1 1 0 のユーザが端末装置の操作に不慣れである場合等に有効である。

【 0 1 1 4 】

ステップ S 3 0 6 :

売り手側 1 1 0 のユーザは、自端末装置にてコンテンツ査定用のソフトウェアを起動することで、自身の所有する売却対象のコンテンツの査定処理を行う。

【 0 1 1 5 】

ステップ S 3 0 7 :

売り手側 1 1 0 のユーザは、上記図 7 の画面 3 5 0 上にて、「査定結果送信ページへ」のボタン（関連づけられた次ページの読み込みを実行するためのリンクボタン）を押下する等して、コンテンツ査定の結果送信ページを自端末装置内へ取り込む。

そして、売り手側110のユーザは、自端末装置にて表示された、例えば、図8に示すような画面360上にて、対象コンテンツの番号（コンテンツ番号）、コンテンツ査定の結果（コンテンツ査定ソフト出力値）、ステップS301での登録時に与えられた会員ID、及びパスワード等を入力し、「送信」ボタンを押下する等して、当該入力情報を買い手側サーバ140へ送信する。

【0116】

ステップS308：

買い手側サーバ140は、売り手側110からの情報を受信し、当該受信情報に含まれるコンテンツ査定ソフト出力値（暗号化されたコンテンツ査定用のソフトウェアの出力値）から、査定価格を求める。

そして、買い手側サーバ140は、上記査定価格（査定金額）、受付番号、暗号化用公開キー、及びコンテンツ送付先情報（買い手側150が指定する送付先）等を、例えば、図9に示すような画面370の情報として売り手側110のWWWブラウザ120へ送信することで、売り手側110へ提示する。

【0117】

尚、暗号化用公開キーを売り手側110へ公開するタイミングとしては、例えば、ステップS301での会員登録の完了通知のタイミングでも良いし、他のタイミングでも良い。

【0118】

ステップS309：

売り手側110のユーザは、上記図9の画面370により提示された査定金額に納得するか否かを判別する。

この判別の結果、査定金額に納得しなかった場合、売り手側110のユーザは、本処理終了とする。

【0119】

ステップS310：

ステップS309での判別の結果、査定金額に納得した場合、売り手側110のユーザは、自端末装置により、買い手側サーバ140内の売り手側110へ開放されたデータ記憶領域（買い手側150が指定したFTPアドレス）へ、コン

テンツを暗号化してFTP送信する。このときの暗号化には、上記図9の画面370により提示された暗号化キーを用いる。

【0120】

尚、売り手側110において、FTP送信に必要なソフトウェアとしては、従来から流通している汎用ソフトウェアを使用してもよいし、自端末装置がコンピュータで無い場合には、当該装置へ付属されている任意のソフトウェアを使用してもよい。

また、売り手側110がインターネット130経由でコンテンツを送信したくない場合、上記図9の画面370にて提示された郵送のための情報（郵便番号及び情報）により、郵送にて当該コンテンツを買い手側150へ送付すればよい。

また、売り手側110での暗号化については、詳細は後述するが、例えば、公開鍵暗号（RSA、楕円曲線暗号）方式を用いる。

【0121】

ステップS311：

買い手側150は、売り手側110よりネットワーク130経由、或は郵送によりコンテンツを受け取り、当該コンテンツを確認した後、査定金額を売り手側110へ支払う。

ここでの支払方法としては、買い手側150のユーザが提携した金融機関側160へネットワーク130経由で振込依頼を行う方法が好適である。

【0122】

以上が、本実施の形態における電子商取引システム100の動作である。

ここで、上述した当該動作における、ステップS301での会員登録処理、ステップS306でのコンテンツ査定処理、及びステップS310での暗号化について具体的に説明する。

【0123】

会員登録処理：図4及び図5参照

売り手側110のユーザは、買い手側150が運用管理している買い手側サーバ140内にある会員登録のためのフォームを含む、例えば、図4に示すようなHTML形式等のデータファイルによる画面320を、WWWブラウザ120を

用いて取得する。

そして、売り手側110のユーザは、上記図4の画面320上にて、氏名、住所、連絡先、及び振込先等の個人情報を入力し、「送信」ボタンを押下する等して、当該入力情報を買手側サーバ140へ送信する。

買手側サーバ140は、売り手側110からの情報を受信し、当該受信情報に基づき会員登録処理を実行し、売り手側110に対して、例えば、図5に示すような、会員ID及びパスワード情報を含むデータファイルによる画面330を、WWWブラウザ120を介して売り手側110へ送信する。

【0124】

コンテンツ査定処理：図10参照

例えば、対象コンテンツが動画像データである場合、動画像データの品位を測る評価項目としては、輝度、コントラスト、彩度、及びノイズ量等がある。輝度、コントラスト、及び彩度については、測定値が高い方が高品位であり、ノイズについては、測定値が低いが高品位である。

また、動画像データの品位を測る他の評価項目としては、構図、動き量、シーンチェンジの数、及び撮影テーマに対する忠実度等が考えられる。これらの項目は、動画像データの種類によって評価基準が異なるため、対象となるコンテンツ毎に適正な評価基準を設けて判定を行う。

上述のような各項目による動画像データの評価は、例えば、10段階評価で行い、その平均値をとる。例えば、図10では、輝度、コントラスト、彩度、ノイズ量、構図、動き量、シーンチェンジの数、及び忠実度の各項目の評価を10段階で行い、これらの結果の平均を求めている。このとき、各項目毎に重み付けしてもよい。

【0125】

上記評価結果のコンテンツ査定金額への反映方法としては、例えば、次のような方法がある。

評価値の平均が中間値である“5.0”の時、査定金額も最高金額と最低金額の中間の金額となるようにする。また、評価値の平均が最高或は最低である場合、査定金額も最高金額或は最低金額となるようにする。すなわち、評価値の平均

と査定金額を線形対応させる。

或は、評価値の平均が中間値付近である場合、査定金額を中間の金額に固定し、評価値の平均が最高値或は最低値の場合、査定金額を最高金額或は最低金額となるようにする。すなわち、評価値の平均と査定金額を非線型に対応づける。

【0126】

尚、ここでは、対象コンテンツが動画像データである場合について説明したが、対象コンテンツが、例えば、音声（音楽）データや、画像及び音声データ、或はゲームソフトウェア等である場合、この場合も上述した動画像データの場合と同様に、コンテンツの種類毎に予め評価項目を設定し、当該評価項目ごとの評価値を集計して、この結果を査定金額へ反映させる。

【0127】

暗号化：図11及び図12参照

ここでの暗号化としては、公開鍵暗号方式を用いる。

図11に示すように、鍵の製作者（ここでは、買い手側150）は、暗号化用に公開する公開キーと、復号用の秘密キーをペアで作成し、当該公開キーを、暗号化する側（ここでは、複数の売り手側110-1, 110-2, 110-3, …）へ公開する。

暗号化する側は、図12に示すように、公開されたキー（上記図9の画面370にて提示された暗号化キー）を用いて、コンテンツを暗号化して送信する。

暗号化されたコンテンツの受け取り側、すなわち鍵の製作者は、公開キーとペアで作成した秘密キーを用いて、当該暗号化コンテンツを復号化する。

このような公開鍵暗号方式によれば、管理する鍵を少なくできる。

【0128】

<第2の実施の形態>

本実施の形態では、上記図1の電子商取引システム100の動作を、例えば、図13に示すフローチャートに従った動作とする。

尚、上記図13のフローチャートにおいて、上記図2のフローチャートと同様の処理実行するステップには同じ符号を付し、その詳細な説明は省略する。

【0129】

ステップ S 3 0 1 ~ S 3 0 3 :

売り手側 1 1 0 は、会員登録し (ステップ S 3 0 1)、買い手側 1 5 0 が募集中のコンテンツの一覧情報を取得する (ステップ S 3 0 2)。

そして、売り手側 1 1 0 は、買い手側 1 5 0 とニーズが一致した場合に、次のステップ S 3 0 4' からの処理を実行する (ステップ S 3 0 3)。

【0130】

ステップ S 3 0 4' :

売り手側 1 1 0 のユーザは、自身の所有する売却対象のコンテンツの変換を行うためのコンテンツ変換用のソフトウェアと、コンテンツ暗号化用のソフトウェアを入手済みであるか否かを判別する。ここでのコンテンツの変換とは、対象コンテンツの品位を低下させるための変換を示す。

この判別の結果、入手済みでない場合のみ、次のステップ S 3 0 5' を介してステップ S 3 0 6' へと進む、入手済みの場合は、そのまま後述するステップ S 3 0 6' へと進む。

【0131】

ステップ S 3 0 5' :

ステップ S 3 0 4' の判別の結果、コンテンツ変換用のソフトウェア及びコンテンツ暗号化用のソフトウェアを入手済みでない場合、例えば、売り手側 1 1 0 のユーザが初めて本システム 1 0 0 を利用する等の理由により当該ソフトウェアを入手していない場合、売り手側 1 1 0 のユーザは、買い手側サーバ 1 4 0 から自端末装置内へ当該ソフトウェアをダウンロードする。

【0132】

尚、ステップ S 3 0 5' でのコンテンツ変換用のソフトウェア及びコンテンツ暗号化用のソフトウェアのダウンロードの方法は、第 1 の実施の形態におけるコンテンツ査定用のソフトウェア及びコンテンツ暗号化用のソフトウェアのダウンロードの方法と同様であるため、その詳細な説明は省略する。

また、コンテンツ変換用のソフトウェアの実行によるコンテンツ変換処理については後述するが、当該処理を、ソフトウェア (アプリケーション) ではなく、例えば、J A V A アプレットにより行うようにしてもよい。この場合、コンテン

ツ変換用のソフトウェアのダウンロード及び保存処理を売り手側 1 1 0 へ強制せずに済む。これは、売り手側 1 1 0 の端末装置に十分な記憶容量がない場合や、売り手側 1 1 0 のユーザが端末装置の操作に不慣れである場合等に有効である。

【 0 1 3 3 】

ステップ S 3 0 6 ' :

売り手側 1 1 0 のユーザは、自端末装置にてコンテンツ変換用のソフトウェアを起動することで、自身の所有する売却対象のコンテンツの品位を低下させ、買い手側 1 5 0 へ F T P 送信或は郵送する。

尚、F T P 送信する場合の送信先情報は、ステップ S 3 0 1 での会員登録時に売り手側 1 1 0 へ提示するようにしても良いし、他のタイミングで提示するようにしてもよい。

【 0 1 3 4 】

ステップ S 3 0 7 ' :

買い手側 1 5 0 は、売り手側 1 1 0 からの変換後のコンテンツを査定用コンテンツとして受け取り、その受付番号を即に売り手側 1 1 0 へ発行する。

【 0 1 3 5 】

ステップ S 3 0 8 ' :

買い手側 1 5 0 は、第 1 の実施の形態におけるコンテンツ査定処理と同様の処理実行により、査定用コンテンツに対して査定を行い、その結果得られた査定金額の情報を、例えば、図 1 4 に示すような画面 3 8 0 の情報として売り手側 1 1 0 の WWW ブラウザ 1 2 0 へ送信することで、売り手側 1 1 0 へ提示する。

【 0 1 3 6 】

尚、売り手側 1 1 0 から郵送で査定用コンテンツが送られてきた場合、買い手側 1 5 0 は、当該査定用コンテンツへの査定を行った後、その結果得られた査定金額の情報を受け付け番号を付加した状態で、郵送或は電子メール等により売り手側 1 1 0 へ提示する。

【 0 1 3 7 】

ステップ S 3 0 9 ~ S 3 1 1 :

売り手側 1 1 0 は、買い手側 1 5 0 から提示された査定価格に納得した場合に

(ステップ S 3 0 9)、対象コンテンツを暗号化して買い手側 1 5 0 へ送信する(ステップ S 3 1 0)。

買い手側 1 5 0 は、売り手側 1 1 0 からのコンテンツを確認した後、査定価格を売り手側 1 1 0 へ支払う(ステップ S 3 1 1)。

【 0 1 3 8 】

ここで、上述したステップ S 3 0 6 ' でのコンテンツの変換処理について具体的に説明する。

例えば、対象コンテンツが画像データである場合、画像データの品位を低下させる変換処理としては、画像をダウンサンプリング(間引き処理)して画像の情報量(画素数)を減らす処理や、MPEG(Moving Picture Expert Group)等の不可逆の圧縮処理を施す処理等が考えられる。これらの方法は共に、画像データの転送量を減らすことができると共に、原理的にオリジナル画像を復元できないことから好適である。もちろん、オリジナル画像を復元できない方法であればどのような方法であっても好適である。

【 0 1 3 9 】

< 第 3 の実施の形態 >

本実施の形態では、上記図 1 の電子商取引システム 1 0 0 の動作を、例えば、図 1 5 に示すフローチャートに従った動作とする。

尚、上記図 1 5 のフローチャートにおいて、上記図 2 及び上記図 1 3 のフローチャートと同様の処理実行するステップには同じ符号を付し、その詳細な説明は省略する。

【 0 1 4 0 】

ステップ S 3 0 1 ~ S 3 0 6 :

売り手側 1 1 0 は、会員登録し(ステップ S 3 0 1)、買い手側 1 5 0 が募集中のコンテンツの一覧情報を取得する(ステップ S 3 0 2)。

そして、売り手側 1 1 0 は、買い手側 1 5 0 とニーズが一致した場合(ステップ S 3 0 3)、自端末装置にてコンテンツ査定用のソフトウェアを起動することで、自身の所有する売却対象のコンテンツの査定処理を行うが(ステップ S 3 0 6)、このとき、コンテンツ査定用のソフトウェア及びコンテンツ暗号化用のソ

フトウェアを入手済みでない場合には（ステップ S 3 0 4）、当該ソフトウェアを、買い手側サーバ 1 4 0 から自端末装置内へダウンロードし（ステップ S 3 0 5）、これをコンテンツ査定に使用する。

【 0 1 4 1 】

ステップ S 3 0 6 - 1 :

売り手側 1 1 0 のユーザは、自端末装置でのコンテンツ査定処理の結果、当該コンテンツ査定処理が正常終了したか否かを判別する。

具体的には例えば、コンテンツ査定用のソフトウェアでは、コンテンツ査定処理が正常終了したか否かをメッセージ等によってユーザへ通知するようになされている。これにより、売り手側 1 1 0 のユーザは、自端末装置へ画面表示されたメッセージ等により、コンテンツ査定処理が正常終了したか否かを認識することができる。

ここでの判別の結果、コンテンツ査定処理が正常終了した場合（コンテンツ査定処理の自動化が可能であった場合）には、次のステップ S 3 0 7 からの処理が実行され、コンテンツ査定処理が正常終了していない場合（コンテンツ査定処理の自動化が不可能であった場合）には、後述するステップ S 3 0 4 ' からの処理が実行される。

【 0 1 4 2 】

ステップ S 3 0 7 ~ S 3 1 1 :

ステップ S 3 0 6 - 1 の判別の結果、コンテンツ査定処理の自動化が可能であった場合、売り手側 1 1 0 は、コンテンツ査定の結果を取得し、当該コンテンツ査定の結果（コンテンツ査定ソフト出力値）と共に、対象コンテンツの番号（コンテンツ番号）、会員 ID、及びパスワード等を買い手側サーバ 1 4 0 へ送信する（ステップ S 3 0 7）。

買い手側サーバ 1 4 0 は、売り手側 1 1 0 からの情報に基づいて、コンテンツの査定価格を求め、当該査定価格と共に、受付番号、暗号化用公開キー、及びコンテンツ送付先情報等を売り手側 1 1 0 へ提示する（ステップ S 3 0 8）。

売り手側 1 1 0 は、買い手側 1 5 0 から提示された査定価格に納得した場合に（ステップ S 3 0 9）、対象コンテンツを暗号化して買い手側 1 5 0 へ送信する

(ステップS310)。

買い手側150は、売り手側110からのコンテンツを確認した後、査定価格を売り手側110へ支払う(ステップS311)。

【0143】

ステップS304'～S308'、S309～S311:

ステップS306-1の判別の結果、コンテンツ査定処理の自動化が不可能であった場合、売り手側110は、対象コンテンツの品位を低下させるためのコンテンツ変換用のソフトウェアを入手済みであるか否かを判別し(ステップS304')、入手済みでない場合には、当該コンテンツ変換用のソフトウェアを買い手側サーバ140から自端末装置内へダウンロードする(ステップS305')。

売り手側110は、自端末装置にてコンテンツ変換用のソフトウェアを起動することで、自身の所有する売却対象のコンテンツの品位を低下させ、買い手側150へFTP送信或は郵送する(ステップS306')。

買い手側150は、売り手側110からの変換後のコンテンツを査定用コンテンツとして受け取り、その受付番号を即に売り手側110へ発行し(ステップS307')、査定用コンテンツに対して人的な査定を行い、その結果得られた査定金額を売り手側110へ提示する(ステップS308')。

売り手側110は、買い手側150から提示された査定価格に納得した場合に(ステップS309)、対象コンテンツを暗号化して買い手側150へ送信する(ステップS310)。

買い手側150は、売り手側110からのコンテンツを確認した後、査定価格を売り手側110へ支払う(ステップS311)。

【0144】

<第4～第6の実施の形態の趣旨>

まず、第4～第6の実施の形態の趣旨について説明する。

【0145】

第4の実施の形態では、売り手側(商品の販売を希望するユーザ)及び買い手側(商品の購入を希望するユーザ)が仲介者が提供するホームページへアクセス

し、商品の売買の依頼を行う。このホームページ上には、売り手側向けの情報として、買い手側の希望価格（購入希望価格）、及び仲介者が売り手側から商品を引き取るときの価格（引取価格）の情報が掲載され、買い手側向けの情報として、売り手側の希望価格（販売希望価格）、及び仲介者が買い手側へ販売する価格の情報が掲載されている。

この場合、次の4つの商取引形態が想定され、第4の実施の形態では、これら全ての商取引形態に対応できる電子商品売買仲介を提供する。

（a）売り手側は、仲介者を介して、売り待ちである商品（購入希望するユーザがいる商品）を販売する。

（b）売り手側は、売り待ちがない商品を販売希望する商品（購入希望するユーザがいない商品）として登録（売り登録）する。

（c）買い手側は、仲介者を介して、買い待ちがある商品（販売希望するユーザがいる商品）を購入する。

（d）買い手側は、買い待ちがない商品（販売希望するユーザがいない商品）を購入希望することを登録（買い登録）する。

【0146】

また、第4の実施の形態では、売買される商品を限定せず、買い手側或は売り手側から寄せられた商品詳細情報をそのまま掲載する。そして、商品の配送は、売り手側と買い手側が揃った段階で初めて行う。

【0147】

第4の実施の形態における最も特徴とするところは、次の（1）～（5）にある。

（1）売り手側は、販売対象の商品が如何なるものであっても販売することができる。

（2）売り手側は、仲介者の手数料を明確に把握することができる。

（3）買い手側は、購入希望する商品が如何なるものであっても、買い登録ができる。

（4）買い手側は、仲介者の手数料を明確に把握することができる。

（5）仲介者は、商品を在庫として実際に抱えることがないため、リスクを小さ

くできる。

【0148】

第5の実施の形態では、売買される商品を仲介者が限定し、販売希望されている商品（売り希望）に対しては、売り待ちの有無に関わらず直ちに仲介者が買い取る。このときの余剰の商品については、在庫として、仲介者が提供するホームページ上に掲載される。

購入希望されている商品（買い希望）に対しては、当該商品が在庫としてある場合には直ちに買い手側へ販売され、在庫として無い場合には上記ホームページ上に買い登録として掲載される。

したがって、仲介者は、直ぐに販売できる商品のみを扱うことで、在庫として抱える商品を減らすことができる。また、配送のスケジューリングを行う際、売り手側の予定に左右されなくなるため、商品の売買完了までにかかる時間を短縮できる。

【0149】

第5の実施の形態における最も特徴とするところは、次の（1）～（5）にある。

- （1）売り手側は、販売対象の商品を、買い手側の有無に関わらず直ぐに買い取ってもらえる。
- （2）売り手側は、仲介者の手数料を明確に把握することができる。
- （3）買い手側は、在庫がある場合には直ぐに商品を手に入れられる。
- （4）買い手側は、仲介者の手数料を明確に把握することができる。
- （5）仲介者は、商品配送の調整が容易になることから、売買効率が向上する。

【0150】

第6の実施の形態では、仲介者が、売買される商品を郵送等の簡易送付が可能な商品に限定することで、物流にかかるコストを軽減する。また、売り手側への代金支払については、売り手側からの商品送付後に行い、買い手側への商品送付については、買い手側からの入金確認後に行う。

これにより、商取引を確実に行うことができ、また、商品配送のスケジューリングを行う必要が無くなるため、商品の売買完了までにかかる時間を短縮できる

【0151】

第6の実施の形態における最も特徴とするところは、次の(1)～(5)にある。

- (1) 売り手側は、販売対象の商品を、買い手側の有無に関わらず直ぐに買い取ってもらえる。
- (2) 売り手側は、仲介者の手数料を明確に把握することができる。
- (3) 買い手側は、在庫がある場合には直ぐに商品を手に入れられる。
- (4) 買い手側は、仲介者の手数料を明確に把握することができる。
- (5) 仲介者は、代金を確実に入手できる。
- (6) 仲介者は、商品配送の調整が容易になることから、売買効率が向上する。

【0152】

<第4の実施の形態>

本発明は、例えば、図16に示すような電子商取引システム500に適用される。

【0153】

(電子商取引システム500の構成)

電子商取引システム500は、上記図16に示すように、売り手側の端末装置510(以下、単に「売り手側510」と言う)、売り手側510から運用管理されるWWWブラウザ520、買い手側の端末装置550(以下、単に「買い手側550」と言う)、買い手側550から運用管理されるWWWブラウザ540、仲介者側の端末装置570(以下、単に「仲介者側570」と言う)、及び仲介者側570から運用管理されるWWWサーバ560が、インターネット等のネットワーク530(ここでは、インターネットとする)を介して互いに通信可能に接続された構成としている。

【0154】

尚、上記図16では、説明の簡単のため、売り手側510、買い手側550、及び仲介者側570をそれぞれ1つずつインターネット530上へ接続する構成としているが、この接続数に限られることはない。

【 0 1 5 5 】

売り手側 5 1 0、買い手側 5 5 0、仲介者側 5 7 0、及び WWW サーバ 5 6 0 はそれぞれ、例えば、上記図 2 に示したような構成をしたコンピュータ 2 0 0 の機能を有し、コンピュータ 2 0 0 内の CPU 2 0 1 により、本実施の形態での電子商取引システム 5 0 0 の動作が実施される。

【 0 1 5 6 】

売り手側 5 1 0 は、商品を販売する側であり、上記図 2 に示したコンピュータ 2 0 0 の機能を有する端末装置を含み、当該端末装置上で WWW ブラウザ 5 2 0 のソフトウェアを起動することで、インターネット 5 3 0 上の仲介者側 5 7 0 との通信による商品の売買取引を行う。

【 0 1 5 7 】

買い手側 5 5 0 は、商品を購入する側であり、上記図 2 に示したコンピュータ 2 0 0 の機能を有する端末装置を含み、当該端末装置上で WWW ブラウザ 5 4 0 のソフトウェアを起動することで、インターネット 5 3 0 上の仲介者側 5 7 0 との通信による商品の売買取引を行う。

【 0 1 5 8 】

仲介者側 5 7 0 は、売り手側 5 1 0 が所持する商品を、買い手側 5 5 0 へ販売する仲介を行うものであり、WWW サーバ 5 6 0 によって売り手側 5 1 0 及び買い手側 5 5 0 へ商品売買情報を提供し、商品の配送、代金の徴収、及び支払い等の処理を実行する。

また、仲介者側 5 7 0 は、配送業者 5 8 0 へ商品の配送を依頼する。このときの依頼の方法としては、例えば、電話やファクシミリによるものであっても、或は、インターネット 5 3 0 を介しての電子メール等によるものであってもよい。

配送業者 5 8 0 は、仲介者側 5 7 0 からの依頼に従って、商品の配送を行う。

尚、ここでの商品売買の決済方法によっては、売り手側 5 1 0 への代金の支払い、及び買い手側 5 5 0 からの代金の徴収を行う場合がある。

【 0 1 5 9 】

売り手側 5 1 0 の WWW ブラウザ 5 2 0、及び買い手側 5 5 0 の WWW ブラウザ 5 4 0 はそれぞれ、売り手側 5 1 0 や買い手側 5 5 0 の端末装置上で動作する

クライアントソフトウェアを含み、例えば、HTML形式等のデータファイルを適した形式で端末装置へ画面表示すると共に、当該データファイルの送受信を行うようになされている。

また、WWWブラウザ520、540は、GUI (Graphic User Interface) を有する最適化されたものである。これにより、例えば、売り手側510や買い手側550のユーザが、電子商取引サービスや、仲介者側570のWWWサーバ560の詳しい働きを知らない場合であっても、電子商取引サービスを利用できる。

WWWブラウザ520、540としては、Netscape社のnetscapeNavigator (商標) や、Microsoft社のInternet Explorer (商標) 等が適用可能である。

【0160】

仲介者側570のWWWサーバ560は、HTTP (Hyper Text Transfer Protocol) サーバ、及びFTP (File Transfer Protocol) サーバの機能を有する。

また、WWWサーバ560は、サーバプログラムを含み、当該サーバプログラムの起動により、WWWブラウザ520からの要求に従ったサービスを実行してその結果を通知したり、当該要求に従ったデータファイル (HTML形式のファイル等) の返送、或は電子メールサービスの提供等の処理を実行する。

さらに、WWWサーバ560は、商品売買仲介情報等のデータ、及び配送業者580の配送スケジュール情報等の格納や更新処理を随時実行する。

【0161】

インターネット530は、通信ネットワークの一種であり、例えば、TCP/IPプロトコル等のネットワークプロトコルを使用したものである。

ここでのネットワークプロトコルは、端末装置同士が通信するための標準的な処理シーケンスを提供し、インターネット530を介したデータの送受信の際に当該データをどのようにフォーマットすべきか等を示す。これにより、通信相手の端末装置が異機種のものであっても、シームレスに通信することができる。

【0162】

尚、上記標準的なネットワークプロトコルとしては、HTTP, FTP, SMTP等がある。HTTPに関しては、T. Berners Lee、R. Fielding、及びH. Frystykの論文「Hyperertext Transfer Protocol-HTTP/1.0:1995年9月4日」等に詳しく記載されている。また、FTPに関しては、J. BPostel及びJ. K. Reynoldsの論文「File Transfer Protocol (FTP):RFC959、Information Sciences Institute、USC、1985年10月」等に詳しく記載されている。また、SMTPに関しては、J. B. Postelの論文「Simple Mail Transfer Protocol:RFC821、Information Science Institute、USC、1982年8月」等に詳しく記載されている。

【0163】

(電子商取引システム500の動作)

図17は、電子商取引システム500の動作を示したものであり、図17～図20は、当該動作における画面の一例の概念を示したものである。

尚、以下の説明において、「ページ」とは、売り手側510及び買い手側550の操作者が、それぞれ対応するWWWブラウザ520, 540を用いて仲介者側570のWWWサーバ560から取得したHTML形式等のデータファイルを、売り手側510及び買い手側550の各端末装置上で画面表示される当該表示画面を示す。

【0164】

(1) 売り手側510が商品を販売する場合

【0165】

ステップS601:図17参照

売り手側510のユーザは、自端末装置上で動作するWWWブラウザ520を操作することで、所定のURL(インターネット上の住所)により示される仲介者側570のホームページへアクセスする。

これは、売り手側側510が、仲介者側570により管理及び運営されている

WWWサーバ560内にある商品情報を含む、例えば、HTML等のデータファイルノレを、WWWブラウザ520を用いて取得することに相当する。

【0166】

図18は、ステップS601にて売り手側510の端末装置、或は後述する買い手側550の端末装置へ画面表示される、仲介者側570のホームページ（売買情報一覧）の画面650の一例を示したものである。

尚、売買情報一覧画面650における価格表示についての詳細は後述する。

【0167】

ステップS602～S604：

ここでは、売り手側510が商品を販売する場合であるので、ステップS602では「売りたい商品がある」、次のステップS603では「売りたい」という処理過程を介して、次のステップS604へ進むことになる。

売り手側510のユーザは、上記図18の画面650を参照（特に、画面650の左部分の「売りたい用」の情報を参照）し、自分が販売希望する商品に対応するものを、購入希望している買い手側がいる旨が掲載されているか否かを確認する。

すなわち、売り手側510のユーザは、自分が販売希望する商品に対して売り待ち有りの状態であるか否かを判別する。

この判別の結果、売り待ち有りでない場合、後述するステップS611からの処理に進む。

【0168】

ステップS605：

売り手側510のユーザは、上記図18の画面650上の「売りたい人用」にいて、“氏名”、“住所”、“電話番号”、“電子メールアドレス（E-Mail）”、“商品番号”、後述する決済方法によってはクレジットカード情報等の個人情報を入力して、「売りたい」ボタンを押下等することにより、当該入力情報を仲介者側570のWWWサーバ560へ送信する（売り要求の送信）。

【0169】

ステップS606：

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、売り手側 510 からの売り要求を受け、当該要求に従って配送スケジュールを調整する。

【0170】

ステップ S607 :

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、ステップ S606 での配送スケジュールの調整の結果として、例えば、図 19 に示すような、商品の引き取り予定日時（当該商品を購入希望している買い手側が希望している取り引き日時）等の情報を含む画面 660 のデータファイルを売り手側 510 へ送信する。

これにより、売り手側 510 は、上記図 19 の画面 660 にて、商品の引き取り予定日時を確認し、その日時でよければ「はい」ボタンを押下し、都合が悪ければ「いいえ」ボタンを押下する等して、その旨を仲介者側 570 の WWW サーバ 560 へ通知する。

【0171】

ステップ S608 :

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、売り手側 510 からの上記通知に従って、商品の引き取り日時が決定するまで（売り手側 510 が承諾するまで）、ステップ S606～S608 の処理を繰り返し実行する。

【0172】

尚、ステップ S606～S608 における仲介者側 570 の WWW サーバ 560 と売り手側 510 の間のやり取りについては後述する。

また、商品の引き取り予定日時、すなわち当該商品を購入希望している買い手側（ここでは、買い手側 550 とする）が希望している取り引き日時については、詳細は後述するが、予め登録されている。

【0173】

ステップ S609 :

ステップ S606～S608 により、商品の引き取り予定日時が決定すると、仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、当該予定日時を買い手側 550 へ電子メール等によって通知する。

また、仲介者側 570 は、商品の引き取りについてを配送業者 580 にも通知

する。

【0174】

ステップS610：

売り手側510のユーザは、決定した引き取り予定日時に従って、仲介者側570と提携している配送業者580により、販売希望した商品を買手側550へ配送する。

これにより、買手側550のユーザは、所望した商品を受け取り、その後、代金支払を行う。

尚、買手側550での代金の支払い方法については後述する。

【0175】

ステップS627：

仲介者側570のWWWサーバ560は、上述の商品取引に従って、売買情報を更新する。

【0176】

ステップS611：

一方、上述したステップS604において、売り手側510が販売希望する商品に対して売り待ち有りの状態でない場合、すなわち上記図18の売買情報一覧画面650にて、売り手側510が販売したい商品に対して売り待ち（買いたい人）がある旨が掲載されていない場合、売り手側510のユーザは、上記図18の画面650上の「売りたい人用」にいて、“氏名”、“住所”、“電話番号”、“電子メールアドレス（E-Mail）”、“商品番号”、後述する決済方法によってはクレジットカード情報等の個人情報と共に、“商品の詳細”を入力して、「売りたい」ボタンを押下等することにより、当該入力情報を仲介者側570のWWWサーバ560へ送信する（売り要求の送信）。

【0177】

ステップS612：

仲介者側570のWWWサーバ560は、売り手側510からの売り要求を受け、当該要求により示される商品を売り登録するか否か確認するためのデータファイルを、売り手側510へ送信する。

これにより、売り手側510は、売り登録を希望するか否かを、仲介者側570のWWWサーバ560へ通知する。

【0178】

ステップS613:

仲介者側570のWWWサーバ560は、売り手側510からの上記通知により、売り手側510が売り登録を承諾したか否かを判別し、売り手側510が売り登録を承諾した場合には次のステップS614からの処理を実行し、承諾していない場合には本処理終了とする。

【0179】

ステップS614:

仲介者側570のWWWサーバ560は、例えば、図20に示すような、商品の引き取り可能な日時を入力をさせるための画面670のデータファイルを、売り手側510へ送信する。

【0180】

ステップS615:

売り手側510は、上記図20の画面670上において、商品の引き取り可能な日時を入力し、当該入力情報を仲介者側570のWWWサーバ560へ返信する。

【0181】

ステップS627:

仲介者側570のWWWサーバ560は、売り手側510からの返信情報に従って、売買情報を更新する。

【0182】

(2) 買い手側550が商品を購入する場合

【0183】

ステップS601: 上記図17参照

買い手側550のユーザは、自端末装置上で動作するWWWブラウザ540を操作することで、所定のURL(インターネット上の住所)により示される仲介者側570のホームページへアクセスする。

これは、買い手側550が、仲介者側570により管理及び運営されているWWWサーバ560内にある商品情報を含む、例えば、HTML等のデータファイル、WWWブラウザ540を用いて取得することに相当する。

【0184】

ステップS602、S603、S616：

ここでは、買い手側550が商品を購入する場合であるので、ステップS602では「買いたい商品がある」、次のステップS603では「買いたい」という処理過程を介して、次のステップS616へ進むことになる。

買い手側550のユーザは、上記図18の画面650を参照（特に、画面650の右部分の「買いたい用」の情報参照）し、自分が購入希望する商品に対応するものを、販売希望している売り手側がいる旨が掲載されているか否かを確認する。

すなわち、買い手側550のユーザは、自分が購入希望する商品に対応するもの（預かり品）があるか否かを判別する。

この判別の結果、預かり品有りでない場合、後述するステップS622からの処理に進む。

【0185】

ステップS617：

買い手側550のユーザは、上記図18の画面650上の「買いたい人用」において、「氏名」、「住所」、「電話番号」、「電子メールアドレス（E-Mail）」、「商品番号」、後述する決済方法によってはクレジットカード情報等の個人情報を入力して、「買いたい」ボタンを押下等することにより、当該入力情報を仲介者側570のWWWサーバ560へ送信する（買い要求の送信）。

【0186】

ステップS618：

仲介者側570のWWWサーバ560は、買い手側550からの買い要求を受け、当該要求に従って配送スケジュールを調整する。

【0187】

ステップS619：

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、ステップ S618 での配送スケジュールの調整の結果として、例えば、上記図 19 に示したような、商品の引き取り予定日時（当該商品を販売希望している売り手側が希望している取り引き日時）等の情報を含む画面 660 のデータファイルを買い手側 550 へ送信する。

これにより、買い手側 550 は、上記図 19 の画面 660 にて、商品の引き取り予定日時を確認し、その日時でよければ「はい」ボタンを押下し、都合が悪ければ「いいえ」ボタンを押下する等して、その旨を仲介者側 570 の WWW サーバ 560 へ通知する。

【0188】

ステップ S620 :

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、買い手側 550 からの上記通知に従って、商品の引き取り日時が決定するまで（買い手側 550 が承諾するまで）、ステップ S618 ~ S620 の処理を繰り返し実行する。

尚、このときの仲介者側 570 と買い手側 550 の間のやりとりは、上述したステップ S606 ~ S608 での仲介者側 570 と売り手側 510 の間のやりとりと同様である。

【0189】

ステップ S621 :

ステップ S618 ~ S620 により、商品の引き取り予定日時が決定すると、仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、当該予定日時を売り手側 510 へ電子メール等によって通知する。

また、仲介者側 570 は、商品の引き取りについてを配送業者 580 にも通知する。

【0190】

ステップ S610 :

売り手側 510 のユーザは、決定した引き取り予定日時に従って、仲介者側 570 と提携している配送業者 580 により、販売希望した商品を買手側 550 へ配送する。

これにより、買い手側 550 のユーザは、所望した商品を受け取り、その後、

代金支払を行う。

尚、買い手側 550 での代金の支払い方法については上述した通りである。

【0191】

ステップ S627 :

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、上述の商品取引に従って、売買情報を更新する。

【0192】

ステップ S622 :

一方、上述したステップ S616 において、上記図 18 の売買情報一覧画面 650 にて、買い手側 550 が購入希望する商品に対応するものを、販売希望している売り手側がいる旨が掲載されていない場合、買い手側 550 のユーザは、上記図 18 の画面 650 上の「買いたい人用」にいて、“氏名”、“住所”、“電話番号”、“電子メールアドレス (E-Mail)”、“商品番号”、後述する決済方法によってはクレジットカード情報等の個人情報と共に、“商品の詳細”を入力して、「買いたい」ボタンを押下等することにより、当該入力情報を仲介者側 570 の WWW サーバ 560 へ送信する（買い要求の送信）。

【0193】

ステップ S623 :

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、買い手側 550 からの買い要求を受け、当該要求により示される商品を買登録するか否か確認するためのデータファイルを、買い手側 550 へ送信する。

これにより、買い手側 550 は、買登録を希望するか否かを、仲介者側 570 の WWW サーバ 560 へ通知する。

【0194】

ステップ S624 :

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、買い手側 550 からの上記通知により、買い手側 550 が買登録を承諾したか否かを判別し、買い手側 550 が売り登録を承諾した場合には次のステップ S625 からの処理を実行し、承諾していない場合には本処理終了とする。

【0195】

ステップS625:

仲介者側570のWWWサーバ560は、例えば、上記図20に示したような、商品の引き取り可能な日時を入力をさせるための画面670のデータファイルを、買い手側550へ送信する。

【0196】

ステップS626:

買い手側550は、上記図20の画面670上において、商品の引き取り可能な日時を入力し、当該入力情報を仲介者側570のWWWサーバ560へ返信する。

【0197】

ステップS627:

仲介者側570のWWWサーバ560は、買い手側550からの返信情報に従って、売買情報を更新する。

【0198】

ここで、上記図18の売買情報一覧画面650における価格表示、売り手側510と仲介者側570の間の商品引き取り予定日時決定のためのやり取り、及び買い手側550の支払方法について具体的に説明する。

【0199】

・上記図18の売買情報一覧画面650における価格表示について

本実施の形態では、買い手側550に対して実際に販売されときの価格（以下、「CP」と言う）と、仲介者側570が売り手側510から引き取る（預かる）ときの価格（以下、「MPS」と言う）が共に、売買情報一覧画面650へ掲載される。

また、売り手側510の売り希望価格（以下、「SP」と言う）と、仲介者570が買い手側550へ販売するときの価格（以下、「MPC」と言う）についても共に、売買情報一覧画面650へ掲載される。

【0200】

例えば、商品を販売する場合も購入する場合も仲介者側570の利益が上乗せ

されるため、

$$CP > MPS \quad \dots (1)$$

$$SP < MPC \quad \dots (2)$$

なる不等式(1), (2)がなりたつ。

したがって、買い手側550は、売り手側510が販売する商品を、仲介者側570が売り手側510から引き取ったときの価格(MPS)よりも高い価格(CP)で購入し、売り手側510は、仲介者側570が買い手側550へ販売する価格(MPC)よりも安い価格(MPS)で商品を仲介者側570へ引き渡すことになる。

【0201】

上述のようなCP、MPS、SP、MPCが全て同時に、売買情報一覧画面650へ掲載されることにより、売り手側510及び買い手側550は、仲介者側570の中間マージンがいくらであるかの情報を容易に認識できる。また、売り手側510は、自分が販売する商品が、実際に希望した販売価格(SP)で掲載されているかを容易に確認することができ、買い手側550も、自分が希望している購入価格(CP)が実際に掲載されているかを容易に確認することができる。

このため、仲介者側570が不当な中間マージンを得ることを確実に防止できるため、商取引を健全化することができ、さらに、売り手側510及び買い手側550へ商取引に対する安心感を与えることができる。

【0202】

・仲介者側570と売り手側510の間での、商品引き取り予定日時決定のためのやり取りについて(上記図17のステップS606~S608参照)

当該日時決定の方法としては、上述したように、上記図19の画面660により、仲介者側570から予定日時を売り手側510へ提示し、売り手側510がこれに答える方法がある。

また、例えば、上記図20の画面670により、売り手側510へ都合の良い日を選択させ、仲介者側570が、この選択による日時を調整する方法がある。

尚、買い手側550の希望日時については、予め登録されるようになされるた

め、これを考慮して、当該日時決定のための処理が実行される。

【0203】

・ 買い手側 550 の代金の支払方法について当該代金の支払方法としては、例えば、次のような方法①～④が挙げられる。

【0204】

① 配送業者 580 が、売り手側 510 から商品を引き取る際に、所望の代金（図上記図 18 の画面 650 にて掲載されている仲介者側 570 の引き取り価格）を売り手側 510 へ支払い、買い手側 550 からクレジットカード決済により代金の徴収を行う。この場合、予め、買い手側 550 に対して、個人情報の 1 つとしてクレジットカード番号等の情報を提供させておく。

【0205】

② 仲介者側 570 は、売り手側 510 に対して、金融機関振り込みにより商品に対する代金を支払い、買い手側 550 からクレジットカード決済により代金の徴収を行う。

【0206】

③ 配送業者 580 が、売り手側 510 から商品を引き取る際に、所望の代金（図上記図 18 の画面 650 にて掲載されている仲介者側 570 の引き取り価格）を売り手側 510 へ支払い、買い手側 550 へ商品を引き渡す際に、買い手側 550 の所望の代金（上記図 18 の画面 650 にて掲載されている買い手側 550 の希望価格）を徴収し、この差額の利益を仲介者側 560 へ渡す。

また、仲介者側 560 から配送業者 580 への配送に関する支払いについては、例えば、仲介者側 560 が、月単位に配送工数に応じてまとめて支払うようにしてもよいし、配送業者 580 が上記差額の利益を仲介者側 570 に渡す際に個別に支払うようにしてもよい。

【0207】

④ 売り手側 510 から買い手側 559 へ商品が配送された後に、買い手側 550 からの金融機関振り込み等で代金を徴収した仲介者側 570 が、売り手側 510 へ金融機関振り込み等で所望の代金を支払う。

【0208】

以上が、本実施の形態における電子商取引システム 5 0 0 の構成及び動作である。

本実施の形態での仲介者側 5 7 0 の WWW サーバ 5 6 0 において実行される処理を、4 つのケース 1 ~ 4 についてまとめると次のようになる。

【 0 2 0 9 】

ケース 1) 売り手側 5 1 0 が販売希望する任意の商品があり、当該商品に対して購入希望する買い手側 5 5 0 がある場合

(a) 売り手側 5 1 0 に対して、個人情報及び商品番号を、上記図 1 8 の画面 6 5 0 へ入力させて送信させる。

(b) 売り手側 5 1 0 とデータファイルの送受信を行って、商品の引き取り日時を決定する。

(c) 上記引き取り日時と同日の引き渡し日時を買い手側 5 5 0 へ通知する。

(d) 配送業者 5 8 0 へ配送を依頼する。

(e) 売買情報を更新する。

【 0 2 1 0 】

ケース 2) 売り手側 5 1 0 が販売希望する任意の商品があり、当該商品に対して購入希望する買い手側 5 5 0 がいない場合

(f) 売り手側 5 1 0 に対して、個人情報及び商品の詳細情報を、上記図 1 8 の画面 6 5 0 へ入力させて送信させる。

(g) 売り手側 5 1 0 に対して売り登録するか否かを確認する。

(h) 売り手側 5 1 0 に対して引き取り可能日時を送信させる。

(i) 売買情報の更新を行う。

【 0 2 1 1 】

ケース 3) 買い手側 5 5 0 が購入希望する任意の商品があり、当該商品に対して販売希望する売り手側 5 1 0 がいる場合

(j) 買い手側 5 5 0 に対して、個人情報及び商品番号を、上記図 1 8 の画面 6 5 0 へ入力させて送信させる。

(k) 買い手側 5 5 0 とデータファイルの送受信を行って、商品の引き渡し日時を決定する。

(1) 上記引き渡し日時と同日の引き取り日時を売り手側 510 へ通知する。

(m) 配送業者 580 へ配送を依頼する。

(n) 売買情報を更新する。

【0212】

ケース4) 買い手側 550 が購入希望する任意の商品があり、当該商品に対して販売希望する売り手側 510 がいない場合

(o) 買い手側 550 に対して、個人情報及び商品の詳細情報を、上記図 18 の画面 650 へ入力させて送信させる。

(p) 買い手側 550 に対して買い登録するか否かを確認する。

(q) 買い手側 550 に対して引き取り可能日時を送信させる。

(r) 売買情報の更新を行う。

【0213】

<第5の実施の形態>

本実施の形態では、上記図 16 の電子商取引システム 500 の動作を、例えば、図 21 に示すフローチャートに従った動作とする。

【0214】

(1) 売り手側 510 が商品を販売する場合

【0215】

ステップ S701:

売り手側 510 のユーザは、自端末装置上で動作する WWW ブラウザ 520 を操作することで、所定の URL (インターネット上の住所) により示される仲介者側 570 のホームページへアクセスする。

これは、売り手側 510 が、仲介者側 570 により管理及び運営されている WWW サーバ 560 内にある商品情報を含む、例えば、HTML 等のデータファイルノレを、WWW ブラウザ 520 を用いて取得することに相当する。

【0216】

図 22 は、ステップ S701 にて売り手側 510 の端末装置、或は後述する買い手側 550 の端末装置へ画面表示される、仲介者側 570 のホームページ (売買情報一覧) の画面 750 の一例を示したものである。

本実施の形態では、上記図 2 2 の画面 7 5 0 の売買情報に示されるように、売買対象の商品が仲介者 5 7 0 によって限定されている。このため、売り手側 5 1 0 は、自分が販売希望する商品が当該売買情報の一覧に掲載されている場合のみ、当該商品の販売が行える。

尚、売買情報一覧画面 7 5 0 における価格表示についての詳細は後述する。

【 0 2 1 7 】

ステップ S 7 0 2 ~ S 7 0 4 :

ここでは、売り手側 5 1 0 が商品を販売する場合であるので、ステップ S 7 0 2 では「売りたい商品がある」、次のステップ S 7 0 3 では「売りたい」という処理過程を介して、次のステップ S 7 0 4 へ進むことになる。

売り手側 5 1 0 のユーザは、上記図 2 2 の画面 7 5 0 を参照し、その売買情報一覧へ、自分が販売希望する商品に対応するものが掲載されているか否かを確認し、掲載されている場合に、“氏名”、“住所”、“電話番号”、及び“電子メールアドレス (E-Mail)”等の個人情報を入力して、該当する商品情報欄の「売りたい」ボタンを押下等することにより、当該入力情報を仲介者側 5 7 0 の WWW サーバ 5 6 0 へ送信する（売り要求の送信）。

【 0 2 1 8 】

尚、本実施の形態では、上記図 2 2 の画面 7 5 0 の売買情報一覧において、該当する商品情報欄の「売りたい」ボタンを押下等することで、当該商品を指定するように構成しているが、例えば、第 4 の実施の形態と同様に、直接当該商品を示す番号（商品番号）を入力するようにしてもよい。

【 0 2 1 9 】

ステップ S 7 0 5 :

仲介者側 5 7 0 の WWW サーバ 5 6 0 は、売り手側 5 1 0 からの売り要求を受け、当該要求に従って配送スケジュールを調整する。

【 0 2 2 0 】

ステップ S 7 0 6 :

仲介者側 5 7 0 の WWW サーバ 5 6 0 は、ステップ S 6 0 6 での配送スケジュールの調整の結果として、例えば、上記図 1 9 に示したような、商品の引き取り

予定日時（当該商品を購入希望している買い手側が希望している取り引き日時）等の情報を含む画面 660 のデータファイルを売り手側 510 へ送信する。

これにより、売り手側 510 は、上記図 19 の画面 660 にて、商品の引き取り予定日時を確認し、その日時でよければ「はい」ボタンを押下し、都合が悪ければ「いいえ」ボタンを押下する等して、その旨を仲介者側 570 の WWW サーバ 560 へ通知する。

【0221】

ステップ S707：

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、売り手側 510 からの上記通知に従って、商品の引き取り日時が決定するまで（売り手側 510 が承諾するまで）、ステップ S705～S707 の処理を繰り返し実行する。

【0222】

尚、ステップ S705～S707 における仲介者側 570 の WWW サーバ 560 と売り手側 510 の間のやり取りについては、第 4 の実施の形態での当該やり取りと同様である。

また、商品の引き取り予定日時、すなわち当該商品を購入希望している買い手側（ここでは、買い手側 550 とする）が希望している取り引き日時についても、第 4 の実施の形態と同様に、予め登録されている。

【0223】

ステップ S708：

ステップ S705～S707 により、商品の引き取り予定日時が決定すると、仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、商品の引き取りについてを配送業者 580 へ通知する。

配送業者 580 は、仲介者側 570 から通知された引き取り予定日時に従って、売り手側 510 から仲介者側 570 へと商品を配送する。

【0224】

ステップ S709：

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、ステップ S708 にて配送されてきた商品について売り待ちがあるか否か（当該商品を購入希望する買い手側がいる

か否か)を判別する。

この判別の結果、売り待ちがない場合には、後述するステップS712へ進む。

【0225】

ステップS710:

仲介者側570のWWWサーバ560は、ステップS708にて配送されてきた商品について売り待ち状態にある買い手側(ここでは、買い手側550とする)に対して、予め登録されている引き渡し予定日時を考慮して、当該商品の引き渡し予定日時を決定し、電子メール等によって買い手側550へ通知する。

また、仲介者側570のWWWサーバ560は、上記決定した引き渡し予定日時を配送業者580へも通知する。

【0226】

ステップS711:

配送業者580は、仲介者側570から通知された引き渡し日時に従って、買い手側550へ商品を配送する。

これにより、買い手側550のユーザは、所望した商品を受け取り、その後、代金支払を行う。

尚、買い手側550での代金の支払方法については後述する。

【0227】

ステップS712:

仲介者側570のWWWサーバ560は、上述の商品取引に従って、売買情報を更新する。

【0228】

(2) 買い手側550が商品を購入する場合

【0229】

ステップS701: 上記図21参照

買い手側550のユーザは、自端末装置上で動作するWWWブラウザ540を操作することで、所定のURL(インターネット上の住所)により示される仲介者側570のホームページへアクセスする。

これは、買い手側 5 5 0 が、仲介者側 5 7 0 により管理及び運営されている W W W サーバ 5 6 0 内にある商品情報を含む、例えば、HTML 等のデータファイル、WWW ブラウザ 5 4 0 を用いて取得することに相当する。

【 0 2 3 0 】

ステップ S 7 0 2、S 7 0 3、S 7 1 3：

ここでは、買い手側 5 5 0 が商品を購入する場合であるので、ステップ S 7 0 2 では「買いたい商品がある」、次のステップ S 7 0 3 では「買いたい」という処理過程を介して、次のステップ S 7 1 3 へ進むことになる。

買い手側 5 5 0 のユーザは、上記図 2 2 の画面 7 5 0 を参照し、自分が購入希望する商品に対応するものが掲載されているか否か（預かり品があるか否か）を確認する。

この確認の結果、預かり品有りでない場合、後述するステップ S 7 1 9 からの処理に進む。

【 0 2 3 1 】

ステップ S 7 1 4：

買い手側 5 5 0 のユーザは、上記図 2 2 の画面 7 5 0 上にて、“氏名”、“住所”、“電話番号”、及び“電子メールアドレス（E-M a i l）”等の個人情報を入力して、該当する商品情報欄の「買いたい」ボタンを押下等することにより、当該入力情報を仲介者側 5 7 0 の W W W サーバ 5 6 0 へ送信する（買い要求の送信）。

【 0 2 3 2 】

尚、本実施の形態では、上記図 2 2 の画面 7 5 0 の売買情報一覧において、該当する商品情報欄の「買いたい」ボタンを押下等することで、当該商品を指定するように構成しているが、例えば、第 4 の実施の形態と同様に、直接当該商品を示す番号（商品番号）を入力するようによい。

【 0 2 3 3 】

ステップ S 7 1 5：

仲介者側 5 7 0 の W W W サーバ 5 6 0 は、買い手側 5 5 0 からの買い要求を受け、当該要求に従って配送スケジュールを調整する。

【0234】

ステップS716:

仲介者側570のWWWサーバ560は、ステップS715での配送スケジュールの調整の結果として、例えば、上記図19に示したような、商品の引き取り予定日時（当該商品を販売希望している売り手側が希望している取り引き日時）等の情報を含む画面660のデータファイルを買い手側550へ送信する。

これにより、買い手側550は、上記図19の画面660にて、商品の引き取り予定日時を確認し、その日時でよければ「はい」ボタンを押下し、都合が悪ければ「いいえ」ボタンを押下する等して、その旨を仲介者側570のWWWサーバ560へ通知する。

【0235】

ステップS717:

仲介者側570のWWWサーバ560は、買い手側550からの上記通知に従って、商品の引き取り日時が決定するまで（買い手側550が承諾するまで）、ステップS715～S717の処理を繰り返し実行する。

尚、このときの仲介者側570と買い手側550の間のやりとりは、第4の実施の形態での当該やり取りと同様である。

【0236】

ステップS718:

ステップS715～S717により、商品の引き取り予定日時が決定すると、仲介者側570のWWWサーバ560は、当該予定日時を配送業者580へ通知する。

配送業者580は、仲介者側570から通知された引き渡し日時に従って、買い手側550へ商品を配送する。

これにより、買い手側550のユーザは、所望した商品を受け取り、その後、代金支払を行う。

尚、買い手側550での代金の支払方法については後述する。

【0237】

ステップS712:

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、上述の商品取引に従って、売買情報を更新する。

【0238】

ステップ S719 :

一方、上述したステップ S713 において、上記図 22 の売買情報一覧画面 750 にて、買い手側 550 が購入希望する商品に対応するものが掲載されていない場合、買い手側 550 のユーザは、上記図 22 の画面 750 にて、“氏名”、“住所”、“電話番号”、及び“電子メールアドレス (E-Mail)”等の個人情報と共に、購入希望する商品の詳細情報を入力し、当該入力情報を仲介者側 570 の WWW サーバ 560 へ送信する (買い要求の送信)。

【0239】

ステップ S720 :

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、買い手側 550 からの買い要求を受け、当該要求により示される商品を買登録するか否か確認するためのデータファイルを、買い手側 550 へ送信する。

これにより、買い手側 550 は、買登録を希望するか否かを、仲介者側 570 の WWW サーバ 560 へ通知する。

【0240】

ステップ S721 :

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、買い手側 550 からの上記通知により、買い手側 550 が買登録を承諾したか否かを判別し、買い手側 550 が売り登録を承諾した場合には次のステップ S722 からの処理を実行し、承諾していない場合には本処理終了とする。

【0241】

ステップ S722 :

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、例えば、上記図 20 に示したような、商品の引き取り可能な日時を入力をさせるための画面 670 のデータファイルを、買い手側 550 へ送信する。

【0242】

ステップS723:

買い手側550は、上記図20の画面670上において、商品の引き取り可能な日時を入力し、当該入力情報を仲介者側570のWWWサーバ560へ返信する。

【0243】

ステップS712:

仲介者側570のWWWサーバ560は、買い手側550からの返信情報に従って、売買情報を更新する。

【0244】

ここで、上記図22の売買情報一覧画面750における価格表示、及び買い手側550の支払方法について具体的に説明する。

【0245】

・上記図22の売買情報一覧画面750における価格表示について

売買情報一覧画面750には、買い手側550に対して実際に販売されるとき
の価格(CP)と、仲介者側570が売り手側510から引き取る(預かる)とき
の価格(MPS)とが共に掲載される。このとき、仲介者側570の利益が上
乗せされるため、第4の実施の形態と同様に、上記式(1)で表される不等式が
なりたつ。

したがって、買い手側550は、仲介者側570が売り手側510から引き取
ったときの価格よりも高い価格で購入することになる。

【0246】

上述のようなCP及びMPSが同時に、売買情報一覧画面750へ掲載される
ことにより、売り手側510及び買い手側550は、仲介者側570の中間マー
ジンがいくらであるかの情報を容易に認識できる。また、売り手側510は、自
分が実際に仲介者側570へ引き渡した価格(CP)が実際に掲載されているか
を容易に確認することができる。

このため、仲介者側570が不当な中間マージンを得ることを確実に防止でき
るため、商取引を健全化することができ、さらに、売り手側510及び買い手側
550へ商取引に対する安心感を与えることができる。

【0247】

・買い手側550の代金の支払方法について

当該代金の支払方法としては、例えば、次のような方法①及び②が挙げられる。

【0248】

①配送業者580が、売り手側510から商品を引き取る際に、所望の代金（図上記図22の画面750にて掲載されている仲介者側570の引き取り価格）を売り手側510へ支払い、買い手側550からクレジットカード決済により代金の徴収を行う。この場合、予め、買い手側550に対して、個人情報の1つとしてクレジットカード番号等の情報を提供させておく。

【0249】

②仲介者側570は、売り手側510に対して、金融機関振り込みにより商品に対する代金を支払い、買い手側550からクレジットカード決済により代金の徴収を行う。

【0250】

以上が、本実施の形態における電子商取引システム500の構成及び動作である。

本実施の形態での仲介者側570のWWWサーバ560において実行される処理を、3つのケース1～3についてまとめると次のようになる。

【0251】

ケース1）仲介者側570により限定された商品の中に、売り手側510が販売希望する商品がある場合

（a）売り手側510に対して、個人情報及び商品番号を、上記図22の画面750へ入力させて送信させる。

（b）売り手側510とデータファイルの送受信を行って、商品の引き取り日時を決定する。

（c）上記取引日時を買い手側550へ通知する。

（d）配送業者580へ商品の配送を依頼する。

（e）売買情報を更新する。

【0252】

ケース2) 仲介者側570により限定された商品の中に、買い手側550が購入希望する商品がある場合

(g) 買い手側550に対して、個人情報及び商品番号を、上記図22の画面750へ入力させて送信させる。

(g) 買い手側550とデータファイルの送受信を行って、商品の引き取り日時を決定する。

(h) 配送業者580へ商品の配送を依頼する。

(i) 売買情報を更新する。

【0253】

ケース3) 仲介者側570により限定された商品の中に、買い手側550が購入希望する商品がない場合

(j) 買い手側550に対して、個人情報及び商品の詳細情報を、上記図22の画面750へ入力させて送信させる。

(k) 買い手側550に対して、買い登録するか否かを確認する。

(l) 買い手側550に対して、商品の引き取り可能日時を送信させる。

(m) 売買情報を更新する。

【0254】

<第6の実施の形態>

本発明は、例えば、図23に示すような電子商取引システム800に適用される。

【0255】

(電子商取引システム800の構成)

電子商取引システム800は、上記図16の電子商取引システム500が配送業者580を含む構成であるのに対して、上記図23に示すように、当該配送業者580を含まない構成としている。

これは、電子商取引システム800での対象商品を、郵送等の簡易配送が可能な商品に限定しているためである。ここでの対象商品としては、例えば、航空券、コンサートチケット、ハイウェイカード等のように、付加価値が高く、配送の

際に壊れる心配の無い軽量小型商品を適用するのが望ましい。

【 0 2 5 6 】

尚、上記図 2 3 の電子商取引システム 8 0 0 において、上記図 1 6 の電子商取引システム 5 0 0 と同様に動作する個所には同じ符号を付し、その詳細な説明は省略する。

【 0 2 5 7 】

(電子商取引システム 8 0 0 の動作)

本実施の形態での電子商取引システム 8 0 0 では、例えば、図 2 4 に示すフローチャートに従った動作が実施される。

【 0 2 5 8 】

(1) 売り手側 5 1 0 が商品を販売する場合

【 0 2 5 9 】

ステップ S 9 0 1 :

売り手側 5 1 0 のユーザは、自端末装置上で動作する WWW ブラウザ 5 2 0 を操作することで、所定の URL (インターネット上の住所) により示される仲介者側 5 7 0 のホームページへアクセスする。ここでのホームページの画面としては、その一例として、上記図 2 2 に示したような画面 7 5 0 を用いる。

これは、売り手側 5 1 0 が、仲介者側 5 7 0 により管理及び運営されている WWW サーバ 5 6 0 内にある商品情報を含む、例えば、HTML 等のデータファイルノレを、WWW ブラウザ 5 2 0 を用いて取得することに相当する。

【 0 2 6 0 】

ステップ S 9 0 2 ~ S 9 0 4 :

ここでは、売り手側 5 1 0 が商品を販売する場合であるので、ステップ S 9 0 2 では「売りたい商品がある」、次のステップ S 9 0 3 では「売りたい」という処理過程を介して、次のステップ S 9 0 4 へ進むことになる。

売り手側 5 1 0 のユーザは、上記図 2 2 の画面 7 5 0 を参照し、その売買情報一覧へ、自分が販売希望する商品に対応するものが掲載されているか否かを確認し、掲載されている場合に、“氏名”、“住所”、“電話番号”、及び“電子メールアドレス (E-Mail)”等の個人情報を入力して、該当する商品情報欄

の「売りたい」ボタンを押下等することにより、当該入力情報を仲介者側 570 の WWWサーバ 560 へ送信する（売り要求の送信）。

【0261】

尚、本実施の形態では、上記図 22 の画面 750 の売買情報一覧において、該当する商品情報欄の「売りたい」ボタンを押下等することで、当該商品を指定するように構成しているが、例えば、第 4 の実施の形態と同様に、直接当該商品を示す番号（商品番号）を入力するようにしてもよい。

【0262】

ステップ S905：

仲介者側 570 の WWWサーバ 560 は、売り手側 510 からの売り要求を受け、当該要求に従って、売り手側 510 に対して商品送付を要求する。

例えば、WWWサーバ 560 は、仲介者側 570 から指定された住所、送付期限、及び契約条項等の情報を含む HTML ファイルを商品送付要求として売り手側 510 へ送信する。

【0263】

ステップ S906：

売り手側 510 は、仲介者側 570 の WWWサーバ 560 から送信されてきた商品送付要求に従って、販売希望する商品を仲介者側 570 へ送付する。

尚、ここでの商品の送付は、郵便等の簡易配送を示し、送付対象の商品としては、当該簡易配送が可能な商品を前提としている。

【0264】

ステップ S907：

仲介者側 570 は、売り手側 510 から送付された商品が、所望の商品であるか否かを確認する。

【0265】

ステップ S909：

ステップ S907 での確認の結果、所望の商品でない場合、仲介者側 570 は、当該商品を売り手側 510 へ送り返し、本処理終了とする。

【0266】

ステップ S 9 0 8 :

ステップ S 9 0 7 での確認の結果、所望の商品である場合、仲介者側 5 7 0 は、売り手側 5 1 0 に対して当該商品の代金を支払う。

ここでの代金支払方法としては、様々な方法が適用可能であるが、例えば、金融機関振込方法を適用する場合、仲介者側 5 7 0 は、予め、売り手側 5 1 0 の振込先情報を、ステップ 9 0 4 での売り手側 5 1 0 の入力情報から取得しておく。

【 0 2 6 7 】

ステップ S 9 1 0 :

仲介者側 5 7 0 の WWW サーバ 5 6 0 は、ステップ S 9 0 6 にて送付されてきた商品について売り待ちがあるか否か（当該商品を購入希望する買い手側がいるか否か）を判別する。

この判別の結果、売り待ちがない場合には、後述するステップ S 9 2 2 へ進む。

【 0 2 6 8 】

ステップ S 9 1 1、S 9 1 2 :

仲介者側 5 7 0 の WWW サーバ 5 6 0 は、ステップ S 9 0 6 にて送付されてきた商品（対象商品）について売り待ち状態にある買い手側（ここでは、買い手側 5 5 0 とする）に対して、対象商品の入荷報告を通知すると共に（ステップ S 9 1 1）、入金要求する（ステップ S 9 1 2）。

例えば、WWW サーバ 5 6 0 は、対象商品の入荷情報、仲介者側 5 7 0 の指定口座、入金期限、及び誓約条項等の情報を含む電子メールを買い手側 5 5 0 へ送信する。

【 0 2 6 9 】

ステップ S 9 1 3 :

仲介者側 5 7 0 は、買い手側 5 5 0 からの入金待ち状態となる。

【 0 2 7 0 】

尚、ステップ S 9 1 3 において、買い手側 5 5 0 が何らかの理由により、電子メールにより通知された入荷報告及び入金要求を拒否した場合、例えば、電話等によって仲介者側 5 7 0 がフォローするようにしてもよい。

また、買い手側550が期日までに入金せず、対象商品を購入希望する買い手側が他にいる場合には、当該他の買い手側へ対象商品を提供するようにしてもよい。

また、買い手側550から仲介者側570への入金方法としては、例えば、上述した売り手側510への代金支払と同様な手順による金融機関振込の方法でもよいし、或はクレジットカード決済による方法を用いるようにしてもよい。また、当該クレジット決済による入金方法の場合、ステップ912において、入金要求の代わりに、仲介者側570が買い手側550へ引落予告をするようにしてもよい。

【0271】

ステップS914:

仲介者側570は、買い手側550からの入金を確認後、買い手側550に対して商品を送付する。

【0272】

ステップS922:

仲介者側570のWWWサーバ560は、上述の商品取引に従って、売買情報を更新する。

【0273】

(2) 買い手側550が商品を購入する場合

【0274】

ステップS901:

買い手側550のユーザは、自端末装置上で動作するWWWブラウザ540を操作することで、所定のURL（インターネット上の住所）により示される仲介者側570のホームページへアクセスする。

これは、買い手側550が、仲介者側570により管理及び運営されているWWWサーバ560内にある商品情報を含む、例えば、HTML等のデータファイル、WWWブラウザ540を用いて取得することに相当する。

【0275】

ステップS902、S903、S915:

ここでは、買い手側 550 が商品を購入する場合であるので、ステップ S902 では「買いたい商品がある」、次のステップ S903 では「買いたい」という処理過程を介して、次のステップ S915 へ進むことになる。

買い手側 550 のユーザは、上記図 22 の画面 750 を参照し、自分が購入希望する商品に対応するもの（対象商品）が掲載されているか否か（預かり品があるか否か）を確認する。

この確認の結果、預かり品有りでない場合、後述するステップ S917 からの処理に進む。

【0276】

ステップ S916 :

買い手側 550 のユーザは、上記図 22 の画面 750 上にて、“氏名”、“住所”、“電話番号”、及び“電子メールアドレス (E-Mail)”等の個人情報を入力して、該当する商品情報欄の「買いたい」ボタンを押下等することにより、当該入力情報を仲介者側 570 の WWW サーバ 560 へ送信する（買い要求の送信）。

【0277】

尚、本実施の形態では、上記図 22 の画面 750 の売買情報一覧において、該当する商品情報欄の「買いたい」ボタンを押下等することで、当該商品を指定するように構成しているが、例えば、第 4 の実施の形態と同様に、直接当該商品を示す番号（商品番号）を入力するようにしてもよい。

【0278】

ステップ S912 :

仲介者側 570 の WWW サーバ 560 は、買い手側 550 からの買い要求により、買い手側 550 に対して入金要求する。

例えば、WWW サーバ 560 は、対象商品の入荷情報、仲介者側 570 の指定口座、入金期限、及び誓約条項等の情報を含む電子メールを買い手側 550 へ送信する。

【0279】

ステップ S913 :

仲介者側570は、買い手側550からの入金待ち状態となる。

【0280】

尚、ステップS913において、買い手側550が何らかの理由により、電子メールにより通知された入荷報告及び入金要求を拒否した場合、例えば、電話等によって仲介者側570がフォローするようにしてもよい。

また、買い手側550が期日までに入金せず、対象商品を購入希望する買い手側が他にいる場合には、当該他の買い手側へ対象商品を提供するようにしてもよい。

また、買い手側550から仲介者側570への入金方法としては、例えば、上述した売り手側510への代金支払と同様な手順による金融機関振込の方法でもよいし、或はクレジットカード決済による方法を用いるようにしてもよい。また、当該クレジット決済による入金方法の場合、ステップ912において、入金要求の代わりに、仲介者側570が買い手側550へ引落予告をするようにしてもよい。

【0281】

ステップS914：

仲介者側570は、買い手側550からの入金を確認後、買い手側550に対して商品を送付する。

【0282】

ステップS922：

仲介者側570のWWWサーバ560は、上述の商品取引に従って、売買情報を更新する。

【0283】

ステップS917：

一方、上述したステップS915において、上記図22の売買情報一覧画面750にて、買い手側550が購入希望する商品に対応するものが掲載されていない場合、買い手側550のユーザは、上記図22の画面750にて、“氏名”、“住所”、“電話番号”、及び“電子メールアドレス(E-Mail)”等の個人情報と共に、購入希望する商品の詳細情報を入力し、当該入力情報を仲介者側

570のWWWサーバ560へ送信する（買い要求の送信）。

【0284】

ステップS918：

仲介者側570のWWWサーバ560は、買い手側550からの買い要求を受け、当該要求により示される商品を買登録するか否か確認するためのデータファイルを、買い手側550へ送信する。

これにより、買い手側550は、買登録を希望するか否かを、仲介者側570のWWWサーバ560へ通知する。

【0285】

ステップS919：

仲介者側570のWWWサーバ560は、買い手側550からの上記通知により、買い手側550が買登録を承諾したか否かを判別し、買い手側550が売り登録を承諾した場合には次のステップS920からの処理を実行し、承諾していない場合には本処理終了とする。

【0286】

ステップS920：

仲介者側570のWWWサーバ560は、例えば、上記図20に示したような、商品の受け取り可能な日時を入力をさせるための画面670のデータファイルを、買い手側550へ送信する。

【0287】

ステップS921：

買い手側550は、上記図20の画面670上において、商品の受け取り可能な日時を入力し、当該入力情報を仲介者側570のWWWサーバ560へ返信する。

【0288】

ステップS922：

仲介者側570のWWWサーバ560は、買い手側550からの返信情報に従って、売買情報を更新する。

【0289】

以上が、本実施の形態における電子商取引システム 8 0 0 の構成及び動作である。

本実施の形態での仲介者側 5 7 0 の WWW サーバ 5 6 0 において実行される処理、及び仲介者側 5 7 0 において実行される処理を、4 つのケース 1 ～ 4 についてまとめると次のようになる。

【 0 2 9 0 】

ケース 1) 仲介者側 5 7 0 により限定された商品の中に、売り手側 5 1 0 が販売希望する商品があり、当該商品を購入希望する買い手側 5 5 0 がいる場合

① WWW サーバ 5 6 0 の処理

(a) 売り手側 5 1 0 に対して、個人情報及び商品番号を、上記図 2 2 の画面 7 5 0 へ入力させて送信させる。

(b) 売り手側 5 1 0 に対して、仲介者側 5 7 0 へ商品を送付させる。

(c) 買い手側 5 5 0 に対して、入荷報告をする。

(d) 買い手側 5 5 0 に対して、入金要求をする。

(e) 売買情報を更新する。

② 仲介者側 5 7 0 の処理

(f) 売り手側 5 1 0 から送付された商品が所望の商品であることを確認する。

(g) 売り手側 5 1 0 へ商品の代金を支払う。

(h) 買い手側 5 5 0 からの入金を確認し、その確認後、買い手側 5 5 0 へ商品を送付する。

【 0 2 9 1 】

ケース 2) 仲介者側 5 7 0 により限定された商品の中に、売り手側 5 1 0 が販売希望する商品があり、当該商品を購入希望する買い手側 5 5 0 がいない場合

① WWW サーバ 5 6 0 の処理

(i) 売り手側 5 1 0 に対して、個人情報及び商品番号を、上記図 2 2 の画面 7 5 0 へ入力させて送信させる。

(j) 売り手側 5 1 0 に対して、仲介者側 5 7 0 へ商品を送付させる。

(k) 売買情報を更新する。

② 仲介者側 5 7 0 の処理

(1) 売り手側 5 1 0 から送付された商品が所望の商品であることを確認する。

(m) 売り手側 5 1 0 へ商品の代金を支払う。

【 0 2 9 2 】

ケース 3) 仲介者側 5 7 0 により限定された商品の中に、買い手側 5 5 0 が購入希望する商品があり、当該商品の在庫が仲介者側 5 7 0 にある場合

① WWWサーバ 5 6 0 の処理

(n) 買い手側 5 5 0 に対して、個人情報及び商品番号を、上記図 2 2 の画面 7 5 0 へ入力させて送信させる。

(o) 買い手側 5 5 0 に対して、入金要求をする。

(p) 売買情報を更新する。

② 仲介者側 5 7 0 の処理

(q) 買い手側 5 5 0 からの入金を確認し、その確認後、買い手側 5 5 0 へ商品を送付する。

【 0 2 9 3 】

ケース 4) 仲介者側 5 7 0 により限定された商品の中に、買い手側 5 5 0 が購入希望する商品があり、当該商品の在庫が仲介者側 5 7 0 にない場合

① WWWサーバ 5 6 0 の処理

(r) 買い手側 5 5 0 に対して、個人情報及び商品番号を、上記図 2 2 の画面 7 5 0 へ入力させて送信させる。

(s) 買い手側 5 5 0 に対して、買い登録するかを確認する。

(t) 買い手側 5 5 0 に対して、引き取り可能日時を送信させる。

(u) 売買情報を更新する。

【 0 2 9 4 】

尚、本発明の目的は、第 1 ～ 第 6 の実施の形態のホスト及び端末の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記憶した記憶媒体を、システム或いは装置に供給し、そのシステム或いは装置のコンピュータ（又は CPU や MPU）が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読みだして実行することによっても、達成されることは言うまでもない。

この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が第 1 ～ 第 6 の実

施の形態の機能を実現することとなり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することとなる。

プログラムコードを供給するための記憶媒体としては、ROM、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R、磁気テープ、不揮発性のメモリカード等を用いることができる。

また、コンピュータが読みだしたプログラムコードを実行することにより、第1～第6の実施の形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼動しているOS等が実際の処理の一部又は全部を行い、その処理によって第1～第6の実施の形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された拡張機能ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部又は全部を行い、その処理によって第1～第6の実施の形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0295】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、売り手側となる一般のユーザであっても、任意の電子コンテンツ（映像や音声（音楽）のデータ、静止画データ、ゲームソフトウェア等）の購入を希望する買い手側の当該購入希望の電子コンテンツに関する情報を取得して、コンピュータ等で動作する情報取得閲覧ソフトウェアによって閲覧等し、自分が販売希望する電子コンテンツに対応するものが掲載されている場合には、当該電子コンテンツを購入希望している買い手側に対して販売することができる。

したがって、一般のユーザ（消費者）であってもネットワークを介して買い手側（販売業者等）へ販売できる上り方向の商取引を電子化することが可能となり、電子コンテンツ不足等を防ぐことができる。

【0296】

具体的には例えば、次のような効果が挙げられる。

(1) 売り手側へ買取価格の目安を提示することができるため、商取引に無駄が無い。

(2) 買い手側が購入希望する電子コンテンツ（募集コンテンツ）を限定することができるため、所望の電子コンテンツを取得することができる。

(3) 買い手側が電子コンテンツの査定を売り手側へ自動的に実行させることができるため、当該処理のための手間を省くことができる。

(4) 売り手側が電子コンテンツの査定を自身で行うため、買い手側へ不当に電子コンテンツが渡ることを防ぐことができる。

(5) 電子コンテンツの査定結果を暗号化して出力することができるため、売り手側が当該結果を不当に改竄する防ぐことができる。

(6) 売り手側は電子コンテンツの査定結果（査定価格等）に不満があれば販売を拒否することができる。

(7) 電子コンテンツを暗号化して送信することができるため、正当な買い手側以外へ不正に当該電子コンテンツが渡り復号されることを防ぐことができる。

(8) 電子コンテンツの送付をネットワーク経由で行うことができるため、処理時間を短縮でき、手間もかからない。

(9) 買い手側が電子コンテンツを確認後、代金支払処理を実行することができるため、安全な商取引を行える。

【0297】

(10) 売り手側は電子コンテンツの品質を低下させたものを査定用として買い手側へ送ることができるため、買い手側へ不当に電子コンテンツが渡るのを防ぐことができる。

(11) 電子コンテンツの査定を買い手側が人的に主観評価により行うことができるため、より高度な当該査定が可能となる。

【0298】

(12) 電子コンテンツの査定を自動化できなかった場合については、再度人的な査定を行うことができるため、当該査定をより効率化できる。

【0299】

また、本発明によれば、売り手側が販売希望する商品に関する情報である販売情報、及び買い手側が購入希望する商品に関する情報である購入情報等の情報を取得して、コンピュータ等で動作する情報取得閲覧ソフトウェアによって閲覧等し、自分が販売希望或いは購入希望する商品に対応するものが掲載されている場合には、当該商品を購入希望或いは販売希望している買い手側或いは売り手側へ商品取引を要求することができる。

このとき、上記閲覧情報を仲介者側で管理し、当該仲介者側がネットワークを介して売り手側及び買い手側と通信して、売り手側と買い手側の間の商品の売買取引の仲介を行うように構成すれば、売り手側から仲介者への売買委託や、仲介者から買い手側への販売を、物流、商品の確認、及び一部の代金決済等を除いて、全てを電子化することができる。また、上記閲覧情報に対して、仲介者側で発生した情報（仲介手数料等）を含ませるように構成すれば、商取引の健全性を高めることができる。

【 0 3 0 0 】

具体的には例えば、次のような効果が挙げられる。

（１）売り手側は、販売希望する商品が如何なるものであっても効率的に販売することができる。

（２）売り手側及び買い手側はそれぞれ、仲介者の手数料等を明確に認識することができる。

（３）買い手側は、購入希望する商品が如何なるものであっても、当該商品の買い登録ができる。

（４）仲介者側は、商品を在庫として実際に抱えることがないためリスクを小さくできる。

【 0 3 0 1 】

（５）売り手側は、販売希望する商品に対して買い手側がある無しにかかわらず、直ぐに仲介者側に買い取ってもらえる。

（６）買い手側は、購入希望する商品が仲介者側に在庫としてある場合には直ぐに当該商品を手に入れられる。

（７）仲介者側は、商品の配送の調整が楽になることから、売買効率が向上する

。すなわち、商品売買の流れを早くすることが可能となる。

(8) 仲介者にとっては代金の取りはぐれがない。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

第 1 の実施の形態において、本発明を適用した電子商取引システムの構成を示すブロック図である。

【図 2】

上記電子商取引システムの売り手側及び買い手側等で使用される端末装置の構成を示すブロック図である。

【図 3】

上記電子商取引システムの動作を説明するためのフローチャートである。

【図 4】

上記電子商取引システムにおいて、会員登録のための画面の一例を説明するための図である。

【図 5】

上記会員登録終了の画面の一例を説明するための図である。

【図 6】

上記電子商取引システムにおいて、商品（コンテンツ）の売買情報一覧の画面の一例を説明するための図である。

【図 7】

上記電子商取引システムにおいて、上記コンテンツ査定のソフトウェアダウンロードのための画面の一例を説明するための図である。

【図 8】

上記コンテンツ査定の結果の画面の一例を説明するための図である。

【図 9】

上記コンテンツ査定の結果通知の画面の一例を説明するための図である。

【図 1 0】

上記コンテンツ査定処理を説明するための図である。

【図 1 1】

上記電子商取引システムでの暗号化処理を説明するための図である。

【図 1 2】

上記暗号化処理の結果を復号する処理を説明するための図である。

【図 1 3】

第 2 の実施の形態における上記電子商取引システムの動作を説明するためのフローチャートである。

【図 1 4】

第 2 の実施の形態における、上記コンテンツ査定の結果の画面の一例を説明するための図である。

【図 1 5】

第 3 の実施の形態における上記電子商取引システムの動作を説明するためのフローチャートである。

【図 1 6】

第 4 の実施の形態において、本発明を適用した電子商取引システムの構成を示すブロック図である。

【図 1 7】

上記電子商取引システムの動作を説明するためのフローチャートである。

【図 1 8】

上記電子商取引システムにおいて、商品の売買情報一覧の画面の一例を説明するための図である。

【図 1 9】

上記電子商取引システムにおいて、商品の配送予定日を決定するための画面の一例を説明するための図である。

【図 2 0】

上記商品の配送予定日を決定するための画面の他の例を説明するための図である。

【図 2 1】

第 5 の実施の形態における上記電子商取引システムの動作を説明するためのフローチャートである。

【図 2 2】

第 5 の実施の形態における、上記商品の売買情報一覧の画面の一例を説明するための図である。

【図 2 3】

第 6 の実施の形態において、本発明を適用した電子商取引システムの構成を示すブロック図である。

【図 2 4】

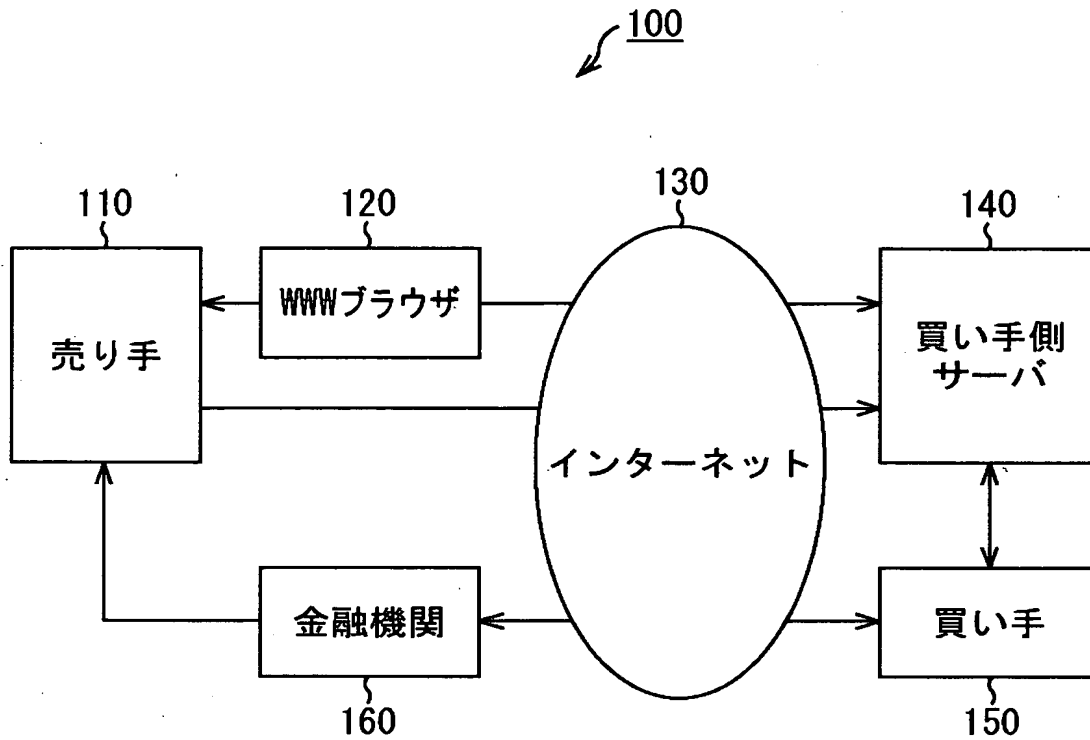
上記電子商取引システムの動作を説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

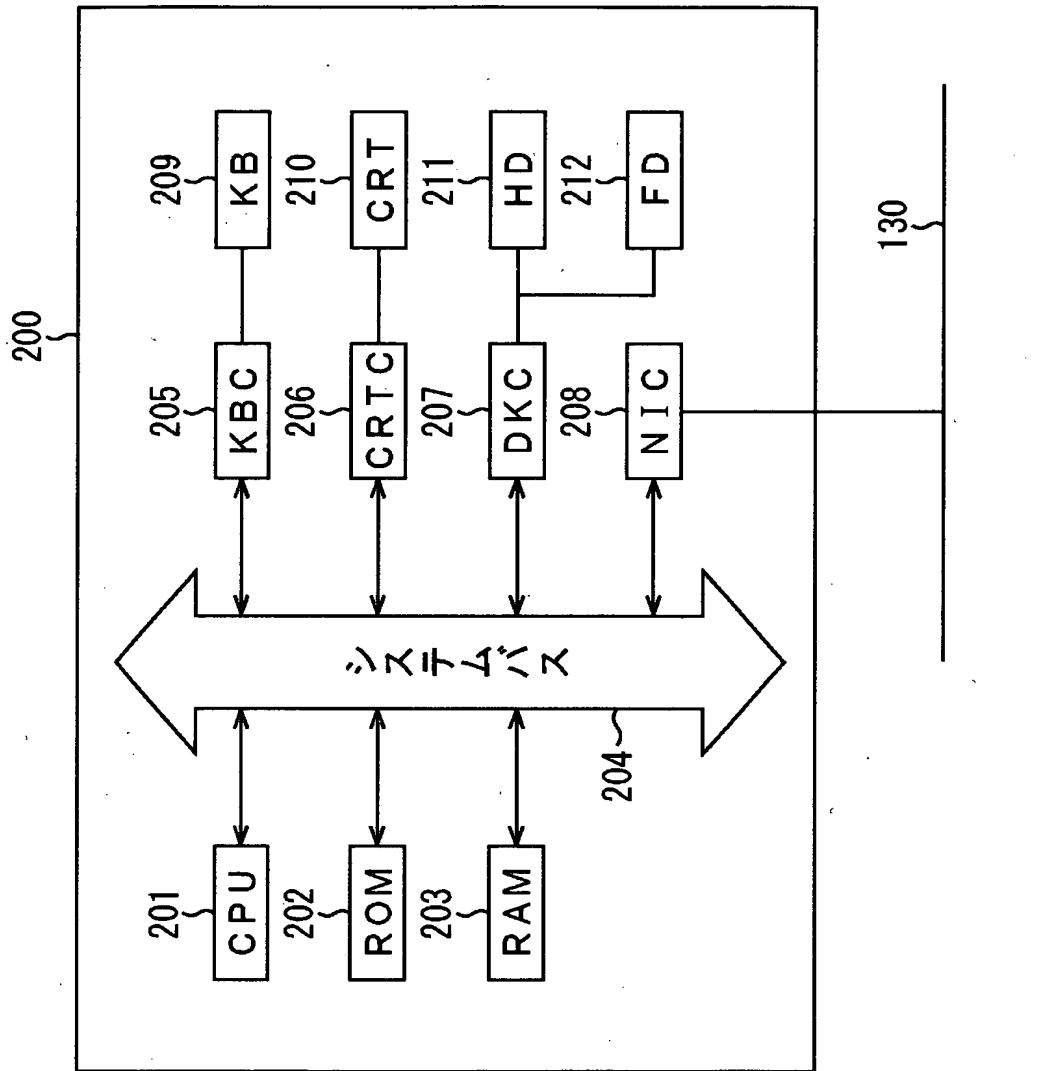
- 1 0 0 電子商取引システム
- 1 1 0 売り手側端末装置
- 1 2 0 売り手側WWWブラウザ
- 1 3 0 ネットワーク（インターネット）
- 1 4 0 買い手側サーバ
- 1 5 0 買い手側端末装置
- 1 6 0 金融機関側端末装置
- 5 0 0 電子商取引システム
- 5 1 0 売り手側端末装置
- 5 2 0 売り手側WWWブラウザ
- 5 3 0 ネットワーク（インターネット）
- 5 4 0 買い手側WWWブラウザ
- 5 5 0 買い手側端末装置
- 5 6 0 仲介者側WWWサーバ
- 5 7 0 仲介者側端末装置
- 5 8 0 配送業者

【書類名】 図面

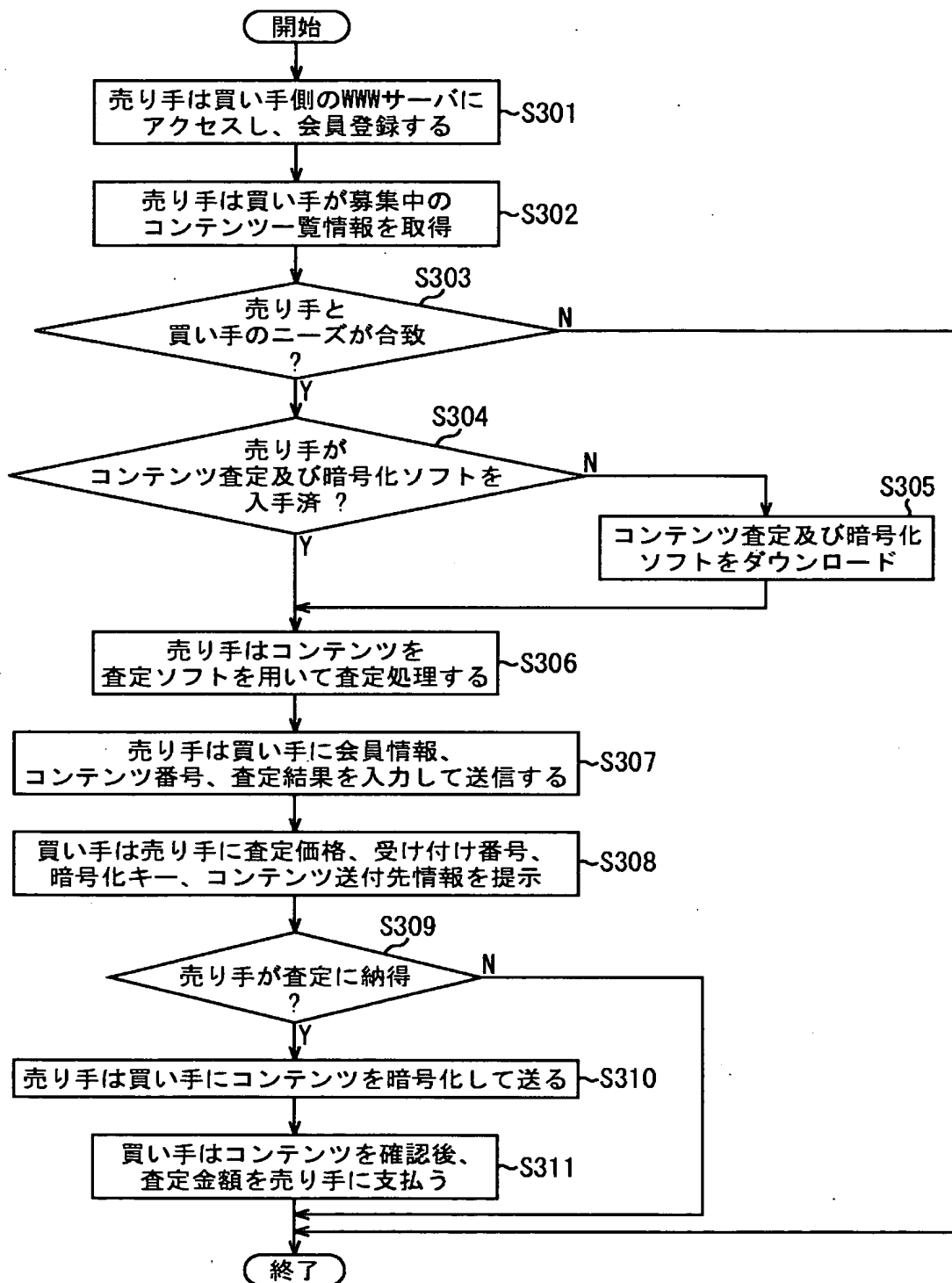
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

320

会員登録

お名前、ご住所、電話番号、E-Mailアドレス、振込先を
下記フォームに入力後、送信ボタンを押してください。

お名前	<input style="width: 100%;" type="text"/>		
ご住所	<input style="width: 100%;" type="text"/>		
電話番号	<input style="width: 100%;" type="text"/>		
E-Mail	<input style="width: 100%;" type="text"/>		
振込先	<input style="width: 100px;" type="text"/>	銀行/信用金庫	<input style="width: 100px;" type="text"/> 支店
口座番号	<input style="width: 100%;" type="text"/>		

【図7】

350

ソフトウェア ダウンロード

お売りにになりたいコンテンツを査定するためには、下記ソフトにて
査定処理を行った後、その出力値を送信していただく必要があります。
また、コンテンツを送信されるときに下記暗号化ソフトが必要になります。

まだ下記ソフトをお持ちでない方は、ダウンロードボタンを押して
ダウンロードしてください。

査定用ソフト
ダウンロード

暗号化ソフト
ダウンロード

上の査定ソフトで査定された結果を送信したい方は、下の査定結果
送信ページへのリンクボタンを押してください。

査定結果
送信ページへ

【図8】

360

査定結果送信

募集一覧にあるコンテンツ番号、査定ソフトの出力値(暗号化されたもの)、
および会員ID番号、パスワードを
下記フォームに入力後、送信ボタンを押してください。

コンテンツ番号

査定出力値

会員ID

パスワード

送信

【図 9】

370

査定結果通知

お客様のコンテンツの査定価格および受け付け番号は次の通りです。

査定金額	21,800円
受け付け番号	XXXXXXXXXX
暗号化キー	XXXXXXXXXX

上記査定価格でコンテンツをお売りにになりたい方は、

郵送したい場合

下記住所当てに上記受け付け番号、お客様の指定振込先をお書き添えの上、送付してください。

郵便番号 XXX-XXXX

住所 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇〇

FTPしたい場合

E-Mailにて上記受け付け番号、お客様の指定振込先を連絡の上、下記アドレス当てに送信してください。

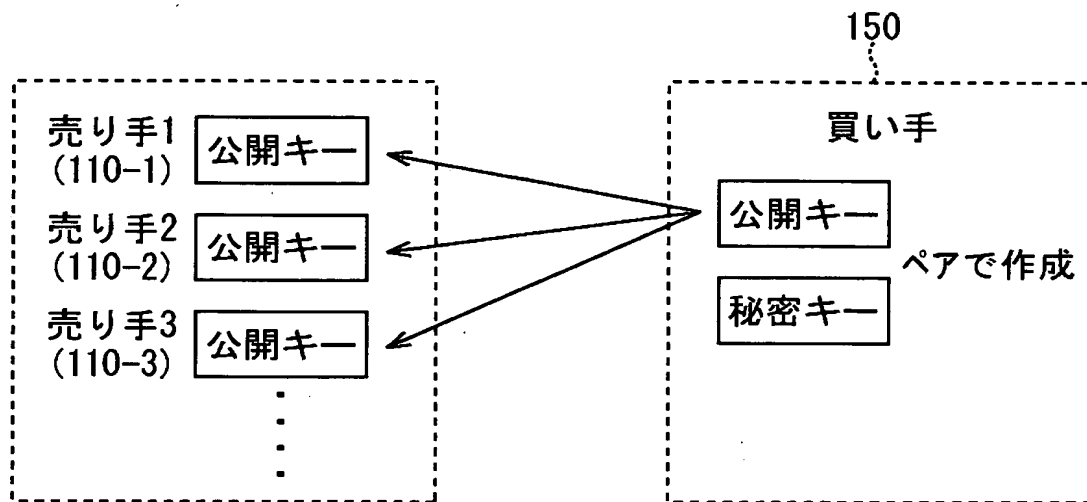
E-Mail アドレス:◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

FTP アドレス:△△△△△△△△△△△△△△△△△△

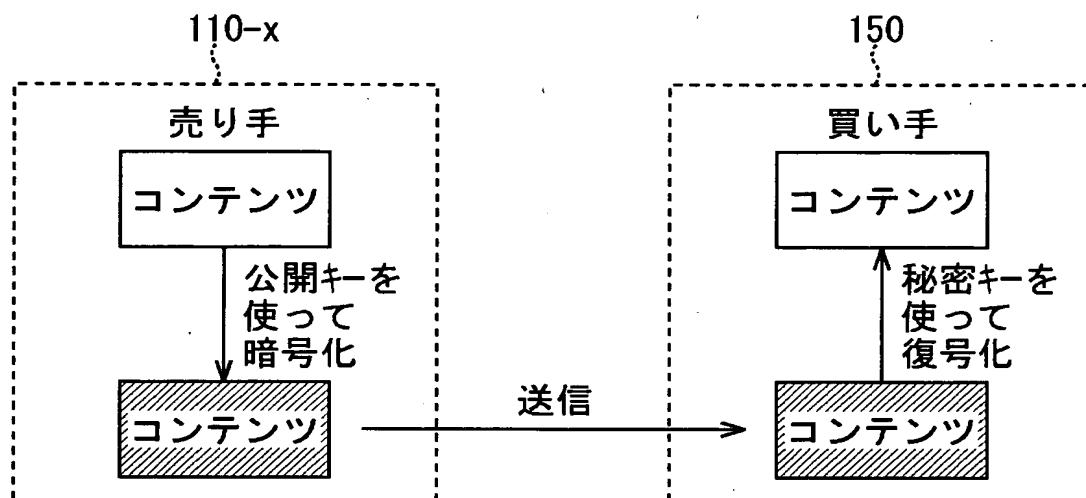
【図10】

評価項目	評価値
輝度	4
コントラスト	3
彩度	3
ノイズ量	8
構図	7
動き量	5
シーンチェンジ	7
忠実度	8
平均	5.6

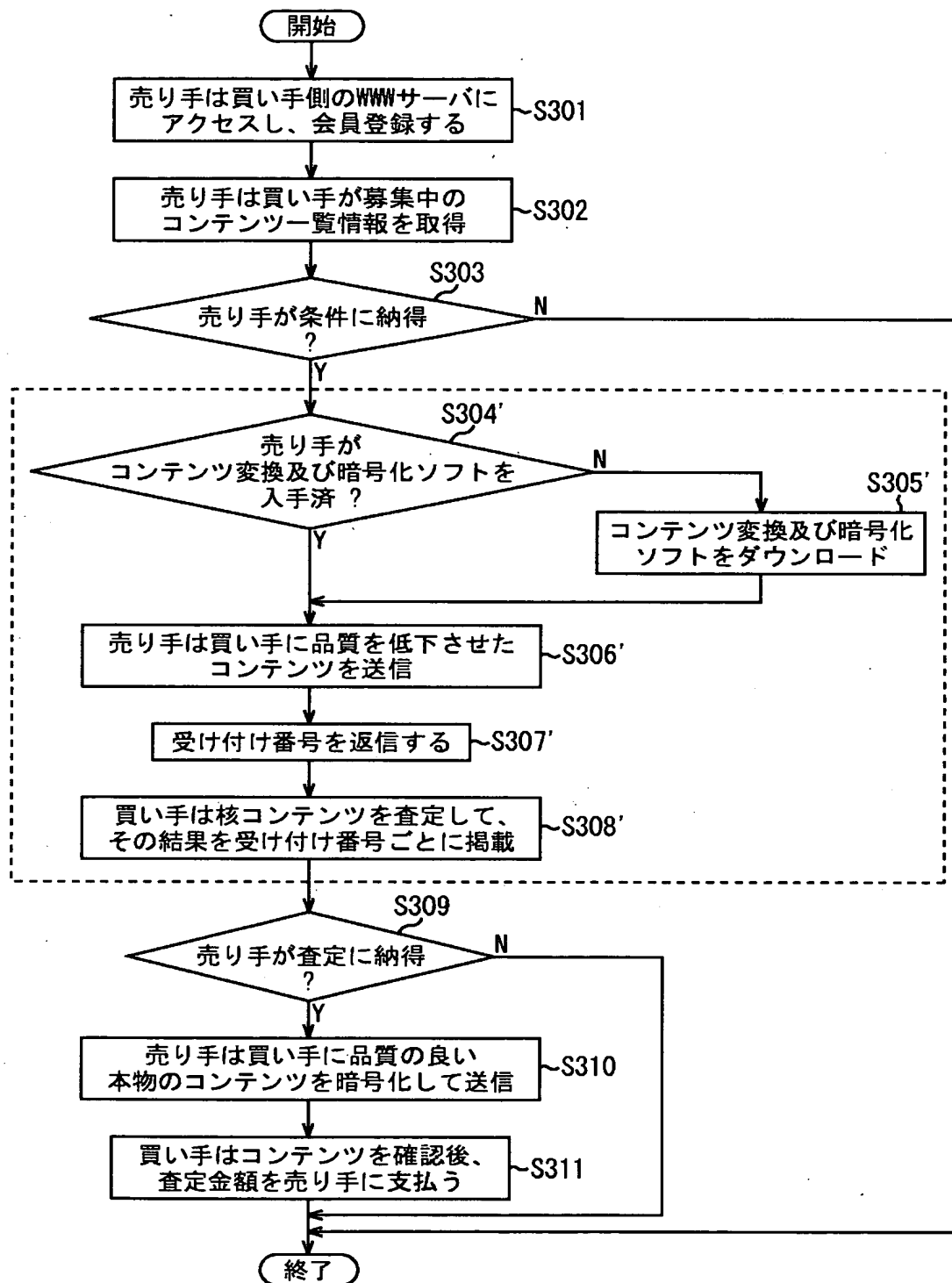
【図 1 1】



【図 1 2】



【図 1 3】



【図14】

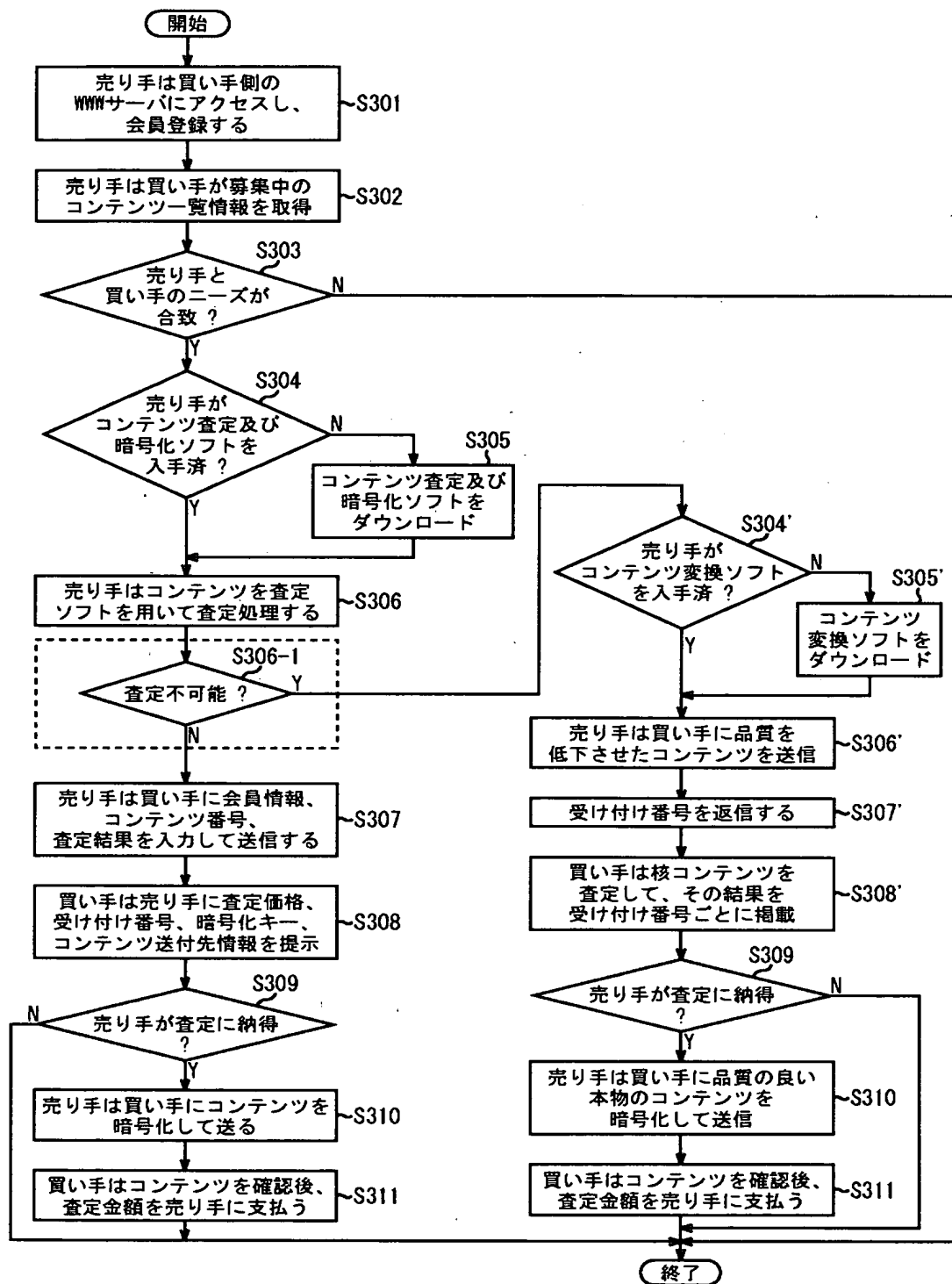
380

コンテンツ査定結果一覧

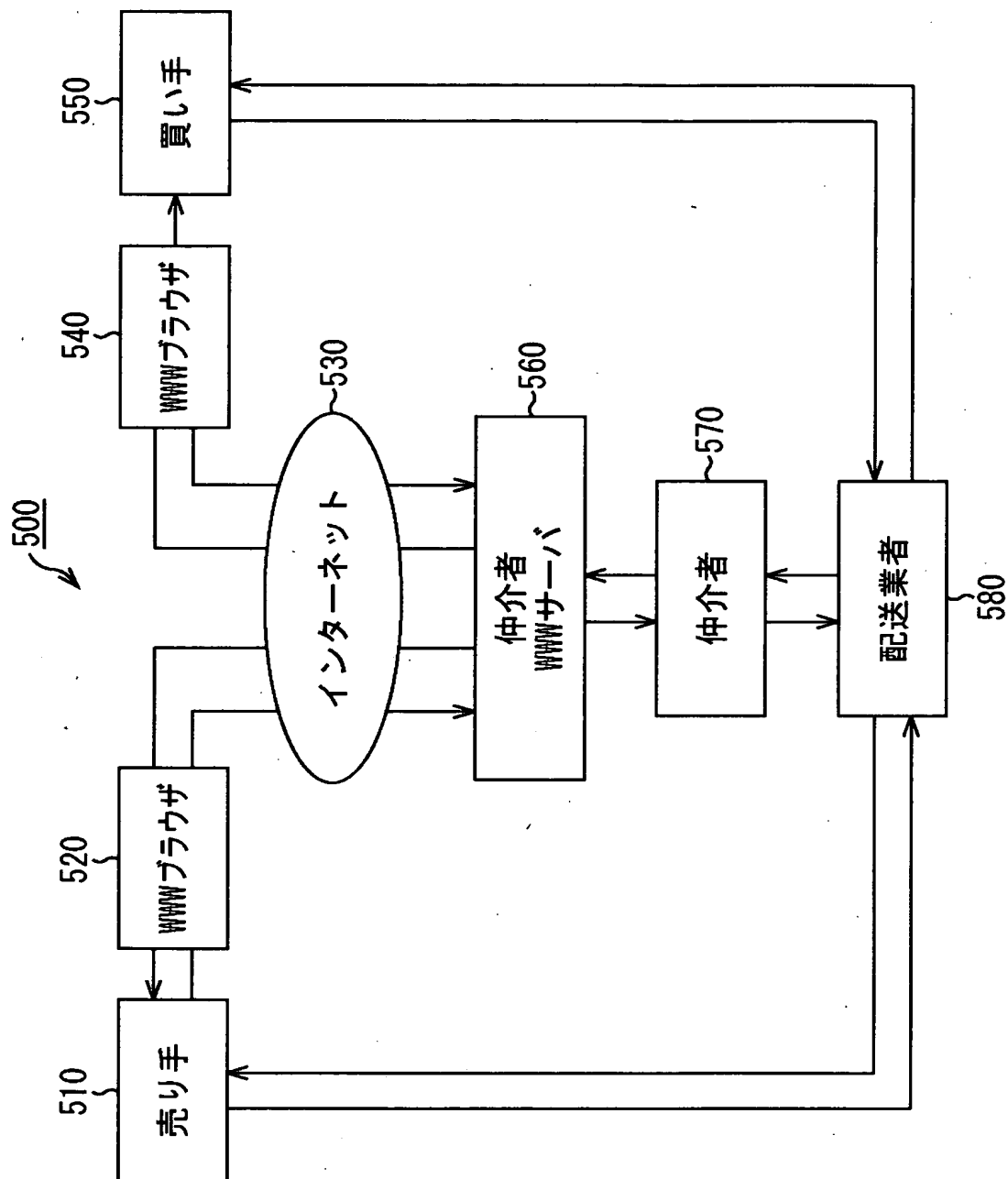
皆様よりお申し込みのあったコンテンツ査定結果は以下の通りです。
 下記価格にてコンテンツを売りたい方は、各コンテンツ右端の売りたい
 ボタンを押してください。
 なお、下記査定価格の有効期間は1週間であり、それ以降は無効となり、
 本ページからも削除されますのでご注意願います。

受け付け番号	種類	査定価格	
00231	動画	19,800円	売りたい
00232	動画	29,800円	売りたい
x	静止画	4,800円	売りたい

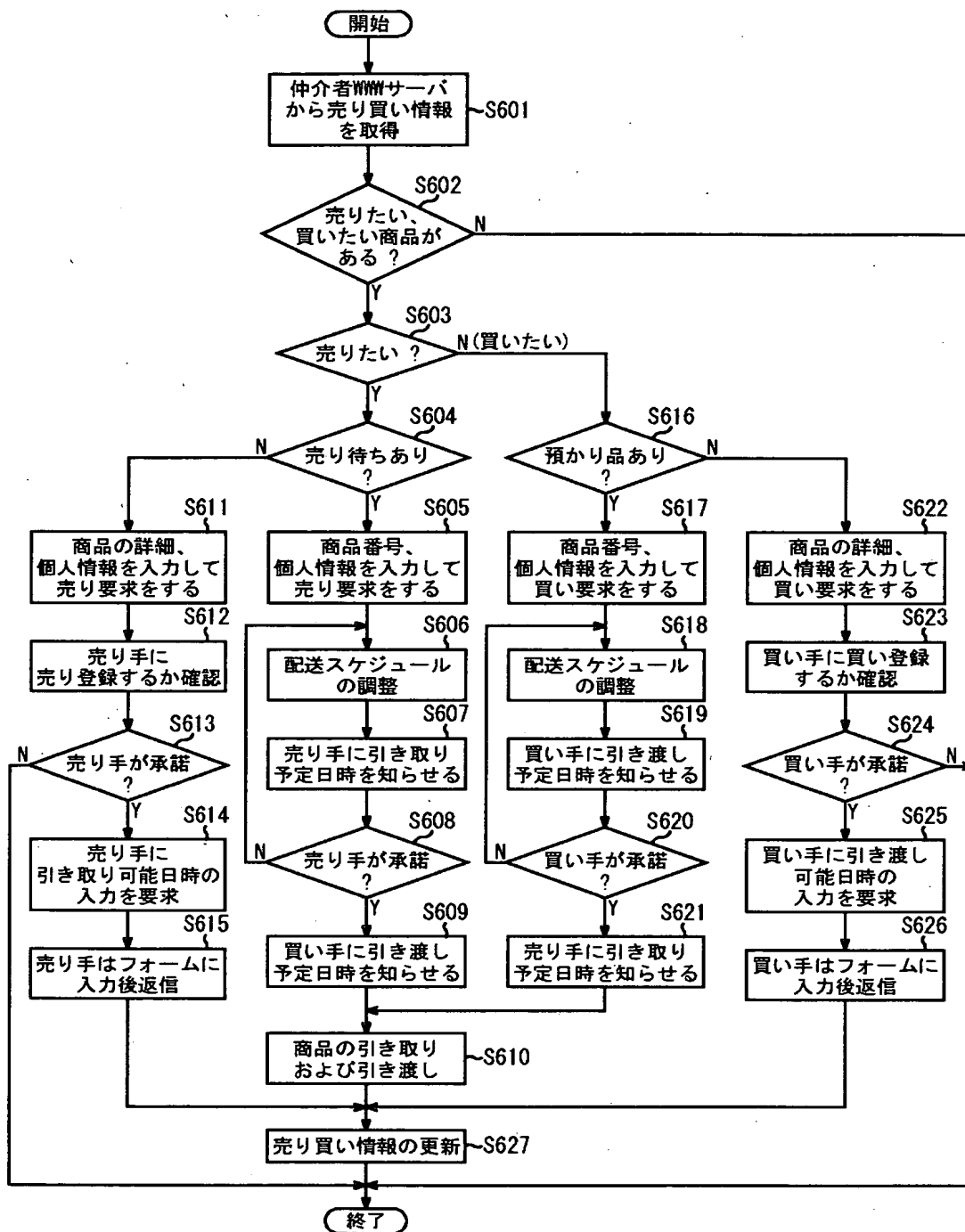
【図 15】



【図 16】



【図 17】



【図 18】

650

売買情報一覧

売りたい人用

下記買いたい商品項目の中にない商品
を売りたい方は、
お名前、ご住所、売りたい商品の詳細、
希望価格を下記のフォームへ入力後、
売りたいボタンを押してください。

下記買いたい商品項目の中にある商品
を売りたい方は、
お名前、ご住所、商品番号を下記のフォームへ
入力後、売りたいボタンを押してください。

商品 番号	買い希望商品詳細	購入者 希望価格	当社 引取価格
1	97年購入の××の指輪 傷無し美品	19,800円	16,800円
2	98年購入の ○○○	29,800円	26,800円
	⋮		
x	99年購入のAPSカメラ △△△△	49,800円	45,800円

お名前

ご住所

電話番号

E-Mail

商品の詳細
(項目の中に
無い場合
のみ記入)

商品番号

売りたい

買いたい人用

下記売りたい商品項目の中にない商品
を買いたい方は、
お名前、ご住所、売りたい商品の詳細、
希望価格を下記のフォームへ入力後、
買いたいボタンを押してください。

下記売りたい商品項目の中にある商品
を買いたい方は、
お名前、ご住所、商品番号を下記のフォームへ
入力後、買いたいボタンを押してください。

商品 番号	売り希望商品詳細	預け入れ者 希望価格	当社 販売価格
1	95年購入の△△の指輪	19,800円	23,800円
2	98年購入の○○○ 美品	29,800円	33,800円
	⋮		
x	99年購入の △△△△	49,800円	45,800円

お名前

ご住所

電話番号

E-Mail

商品の詳細
(項目の中に
無い場合
のみ記入)

商品番号

買いたい

【図19】

660

配送予定日

下記配送日程で宜しければ「はい」のボタンを、
御都合が悪い場合には「いいえ」のボタンを
押してください。

日時：××月〇〇日 午前中

はい

いいえ

【図20】

670

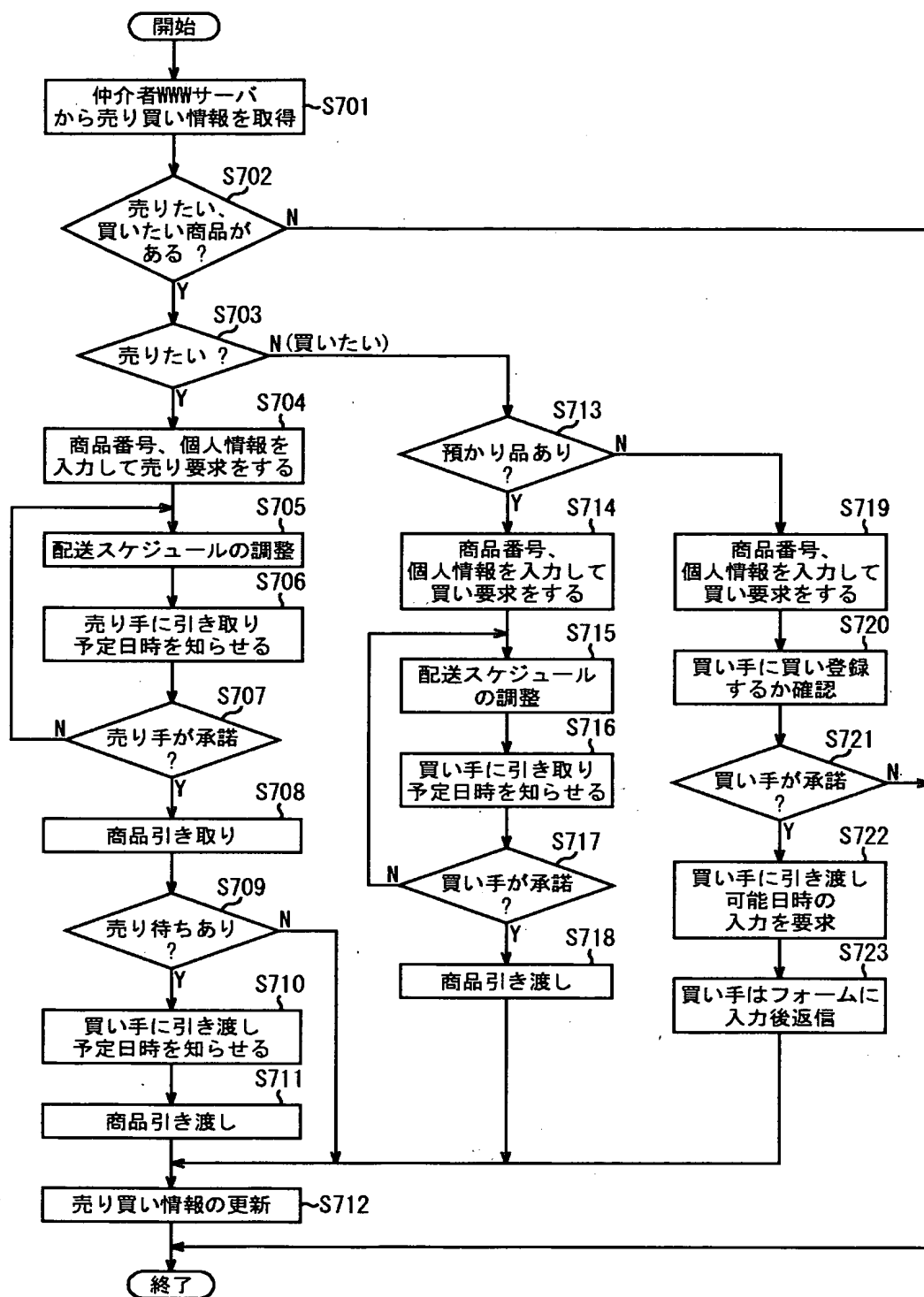
配送予定日

下記フォームに明日より1週間以内で御都合の
宜しい全ての日を、午前か午後で指定して送信ボタン
を押してください。

	午前	午後
7月21日(火)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7月22日(水)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7月23日(木)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7月24日(金)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7月25日(土)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7月26日(日)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7月27日(月)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

送信

【図 2 1】



【図 22】

750

売買情報一覧

現在募集している商品は以下の通りです。
 下記商品項目にお客様がお持ちの商品があり、それを売りたい、買いたい場合は、
 お名前、ご住所を下記のフォームへ入力後、
 売りたいボタンもしくは買いたいボタンを押してください。

商品項目	引取り 価格	販売価格	在庫数量	売り待ち 数量		
× × × ×	19,800円	23,800円	24個	0個	売りたい	買いたい
〇〇〇〇	29,800円	33,800円	3個	0個	売りたい	買いたい
△△△△	49,800円	53,800円	0個	8個	売りたい	買いたい

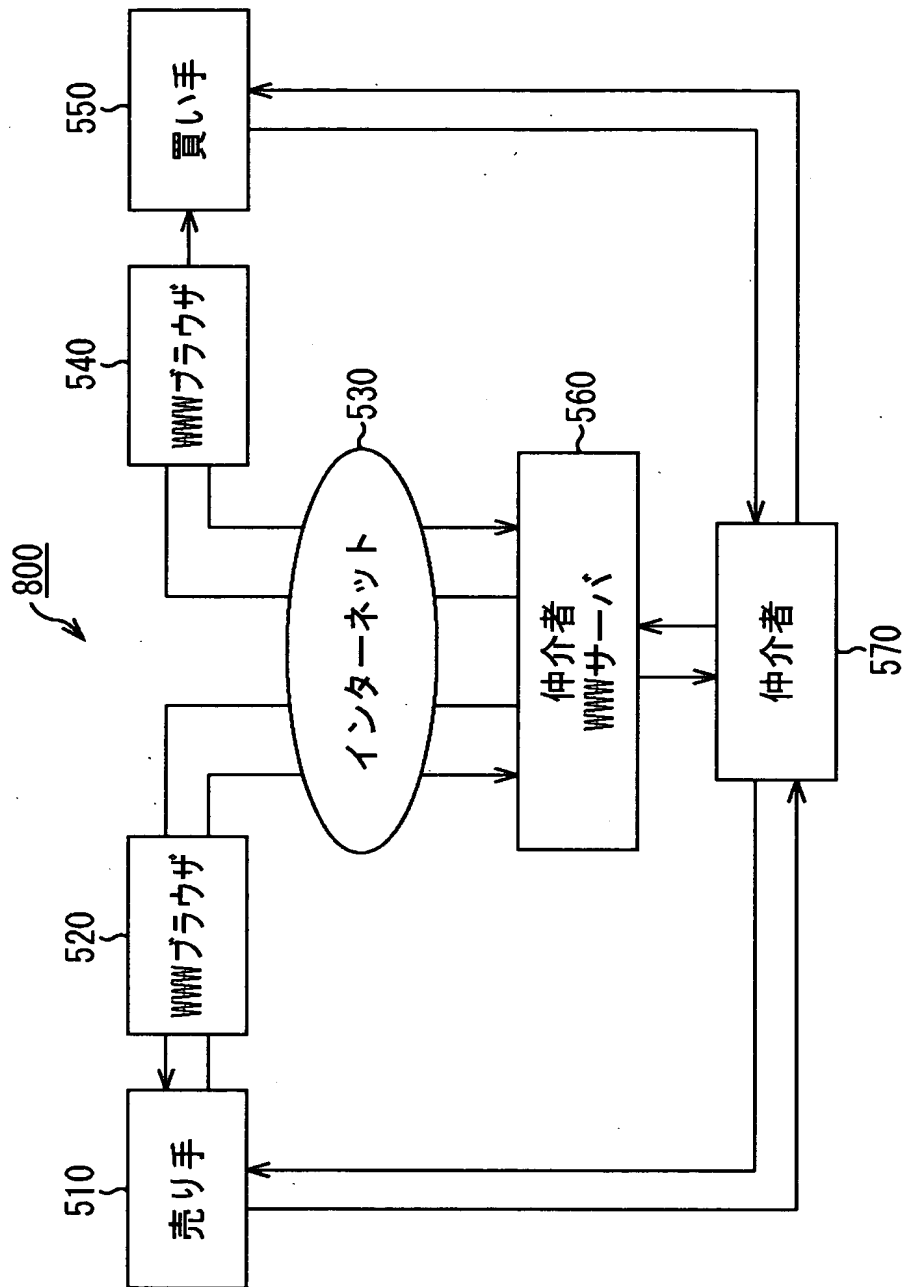
お名前

ご住所

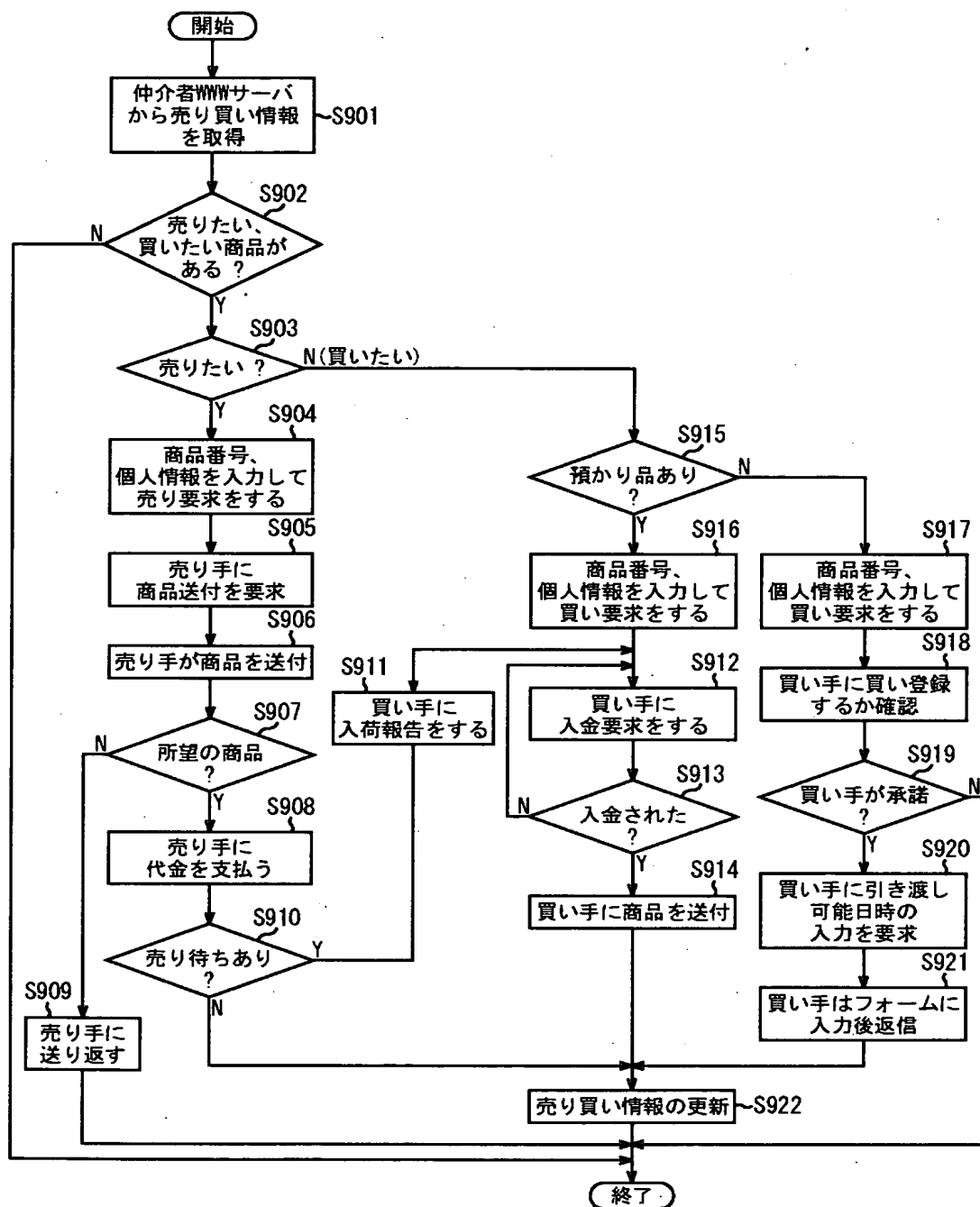
電話番号

E-Mail

【図 2 3】



【図 24】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 一般消費者がネットワークを介して売り手側へ販売対象となるデジタルコンテンツを提供可能な構成等により、今後問題となってくるデジタルコンテンツ不足を解消することができる電子商取引システムを提供する。

【解決手段】 売り手側110は、任意の電子コンテンツの購入を希望する買い手側150の当該購入希望の電子コンテンツに関する情報をネットワーク130を介して取得し、WWWブラウザ120によって当該情報を一覧表示し、当該一覧表示上で掲載されている購入希望の電子コンテンツの中に販売希望する電子コンテンツがある場合、当該電子コンテンツをネットワーク130を介して買い手側140へ提供する。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000001007]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
氏 名 キヤノン株式会社